

**東大和市の将来のまちづくりに向けた  
市民意識調査報告書**

令和元年 1 1 月

東大和市

# 目次

1	市民意識調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査状況及び回収状況	1
(3)	調査の内容	1
(4)	集計・分析にあたっての留意点	2
2	調査結果	
(1)	回答者の属性に関する質問	3
(2)	市の施策に関する質問	8
	第1章 豊かな人間性と文化をはぐくむまちを築くために	8
	第2章 健康であたたかい心のかよいあうまちを築くために	28
	第3章 暮らしと産業が調和した活力あるまちを築くために	52
	第4章 環境にやさしく安全で快適なまちを築くために	76
	第5章 相互の理解と協力を支えられるまちを築くために	108
(3)	まちのイメージに関する質問	124
(4)	まちづくりの提案やアイデアなどに関する質問	128
3	参考資料 調査票	129

# 1 市民意識調査の概要

## (1) 調査の目的

令和4年度を初年度とする(仮称)東大和市新総合計画の策定に当たり、将来のまちづくりについての市民の意見を計画策定の基礎資料とし、東大和市の将来のまちづくりに活用するため、下記のとおり市民意識調査を実施した。

## (2) 調査状況及び回収状況

<b>調査方法</b>	住民基本台帳から無作為抽出した対象者へ調査票を郵送し、郵送により回収した。
<b>調査対象</b>	東大和市在住の満18歳以上の男女(外国人含む)3,000人
<b>調査期間</b>	令和元年6月19日(水)～7月12日(金)

<b>対象者数(件)</b>	<b>有効回収数(件)</b>	<b>有効回収率(%)</b>
3,000	739	24.6

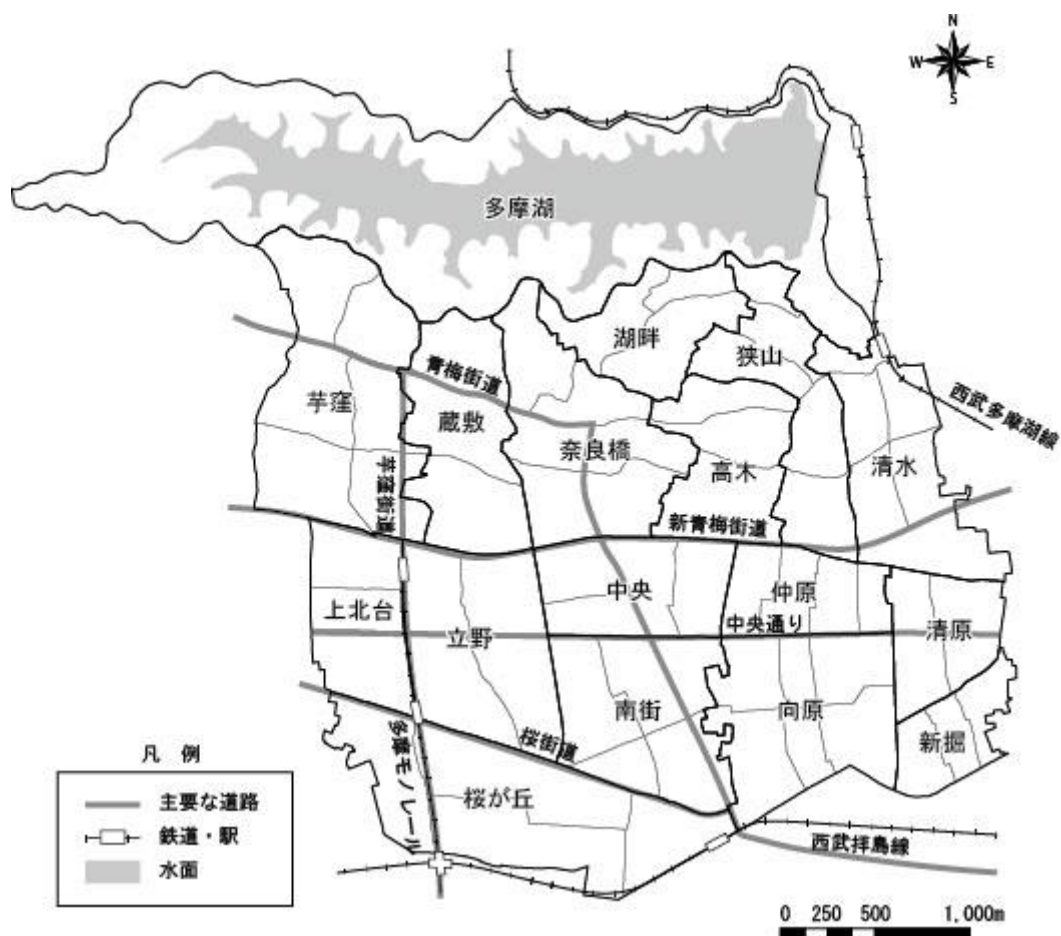
## (3) 調査の内容

第四次基本計画の施策体系に沿って、各施策の現在の満足度を質問するとともに、その各施策について、「今後、市が優先的に取り組むべき事項は何か」などについて尋ねた合計40問の意識調査である。

#### (4) 集計・分析にあたっての留意点

- 無回答や無効回答はその問のみ集計から除外した。したがって、各問の回答数の合計は、調査票回収数の合計にならない場合がある。
- 集計は小数点第2位を四捨五入にて算出した。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数(n)として算出した。したがって、複数回答の設問の場合、全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 本調査での東大和市内の地域区分は、下表のとおりである。

図表1 地域区分の分布



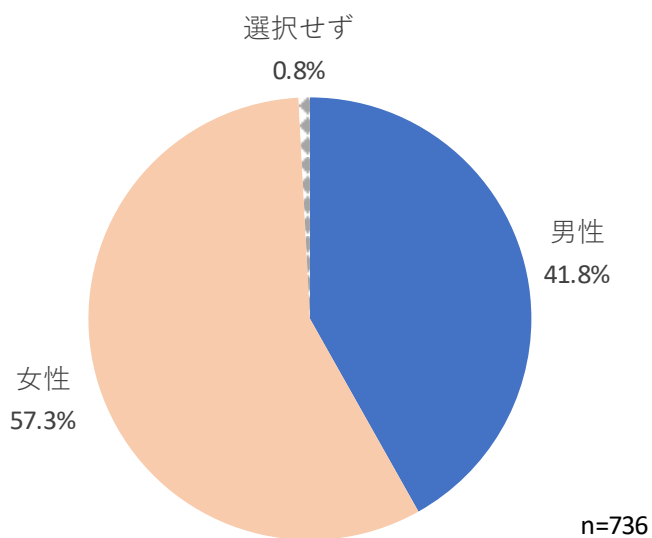
## 2 調査の結果

### (1) 回答者の属性に関する質問

問1. あなたの性別は、次のどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

図表1 性別

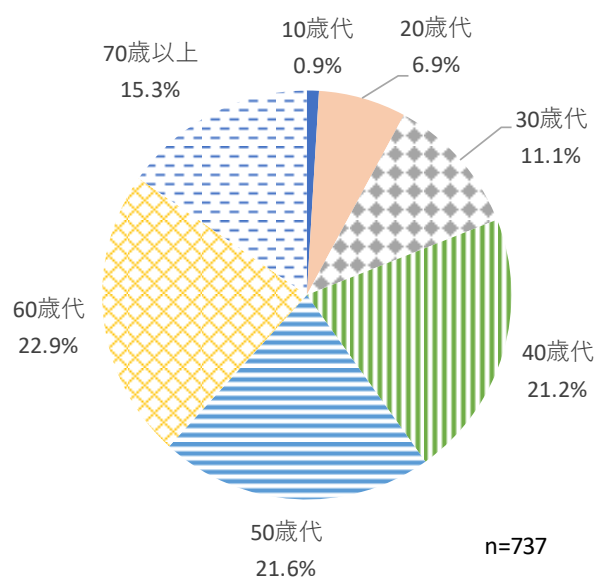
	件数	割合(%)
男性	308	41.8
女性	422	57.3
選択せず	6	0.8
合計	736	100.0



問2. 現在、あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

図表2 年代

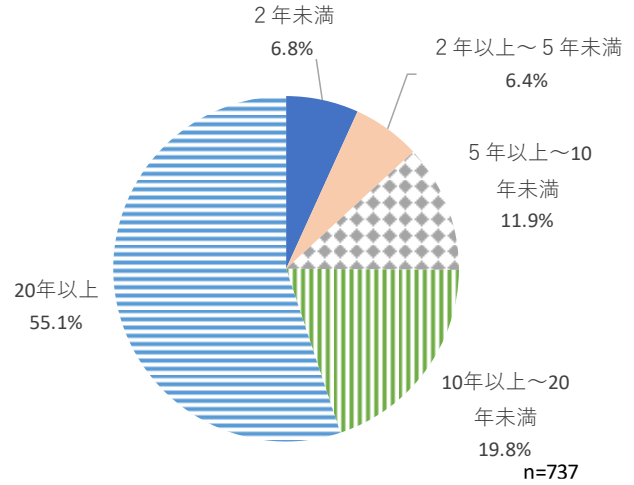
	件数	割合(%)
10歳代	7	0.9
20歳代	51	6.9
30歳代	82	11.1
40歳代	156	21.2
50歳代	159	21.6
60歳代	169	22.9
70歳以上	113	15.3
合計	737	100.0



問3. あなたは、東大和市にお住まいになって、通算で何年になりますか。（〇は1つだけ）

図表3 居住期間

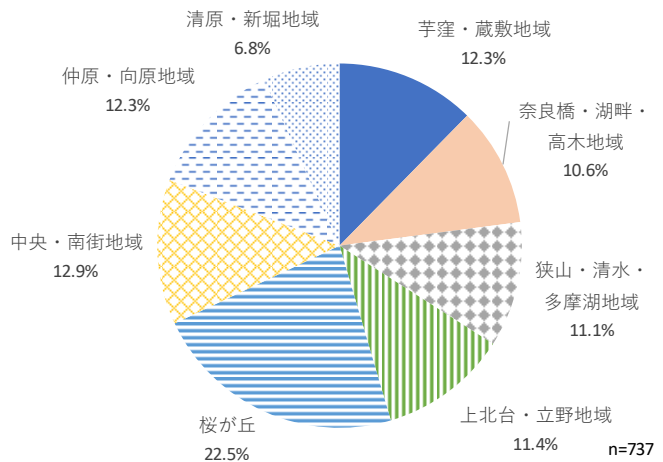
	件数	割合(%)
2年未満	50	6.8
2年以上～5年未満	47	6.4
5年以上～10年未満	88	11.9
10年以上～20年未満	146	19.8
20年以上	406	55.1
合計	737	100.0



問4. あなたは現在、東大和市のどの地区にお住まいですか。（〇は1つだけ）

図表4 居住地域

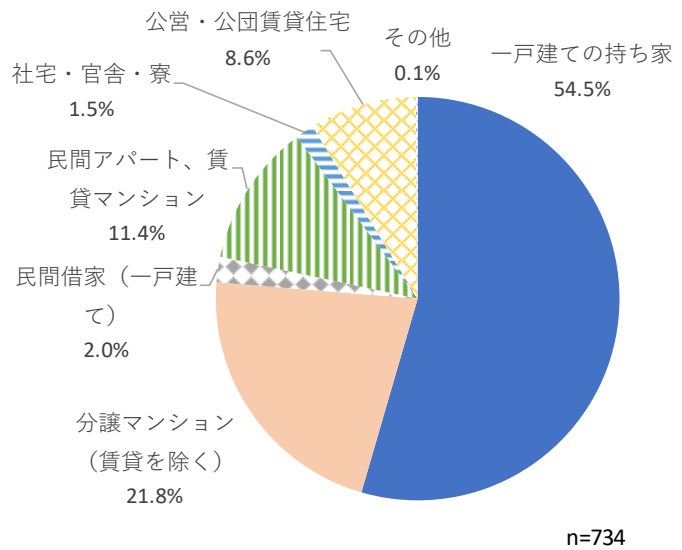
	件数	割合(%)
芋窪・蔵敷地域	91	12.3
奈良橋・湖畔・高木地域	78	10.6
狭山・清水・多摩湖地域	82	11.1
上北台・立野地域	84	11.4
桜が丘	166	22.5
中央・南街地域	95	12.9
仲原・向原地域	91	12.3
清原・新堀地域	50	6.8
合計	737	100.0



問5. 現在、あなたがお住まいになっている住宅は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

図表5 居住住宅

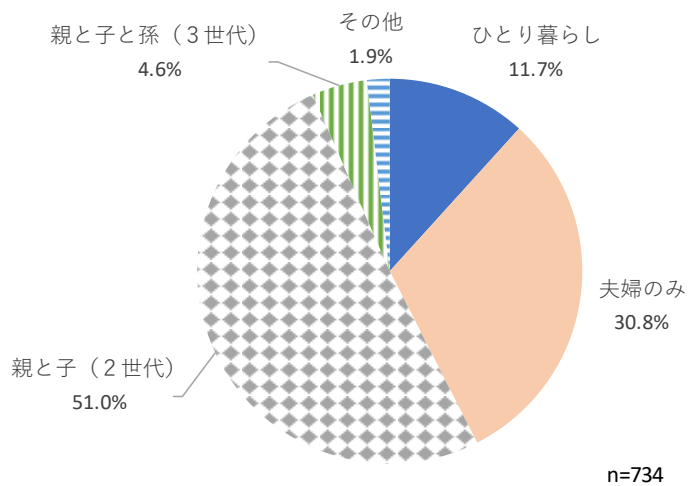
	件数	割合(%)
一戸建ての持ち家	400	54.5
分譲マンション(賃貸を除く)	160	21.8
民間借家(一戸建て)	15	2.0
民間アパート、賃貸マンション	84	11.4
社宅・官舎・寮	11	1.5
公営・公団賃貸住宅	63	8.6
その他	1	0.1
合計	734	100.0



問6. あなたの家族構成(世帯)は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

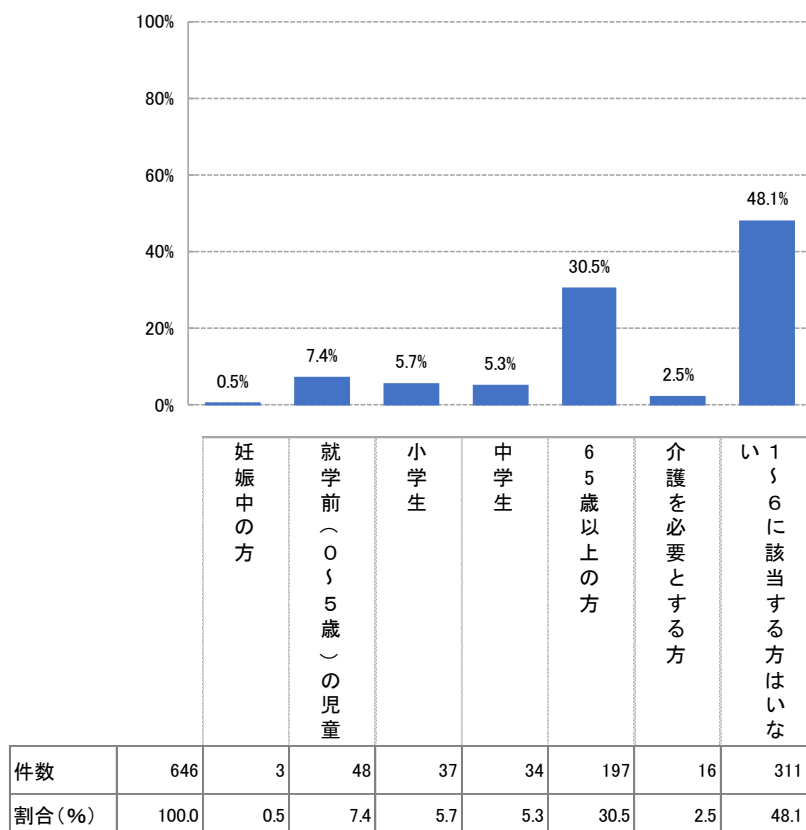
図表6 家族構成(世帯)

	件数	割合(%)
ひとり暮らし	86	11.7
夫婦のみ	226	30.8
親と子(2世代)	374	51.0
親と子と孫(3世代)	34	4.6
その他	14	1.9
合計	734	100.0



問7. 現在、同居する家族（あなたを含む）の中に、次の方はいますか。（〇はいくつでも）

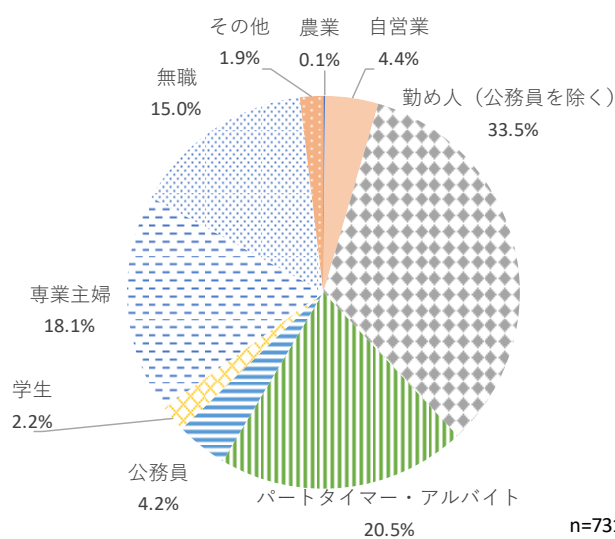
図表7 同居家族



問8. 現在、あなたの職業は、次のどれにあたりますか。（〇は1つまで）

図表8 職業

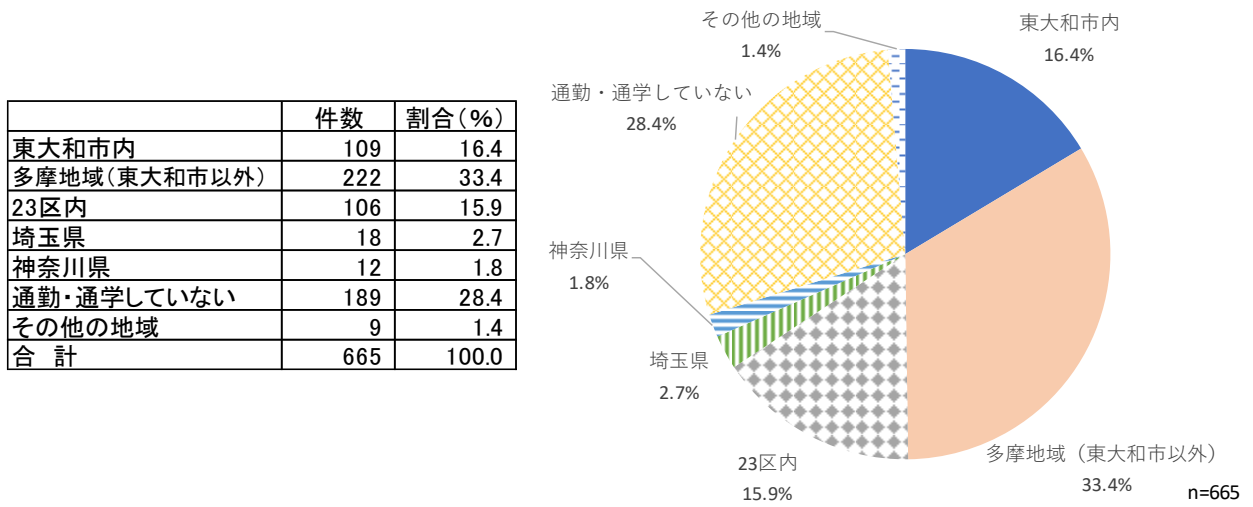
	件数	割合(%)
農業	1	0.1
自営業	32	4.4
勤め人(公務員を除く)	245	33.5
パートタイマー・アルバイト	150	20.5
公務員	31	4.2
学生	16	2.2
専業主婦	132	18.1
無職	110	15.0
その他	14	1.9
合計	731	100.0





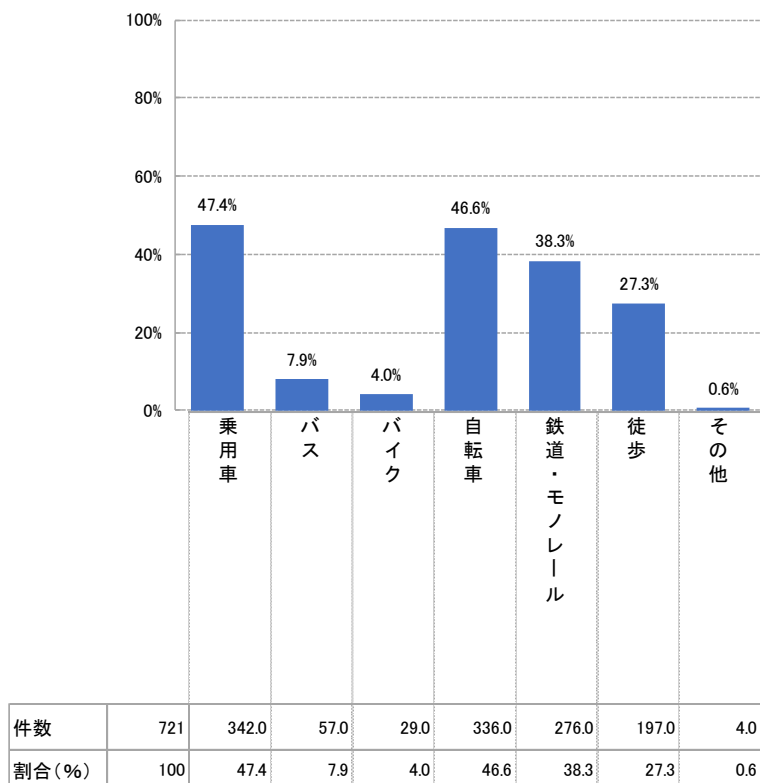
問9. 現在、あなたの通勤・通学先は、次のどれにあたりますか。（〇は1つまで）

図表9 通勤・通学先



問10. 普段、あなたが日常生活（通勤、通学、買い物）で使用する移動手段について、次の中から主なものを選んでください。（〇は2つまで）

図表10 日常生活で使用する移動手段



## (2) 市の施策に関する質問

### 第1章 豊かな人間性と文化をはぐくむまちを築くために

問11. 「学校教育の充実」についてうかがいます。

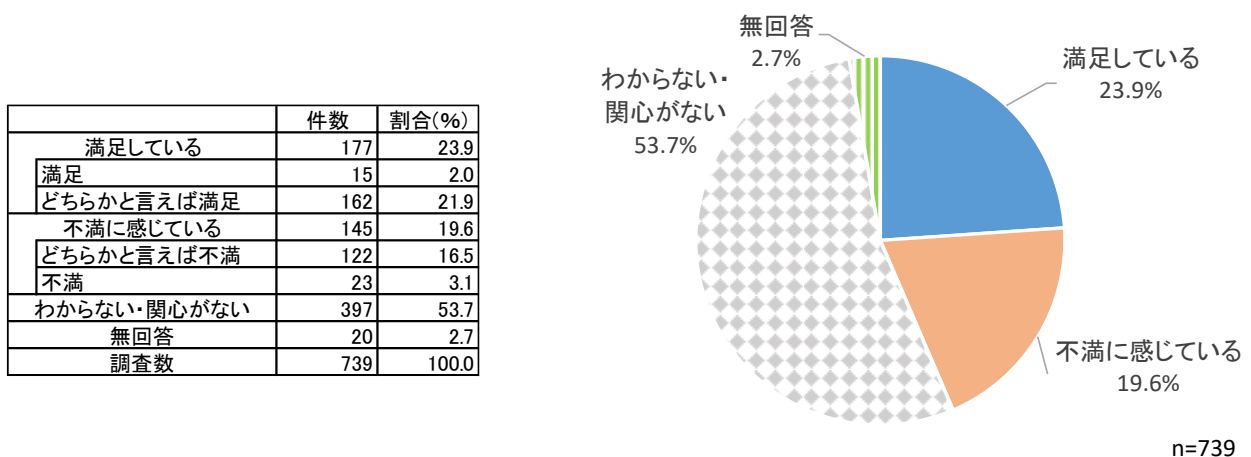
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）  
 ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

#### ① 満足度

##### <全体>

東大和市の「学校教育の充実」に対して満足している市民の割合（「満足」＋「どちらかと言えば満足」、以下同様）は23.9%、不満に感じている市民の割合（「どちらかと言えば不満足」＋「不満」、以下同様）は19.6%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は53.7%となっている。

図表1-1 「学校教育の充実」に対する満足度（単純集計）



##### <年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは40歳代の29.5%、次いで70歳以上(25.7%)となっている。一方、50歳代においては満足している市民(20.2%)より不満に感じている市民の割合の方が高く、21.3%となっている。

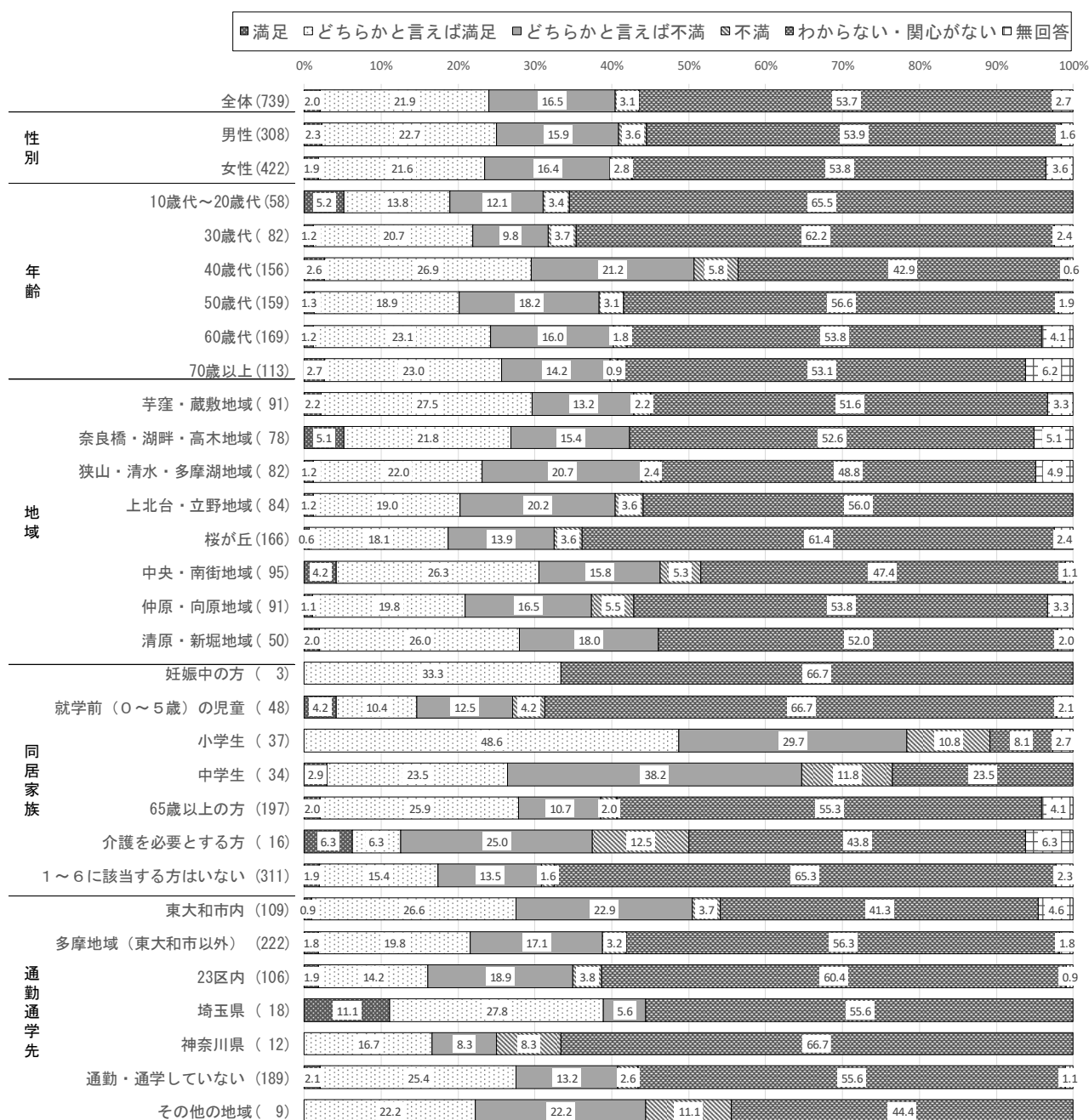
##### <地域別>

満足している市民の割合は「中央・南街地域」において30.5%と最も高く、次いで「芋窪・蔵敷地域」(29.7%)、「清原・新堀地域」(28.0%)となっている。一方、「上北台・立野地域」と「仲原・向原地域」においては満足している市民(それぞれ20.2%、20.9%)より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ23.8%、22.0%となっている。

## <同居家族別>

同居家族に小学生がいる市民では、満足している市民の割合が48.6%と、不満に感じている市民の割合（40.5%）よりも高くなっている。一方で、中学生がいる市民では、満足している市民（26.4%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、50.0%となっている。

図表 1 2 「学校教育の充実」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「学校教育の充実」について今後優先的に取り組むべき事項では、「いじめ・不登校対策」が39.1%で最も高く、次いで「英語教育や授業におけるICT(情報技術)の活用など、時代の変化に即した教育プログラムの実施」(34.5%)、「教職員の指導力の向上」(27.5%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代や30歳代、50歳代、60歳代の市民では「いじめ・不登校対策」がそれぞれ58.6%、41.5%、39.6%、40.8%と他の年代の市民に比べて高くなっている。一方、40歳代や70歳以上の市民では、「英語教育や授業におけるICT(情報技術)の活用など、時代の変化に即した教育プログラムの実施」(それぞれ、35.9%、36.3%)が最も高くなっている。

図表13 「学校教育の充実」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	いじめ・不登校対策	英語教育や授業におけるICT(情報技術)の活用など、時代の変化に即した教育プログラムの実施	教職員の指導力の向上	学校施設・設備の計画的な改修や整備	通学路の安全確保	防災・防犯などの安全教育	特別に支援が必要な児童・生徒に対する取組	健康教育やや食育	児童・生徒に対する進路進路指導・生活指導
単純集計	全体	(739)	<b>39.1</b>	34.5	27.5	23.7	21.7	21.4	14.6	13.7	11.4
性別	男性	(308)	<b>40.3</b>	39.6	25.3	20.1	22.1	24.4	12.0	9.4	14.0
	女性	(422)	<b>38.9</b>	30.8	28.4	26.1	21.6	19.4	16.4	16.8	9.7
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>58.6</b>	48.3	19.0	24.1	24.1	24.1	10.3	6.9	8.6
	30歳代	(82)	<b>41.5</b>	37.8	26.8	25.6	34.1	28.0	12.2	12.2	8.5
	40歳代	(156)	33.3	<b>35.9</b>	26.3	30.1	17.9	19.2	16.7	11.5	16.0
	50歳代	(159)	<b>39.6</b>	27.7	<b>31.4</b>	23.9	22.6	26.4	13.8	15.1	15.7
	60歳代	(169)	<b>40.8</b>	32.0	31.4	20.1	19.5	20.7	16.0	17.2	7.7
	70歳以上	(113)	32.7	<b>36.3</b>	21.2	17.7	18.6	12.4	15.0	14.2	8.0
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	36.3	<b>41.8</b>	23.1	28.6	20.9	18.7	8.8	16.5	12.1
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>38.5</b>	32.1	28.2	23.1	23.1	21.8	12.8	14.1	12.8
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>41.5</b>	36.6	25.6	18.3	26.8	29.3	17.1	8.5	7.3
	上北台・立野地域	(84)	<b>35.7</b>	31.0	25.0	21.4	22.6	23.8	16.7	11.9	13.1
	桜が丘	(166)	<b>33.7</b>	<b>33.7</b>	26.5	22.9	26.5	18.1	12.0	12.7	12.7
	中央・南街地域	(95)	<b>44.2</b>	32.6	28.4	29.5	15.8	17.9	17.9	14.7	10.5
	仲原・向原地域	(91)	<b>49.5</b>	33.0	<b>34.1</b>	20.9	13.2	27.5	18.7	20.9	9.9
	清原・新堀地域	(50)	<b>38.0</b>	36.0	28.0	24.0	22.0	16.0	16.0	8.0	12.0
同居家族	妊娠中の方	(3)	<b>66.7</b>	<b>66.7</b>	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-
	就学前の児童	(48)	<b>60.4</b>	41.7	31.3	33.3	35.4	20.8	4.2	10.4	6.3
	小学生	(37)	21.6	<b>51.4</b>	<b>45.9</b>	43.2	16.2	5.4	10.8	-	24.3
	中学生	(34)	32.4	<b>38.2</b>	29.4	<b>32.4</b>	11.8	14.7	17.6	-	20.6
	65歳以上の方	(197)	<b>40.6</b>	31.0	23.4	19.3	22.8	22.3	16.2	20.3	8.1
	介護を必要とする方	(16)	<b>56.3</b>	18.8	<b>37.5</b>	6.3	6.3	25.0	25.0	6.3	12.5
	1～6に該当する方はいない	(311)	<b>40.5</b>	31.8	26.0	21.9	20.6	22.8	14.5	13.5	11.3
通勤通学先	東大和市内	(109)	<b>42.2</b>	24.8	<b>29.4</b>	26.6	23.9	14.7	19.3	12.8	14.7
	多摩地域	(222)	<b>37.8</b>	35.1	27.5	25.2	18.9	23.9	14.4	15.3	11.3
	23区内	(106)	<b>41.5</b>	39.6	26.4	24.5	17.9	24.5	8.5	10.4	15.1
	埼玉県	(18)	33.3	<b>61.1</b>	<b>38.9</b>	16.7	27.8	33.3	-	16.7	11.1
	神奈川県	(12)	41.7	33.3	<b>58.3</b>	16.7	8.3	33.3	8.3	8.3	16.7
	通勤・通学していない	(189)	<b>36.5</b>	34.9	24.3	23.3	24.9	20.6	15.3	14.8	6.9
	その他の地域	(9)	<b>44.4</b>	33.3	<b>44.4</b>	22.2	22.2	22.2	33.3	-	22.2
満足度	満足・どちらかといえば満足	(177)	32.2	<b>42.9</b>	23.2	28.8	28.2	25.4	12.4	18.1	14.7
	不満・どちらかといえば不満	(145)	32.4	31.0	<b>44.8</b>	<b>35.2</b>	12.4	12.4	18.6	10.3	13.1
	わからない・関心がない	(397)	<b>44.6</b>	32.2	23.7	17.4	22.4	23.2	13.9	12.8	9.3

<地域別>

「芋窪・蔵敷地域」を除いてすべての地域で「いじめ・不登校対策」が最も高くなっている。一方、「芋窪・蔵敷地域」では「英語教育や授業における ICT（情報技術）の活用など、時代の変化に即した教育プログラムの実施」が最も高くなっている。なお、「桜が丘」では「いじめ・不登校対策」と「英語教育や授業における ICT（情報技術）の活用など、時代の変化に即した教育プログラムの実施」がともに最も高くなっている。

<同居家族別>

同居家族に小学生、中学生がいる市民では、「英語教育や授業における ICT（情報技術）の活用など、時代の変化に即した教育プログラムの実施」が最も高くなっている。

<満足度別>

「学校教育の充実」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「教職員の指導力の向上」が 44.8%で最も高く、満足している市民の 23.2%を 21.6ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「教職員の指導力の向上」（44.8%）、「学校施設・設備の計画的な改修や整備」（35.2%）、「いじめ・不登校対策」（32.4%）となっている。

小学校と中学校との間で一貫性のあるとの間で一貫性のある小・中連携教育	児童・生徒の地域活動への参加機会確保	教育に関する相談体制の整備	学校での体育・スポーツ活動・スポーツ活動の実施	その他	特になし	学校施設・設備の地域開放	東大和への誇りや愛情を育む教育	学校図書館の蔵書の整備	無回答
8.4	7.0	5.8	5.1	5.0	4.7	4.3	4.2	3.8	3.2
8.1	7.1	4.9	7.1	5.5	4.5	4.5	5.8	3.2	2.9
8.1	6.9	6.6	3.6	4.7	4.7	4.0	3.1	4.0	3.6
5.2	1.7	13.8	1.7	3.4	0.0	1.7	3.4	5.2	3.4
4.9	4.9	8.5	6.1	7.3	3.7	4.9	3.7	3.7	1.2
5.1	6.4	1.9	7.7	8.3	5.8	5.8	1.3	3.8	1.9
7.5	6.3	6.3	3.8	3.8	4.4	3.1	2.5	5.7	2.5
10.1	8.9	6.5	6.5	3.0	6.5	4.1	6.5	3.6	2.4
15.0	9.7	3.5	2.7	4.4	4.4	5.3	8.0	0.9	8.8
4.4	5.5	2.2	4.4	2.2	5.5	2.2	5.5	4.4	5.5
10.3	3.8	5.1	7.7	2.6	6.4	3.8	2.6	5.1	5.1
7.3	3.7	3.7	3.7	6.1	3.7	6.1	7.3	6.1	2.4
9.5	3.6	11.9	3.6	4.8	8.3	7.1	6.0	1.2	-
6.6	9.0	6.6	5.4	6.0	4.2	4.8	1.2	6.0	5.4
10.5	10.5	5.3	4.2	9.5	3.2	4.2	3.2	2.1	2.1
7.7	8.8	4.4	6.6	2.2	1.1	4.4	4.4	2.2	1.1
14.0	8.0	8.0	6.0	6.0	8.0	-	8.0	-	2.0
-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-
2.1	2.1	2.1	4.2	2.1	2.1	6.3	2.1	2.1	4.2
8.1	8.1	2.7	18.9	5.4	-	5.4	-	8.1	2.7
5.9	5.9	14.7	5.9	20.6	-	5.9	2.9	5.9	-
10.2	10.7	6.6	6.1	2.0	4.6	6.1	6.6	2.0	3.0
6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	-	-	6.3	6.3	6.3
8.4	5.8	6.1	3.9	5.1	6.4	3.5	4.5	4.2	2.9
7.3	8.3	5.5	6.4	4.6	4.6	8.3	3.7	3.7	3.7
5.4	5.0	8.1	5.9	6.3	4.5	5.0	3.2	3.6	3.6
11.3	7.5	5.7	1.9	5.7	6.6	2.8	1.9	6.6	0.9
11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-
-	16.7	-	16.7	-	8.3	-	-	-	-
9.5	9.0	4.2	5.3	3.2	6.3	3.2	5.8	2.6	2.1
22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	22.2	-
10.7	6.8	5.1	9.0	1.7	1.7	4.0	7.9	4.0	0.6
9.0	6.9	6.2	7.6	11.7	0.7	3.4	4.1	6.9	1.4
7.6	7.6	6.0	2.8	4.0	7.8	4.8	2.5	2.8	4.0

問12. 「生涯学習の充実」についてうかがいます。

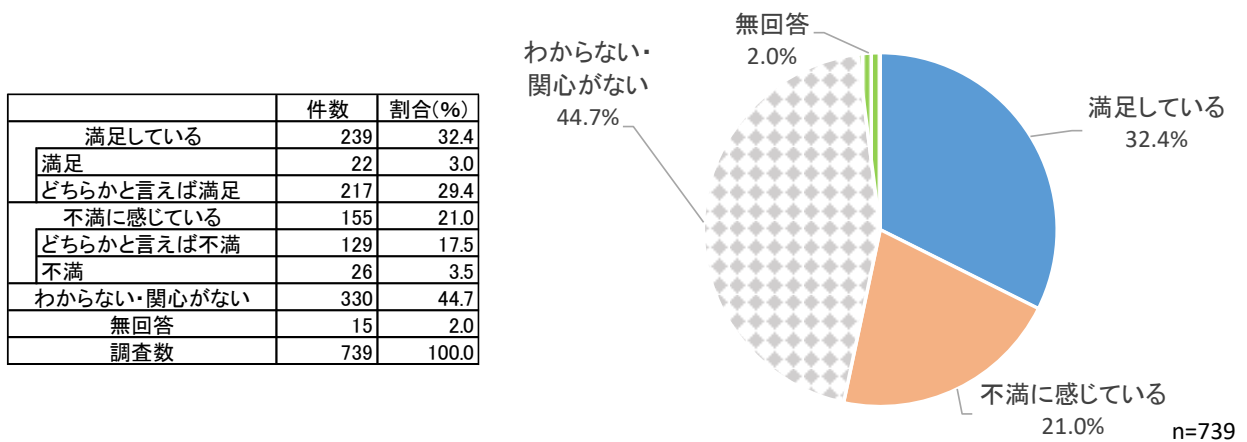
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「生涯学習の充実」に対して満足している市民の割合は32.4%、不満に感じている市民の割合は21.0%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は44.7%となっている。

図表14 「生涯学習の充実」に対する満足度（単純集計）



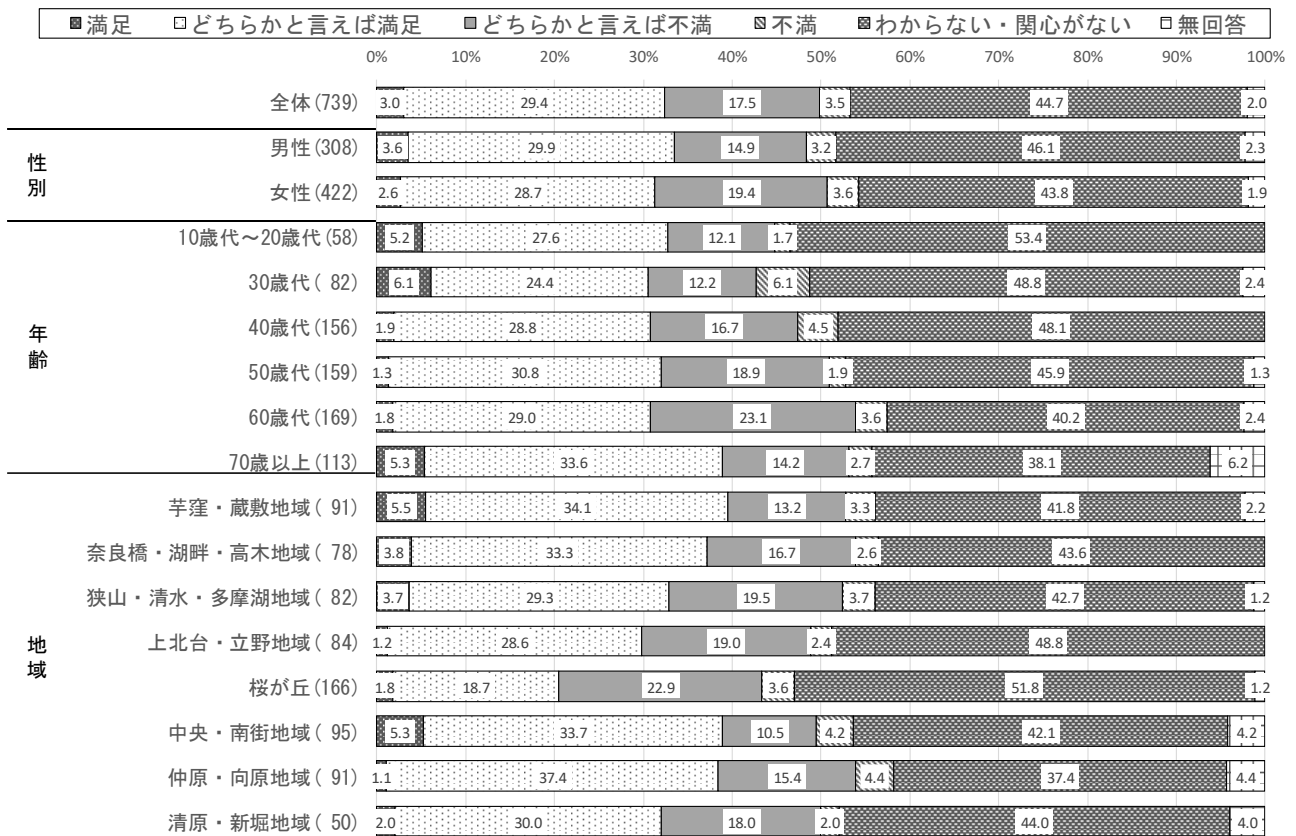
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳以上の38.9%、次いで10歳代～20歳代（32.8%）となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において39.6%と最も高く、次いで「中央・南街地域」（39.0%）、「仲原・向原地域」（38.5%）となっている。一方、「桜が丘」では満足している市民（20.5%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、26.5%となっている。

図表 15 「生涯学習の充実」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「生涯学習の充実」について今後優先的に取り組むべき事項では、「生涯学習に関する各種情報の提供」が38.4%で最も高く、次いで「市民のライフステージに応じた学習講座の開催」(29.4%)、「公民館・図書館・郷土博物館などの学習関連施設の計画的な改修・整備」(25.7%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代や40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上の市民では「生涯学習に関する各種情報の提供」が最も高くなっている（それぞれ、32.8%、32.7%、46.5%、42.6%、42.5%）。一方、30歳代の市民では、「図書館の資料の整備や利便性の向上」(39.0%)が最も高くなっている。

図表16 「生涯学習の充実」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	生涯学習に関する各種情報の提供	市民のライフステージに応じた学習講座の開催	公民館・図書館・郷土博物館などの学習関連施設の計画的な改修・整備	図書館の資料の整備や利便性の向上	ICT(情報通信技術)の活用など、時代の変化に即した生涯学習プログラムの実施	自主的に生涯学習活動に取り組んでいる学習グループや各種団体への支援	特になし	情報化社会に対応するための人材の育成	郷土博物館の展示物の整備やイベントの開催
単純集計	全体	(739)	<b>38.4</b>	29.4	25.7	24.1	21.5	17.3	12.6	11.5	11.5
性別	男性	(308)	<b>39.0</b>	24.7	24.4	<b>27.6</b>	22.7	19.2	10.1	15.3	13.6
	女性	(422)	<b>38.4</b>	33.4	26.1	21.3	21.1	15.9	14.5	9.0	10.0
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>32.8</b>	19.0	24.1	<b>29.3</b>	27.6	12.1	12.1	20.7	10.3
	30歳代	(82)	24.4	20.7	<b>35.4</b>	<b>39.0</b>	20.7	14.6	15.9	13.4	12.2
	40歳代	(156)	<b>32.7</b>	24.4	<b>25.0</b>	23.1	22.4	14.7	16.0	12.8	12.8
	50歳代	(159)	<b>46.5</b>	<b>39.0</b>	26.4	25.2	24.5	15.7	11.3	11.3	10.1
	60歳代	(169)	<b>42.6</b>	<b>38.5</b>	23.7	19.5	18.3	<b>23.7</b>	10.1	8.3	13.0
	70歳以上	(113)	<b>42.5</b>	21.2	<b>22.1</b>	16.8	18.6	17.7	11.5	8.8	9.7
地域	茅窪・蔵敷地域	(91)	<b>36.3</b>	<b>26.4</b>	25.3	24.2	18.7	18.7	15.4	13.2	13.2
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>35.9</b>	<b>32.1</b>	28.2	16.7	<b>28.2</b>	15.4	9.0	10.3	15.4
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>35.4</b>	20.7	<b>32.9</b>	<b>26.8</b>	17.1	17.1	13.4	12.2	12.2
	上北台・立野地域	(84)	<b>42.9</b>	<b>34.5</b>	25.0	<b>28.6</b>	17.9	14.3	19.0	7.1	14.3
	桜が丘	(166)	<b>39.2</b>	<b>29.5</b>	26.5	25.3	20.5	15.1	13.3	10.2	6.6
	中央・南街地域	(95)	<b>36.8</b>	<b>29.5</b>	18.9	<b>24.2</b>	24.2	23.2	9.5	9.5	8.4
	仲原・向原地域	(91)	<b>44.0</b>	<b>37.4</b>	19.8	19.8	<b>22.0</b>	<b>22.0</b>	9.9	18.7	15.4
	清原・新堀地域	(50)	<b>36.0</b>	22.0	<b>32.0</b>	26.0	28.0	10.0	10.0	12.0	12.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(239)	<b>41.4</b>	<b>30.1</b>	26.8	22.6	24.7	23.4	6.3	13.8	15.1
	不満・どちらかといえば不満	(155)	<b>43.2</b>	<b>45.2</b>	38.1	38.1	20.0	18.1	1.9	8.4	12.3
	わからない・関心がない	(330)	<b>34.5</b>	22.1	19.1	18.8	20.3	12.4	<b>22.7</b>	11.2	8.5



## <地域別>

すべての地域で「生涯学習に関する各種情報の提供」が最も高くなっている。

## <満足度別>

「生涯学習の充実」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「市民のライフステージに応じた学習講座の開催」が45.2%で最も高く、満足している市民の30.1%を15.1ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「市民のライフステージに応じた学習講座の開催」(45.2%)、「生涯学習に関する各種情報の提供」(43.2%)、「公民館・図書館・郷土博物館などの学習関連施設の計画的な改修・整備」(38.1%)となっている。

社会教育 関係団体 との連携 や活動の 支援	市民の主 体的な生 涯学習活 動を支え る生涯学 習リー ダーの養 成	その他	無回答
11.0	10.7	2.6	3.7
11.0	10.4	2.6	2.6
10.4	10.9	2.4	4.5
6.9	6.9	1.7	6.9
15.9	4.9	2.4	3.7
14.7	10.9	3.2	1.3
8.2	10.1	1.3	1.3
10.7	14.8	3.0	4.1
8.8	10.6	2.7	8.0
8.8	5.5	3.3	5.5
14.1	14.1	1.3	2.6
11.0	13.4	3.7	-
8.3	7.1	1.2	1.2
10.2	8.4	3.6	6.6
12.6	11.6	2.1	4.2
15.4	16.5	-	-
6.0	10.0	4.0	8.0
14.2	13.4	2.1	0.8
7.7	16.1	7.1	0.6
10.0	6.7	0.9	6.1

問13. 「青少年の健全育成」についてうかがいます。

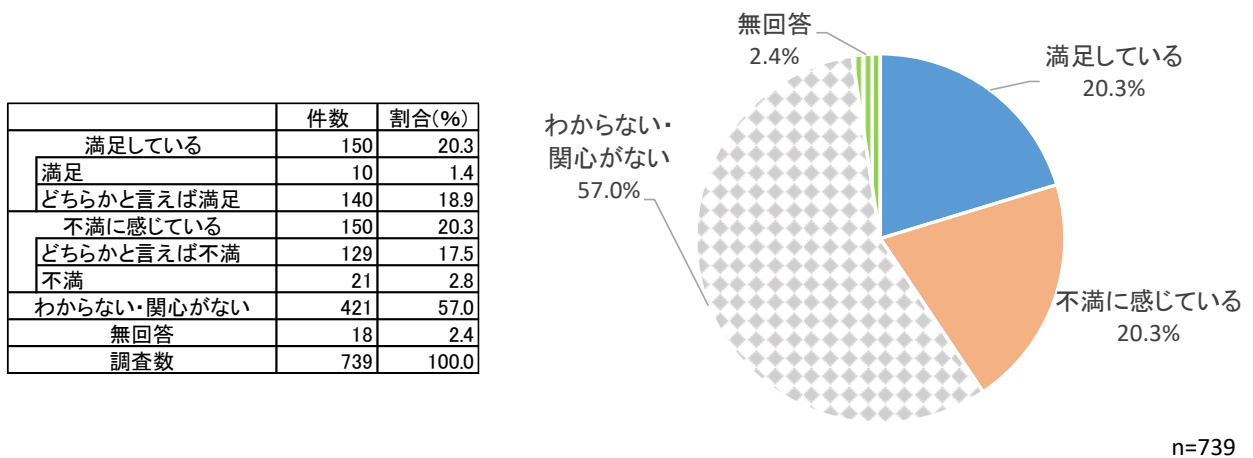
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「青少年の健全育成」に対して満足している市民の割合は 20.3%、不満に感じている市民の割合は 20.3%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 57.0%となっている。

図表 1 7 「青少年の健全育成」に対する満足度（単純集計）



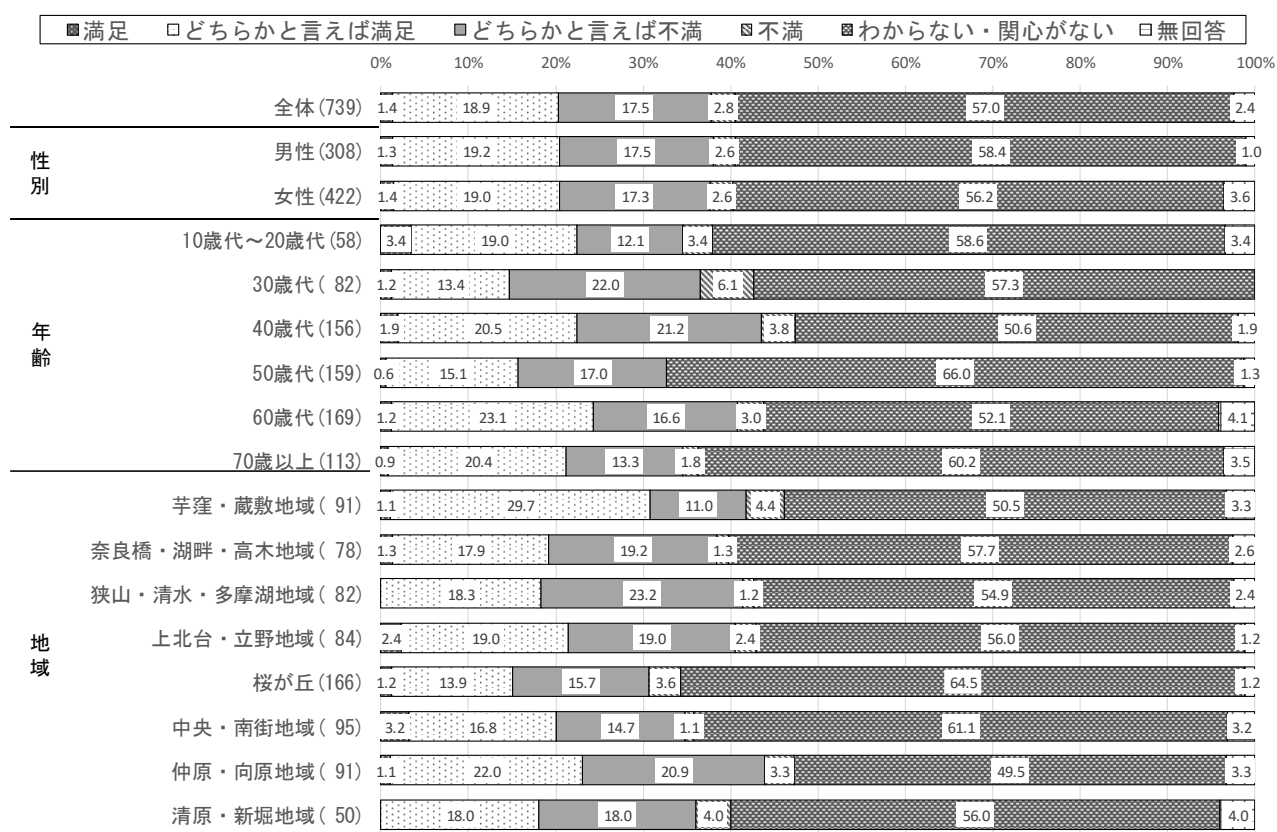
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 60 歳代の 24.3%、次いで 40 歳代（22.4%）となっている。一方、30 歳代や 50 歳以上の市民においては、満足している市民（それぞれ、14.6%、15.7%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ 28.1%、17.0%となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において 30.8%と最も高く、次いで「仲原・向原地域」（23.1%）、「上北台・立野地域」（21.4%）となっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「桜が丘」、「仲原・向原地域」、「清原・新堀地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表 18 「青少年の健全育成」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「青少年の健全育成」について今後優先的に取り組むべき事項では、「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」が30.9%で最も高く、次いで「様々な体験や世代間交流ができる機会の確保」(24.5%)、「放課後子ども教室の実施内容の充実」(19.2%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～40歳代の市民では「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」が最も高くなっている。一方、60歳代や70歳代以上の市民では、「様々な体験や世代間交流ができる機会の確保」が最も高くなっている。なお、50歳代は「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」と「様々な体験や世代間交流ができる機会の確保」が最も高くなっている。

### <地域別>

「清原・新堀地域」を除くすべての地域で「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」が最も高くなっている。「清原・新堀地域」では、「様々な体験や世代間交流ができる機会の確保」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「青少年の健全育成」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」が31.3%で最も高く、満足している市民の30.0%を1.3ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」(31.3%)、「様々な体験や世代間交流ができる機会の確保」(24.0%)、「放課後子ども教室の実施内容の充実」(23.3%)となっている。

図表 19 「青少年の健全育成」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	青少年が 被害者となる 犯罪・事故 対策	様々な体験 や世代間 交流ができる 機会の確保	放課後子ども 教室の実施 内容の充実	非行防止 対策	思春期の 悩みを相談 しやすい体制 の整備	貧困対策	青少年の 健全育成 組織・団体の 活動の支援	子ども広 場の計画的な 改修・整備	特になし	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>30.9</u>	24.5	19.2	18.5	17.7	16.6	11.4	11.0	6.1	1.8	12.0
性別	男性	(308)	<u>33.1</u>	21.4	17.2	<u>25.6</u>	18.5	19.8	12.7	12.0	6.2	1.9	7.1
	女性	(422)	<u>29.1</u>	<u>26.8</u>	20.9	13.5	17.3	14.5	10.4	10.4	5.9	1.4	15.4
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>46.6</u>	12.1	15.5	<u>22.4</u>	20.7	19.0	8.6	10.3	1.7	3.4	15.5
	30歳代	(82)	<u>28.0</u>	12.2	22.0	11.0	20.7	20.7	7.3	<u>23.2</u>	4.9	2.4	15.9
	40歳代	(156)	<u>33.3</u>	16.0	<u>19.9</u>	17.9	17.3	14.7	5.8	14.1	9.6	3.2	12.8
	50歳代	(159)	<u>28.3</u>	<u>28.3</u>	20.1	16.4	<u>22.0</u>	16.4	11.9	8.2	6.3	0.6	11.9
	60歳代	(169)	<u>29.0</u>	<u>34.3</u>	17.8	<u>23.7</u>	14.2	19.5	14.8	5.9	5.3	0.6	10.1
	70歳以上	(113)	<u>27.4</u>	<u>31.9</u>	19.5	18.6	14.2	11.5	17.7	9.7	5.3	1.8	8.8
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>34.1</u>	12.1	<u>22.0</u>	18.7	15.4	13.2	5.5	14.3	5.5	4.4	17.6
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>28.2</u>	<u>26.9</u>	16.7	21.8	19.2	11.5	15.4	15.4	3.8	-	11.5
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>26.8</u>	<u>25.6</u>	15.9	18.3	<u>20.7</u>	<u>20.7</u>	18.3	7.3	7.3	2.4	9.8
	上北台・立野地域	(84)	<u>29.8</u>	<u>22.6</u>	20.2	17.9	10.7	13.1	13.1	11.9	9.5	3.6	14.3
	桜が丘	(166)	<u>28.3</u>	<u>27.1</u>	22.9	21.7	17.5	18.7	9.6	9.0	5.4	1.8	7.8
	中央・南街地域	(95)	<u>34.7</u>	<u>25.3</u>	18.9	13.7	14.7	16.8	12.6	14.7	5.3	1.1	12.6
	仲原・向原地域	(91)	<u>37.4</u>	<u>26.4</u>	14.3	14.3	<u>26.4</u>	20.9	9.9	3.3	6.6	-	14.3
清原・新堀地域	(50)	<u>26.0</u>	<u>32.0</u>	20.0	<u>22.0</u>	18.0	16.0	8.0	16.0	6.0	-	10.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(150)	<u>30.0</u>	<u>26.0</u>	20.0	16.7	16.0	12.7	13.3	16.0	3.3	1.3	14.7
	不満・どちらかといえば不満	(150)	<u>31.3</u>	<u>24.0</u>	23.3	21.3	12.7	14.0	14.0	21.3	0.0	3.3	10.7
	わからない・関心がない	(421)	<u>30.4</u>	<u>24.2</u>	18.1	18.5	<u>20.4</u>	19.5	10.0	5.7	9.5	1.2	10.5

問14. 「市民文化の振興」についてうかがいます。

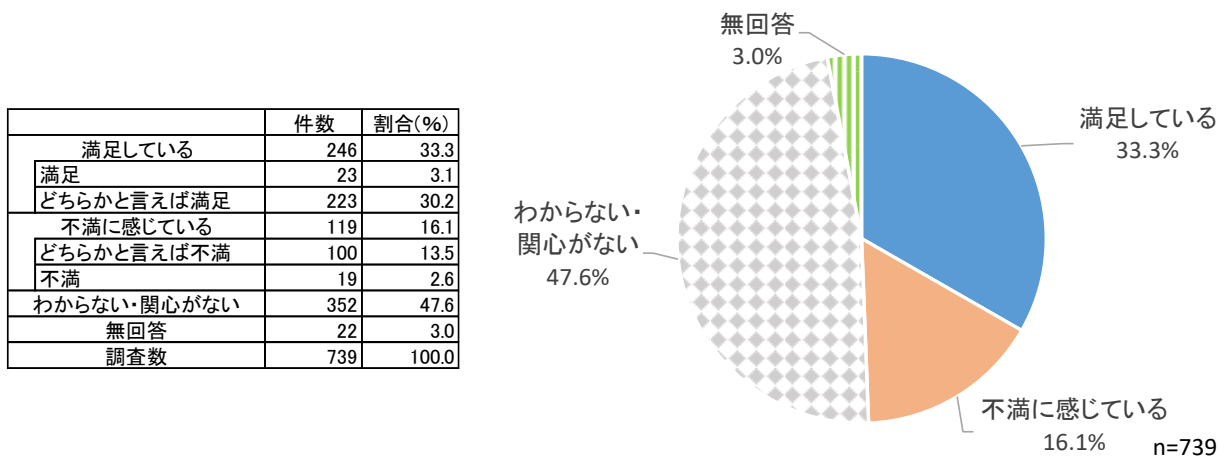
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「市民文化の振興」に対して満足している市民の割合は33.3%、不満に感じている市民の割合は16.1%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は47.6%となっている。

図表20 「市民文化の振興」に対する満足度（単純集計）



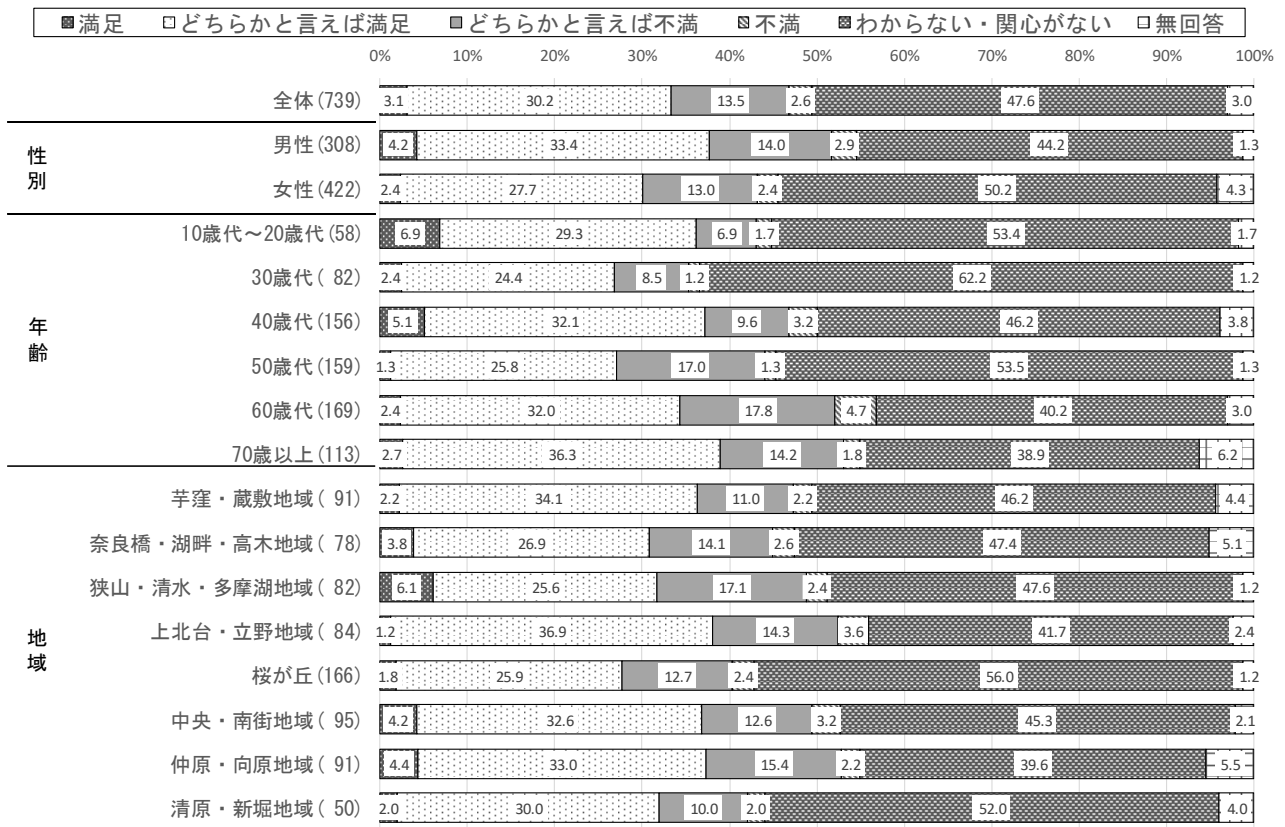
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳代以上の39.0%、次いで40歳代(37.2%)となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「上北台・立野地域」において38.1%と最も高く、次いで「仲原・向原地域」(37.4%)、「中央・南街地域」(36.8%)となっている。

図表 2 1 「市民文化の振興」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「市民文化の振興」について今後優先的に取り組むべき事項では、「市民会館などの文化・芸術施設の利便性向上」が26.8%で最も高く、次いで「文化・芸術イベントの開催」(25.7%)、「文化・芸術に関する情報の提供」(23.3%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代の市民では「郷土文化財の保存・活用」と「旧日立航空機株式会社変電所の保存」がともに25.9%と最も高くなっている。30歳代や50歳代、60歳代、70歳代以上の市民では、「市民会館などの文化・芸術施設の利便性向上」が最も高くなっている(それぞれ、25.6%、29.6%、28.4%、27.4%)。40歳代は「文化・芸術イベントの開催」が27.6%と最も高くなっている。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「上北台・立野地域」、「桜が丘」では「文化・芸術に関する情報の提供」が最も高くなっている(それぞれ、27.5%、28.0%、32.1%、24.7%)。「奈良橋・湖畔・高木地域」や「中央・南街地域」、「清原・新堀地域」では、「市民会館などの文化・芸術施設の利便性向上」が最も高くなっている(それぞれ、29.5%、32.6%、36.0%)。「仲原・向原地域」では「文化・芸術イベントの開催」が37.4%と最も高くなっている。

### <満足度別>

「市民文化の振興」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「市民会館などの文化・芸術施設の利便性向上」が35.3%で最も高く、満足している市民の30.5%を4.8ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「市民会館などの文化・芸術施設の利便性向上」(35.3%)、「文化・芸術イベントの開催」(34.5%)、「文化・芸術に関する情報の提供」(33.6%)となっている。



図表 2 2 「市民文化の振興」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	市民会館などの文化・ 芸術施設の 利便性 向上	文化・芸術 イベントの 開催	文化・芸術 に関する情 報の提供	郷土文化 財の保存・ 活用	旧日立航 空機株式 会社変電 所の保存	特になし	市民文化 祭のプロ グラム内 容の充実	文化・芸 術活動に 取り組む 団体への 支援	(仮称)東 大和郷土 美術館の 計画的な 改修・整 備	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<b>26.8</b>	25.7	23.3	18.3	18.0	16.2	8.4	8.3	3.8	1.6	7.0
性別	男性	(308)	<b>26.3</b>	<b>26.8</b>	22.7	21.1	20.5	13.6	9.1	10.7	4.2	1.9	4.9
	女性	(422)	<b>27.5</b>	<b>25.1</b>	23.7	15.9	15.9	18.2	8.1	6.6	3.6	1.4	8.3
年齢	10歳代～20歳代	(58)	20.7	19.0	17.2	<b>25.9</b>	<b>25.9</b>	19.0	8.6	13.8	1.7	-	5.2
	30歳代	(82)	<b>25.6</b>	22.0	14.6	11.0	13.4	<b>24.4</b>	6.1	7.3	8.5	4.9	11.0
	40歳代	(156)	<b>25.0</b>	<b>27.6</b>	23.7	14.1	17.3	17.9	10.9	5.8	1.9	1.3	7.1
	50歳代	(159)	<b>29.6</b>	<b>28.9</b>	25.2	20.8	21.4	13.2	9.4	6.9	3.1	0.6	3.8
	60歳代	(169)	<b>28.4</b>	<b>27.2</b>	<b>27.2</b>	17.2	14.8	15.4	7.1	8.9	5.9	1.8	8.3
	70歳以上	(113)	<b>27.4</b>	22.1	<b>23.9</b>	<b>23.9</b>	18.6	12.4	7.1	10.6	1.8	1.8	7.1
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>22.0</b>	<b>22.0</b>	<b>27.5</b>	<b>22.0</b>	18.7	20.9	6.6	6.6	4.4	1.1	6.6
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>29.5</b>	<b>25.6</b>	<b>25.6</b>	17.9	17.9	14.1	11.5	7.7	1.3	2.6	6.4
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>25.6</b>	23.2	<b>28.0</b>	22.0	12.2	17.1	6.1	13.4	4.9	1.2	1.2
	上北台・立野地域	(84)	23.8	<b>26.2</b>	<b>32.1</b>	17.9	20.2	14.3	8.3	1.2	3.6	2.4	9.5
	桜が丘	(166)	<b>21.7</b>	21.1	<b>24.7</b>	15.1	<b>21.7</b>	16.9	10.2	9.0	5.4	1.2	7.2
	中央・南街地域	(95)	<b>32.6</b>	<b>26.3</b>	14.7	22.1	15.8	17.9	5.3	8.4	2.1	2.1	9.5
	仲原・向原地域	(91)	<b>31.9</b>	<b>37.4</b>	16.5	15.4	19.8	13.2	8.8	14.3	3.3	-	6.6
	清原・新堀地域	(50)	<b>36.0</b>	<b>28.0</b>	14.0	16.0	12.0	14.0	10.0	2.0	4.0	4.0	8.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(246)	<b>30.5</b>	<b>28.5</b>	17.9	27.2	26.8	5.7	9.8	10.6	4.9	1.2	4.9
	不満・どちらかといえば不満	(119)	<b>35.3</b>	34.5	33.6	14.3	15.1	1.7	12.6	13.4	5.0	4.2	6.7
	わからない・関心がない	(352)	22.2	22.4	<b>23.9</b>	13.6	13.1	<b>29.0</b>	5.7	4.5	2.8	0.9	6.8

問15. 「スポーツ・レクリエーションの推進」についてうかがいます。

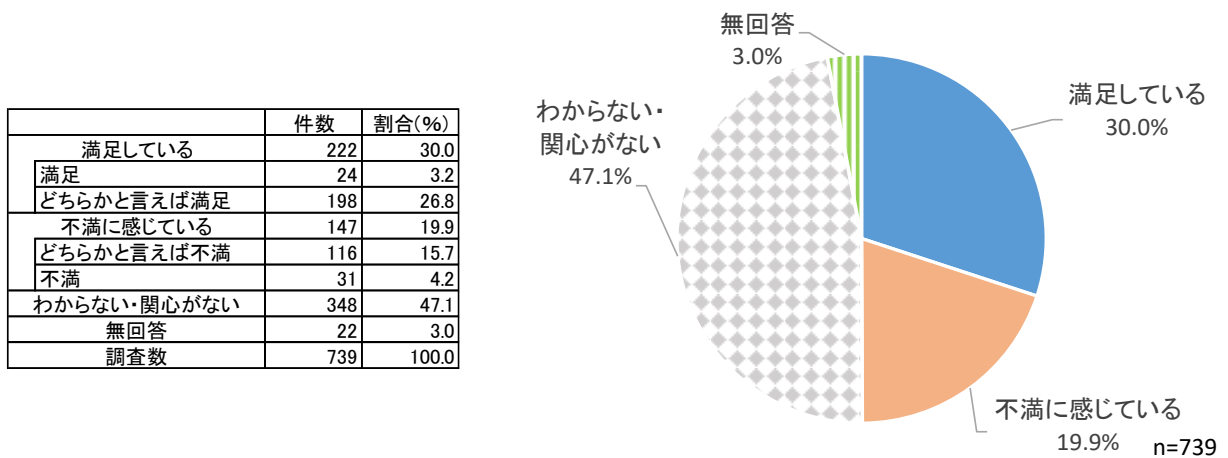
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「スポーツ・レクリエーションの推進」に対して満足している市民の割合は30.0%、不満に感じている市民の割合は19.9%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は47.1%となっている。

図表 2 3 「スポーツ・レクリエーションの推進」に対する満足度（単純集計）



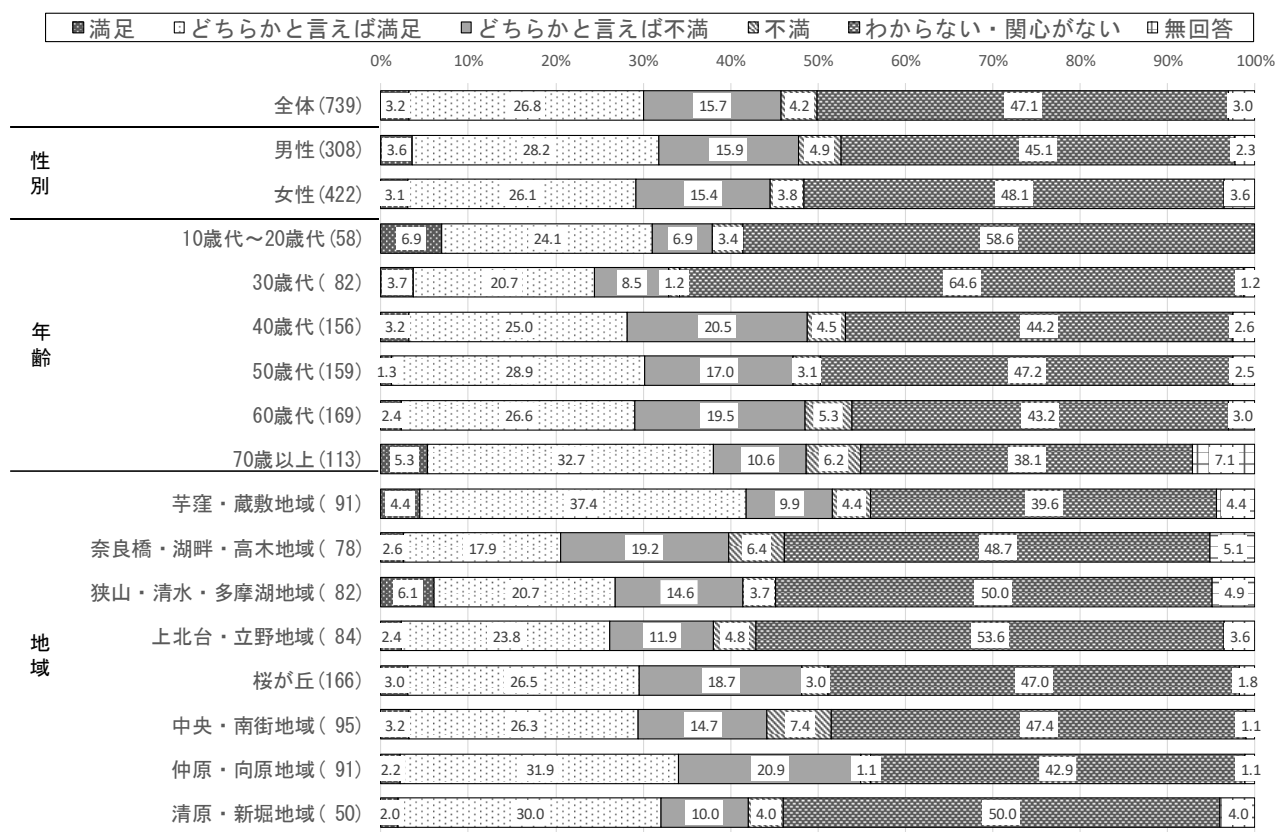
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳代以上の38.0%、次いで10歳代～20歳代（31.0%）となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において41.8%と最も高く、次いで「仲原・向原地域」（34.1%）、「清原・新堀地域」（32.0%）となっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」では満足している市民（20.5%）より不満に感じている市民の割合の方が25.6%と高くなっている。

図表 2 4 「スポーツ・レクリエーションの推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「スポーツ・レクリエーションの推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「スポーツ施設の計画的な改修・整備」が33.3%で最も高く、次いで「スポーツに関する各種教室・大会の開催」(26.7%)、「スポーツに関する情報の提供」(25.6%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～60歳代の市民では「スポーツ施設の計画的な改修・整備」が最も高くなっている。60歳代では、「スポーツ施設の計画的な改修・整備」に加えて、「スポーツに関する情報の提供」がともに最も高くなっている。70歳代以上の市民では、「スポーツに関する各種教室・大会の開催」が最も高くなっている。

### <地域別>

「狭山・清水・多摩湖地域」を除くすべての地域で「スポーツ施設の計画的な改修・整備」が最も高くなっている。「狭山・清水・多摩湖地域」では「スポーツに関する情報の提供」が最も高くなっている。「芋窪・蔵敷地域」では「スポーツ施設の計画的な改修・整備」に加え、「スポーツに関する情報の提供」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「スポーツ・レクリエーションの推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「スポーツ施設の計画的な改修・整備」が51.0%で最も高く、満足している市民の39.6%を11.4ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「スポーツ施設の計画的な改修・整備」(51.0%)、「スポーツに関する情報の提供」(29.9%)、「スポーツに関する各種教室・大会の開催」(29.3%)となっている。

図表 25 「スポーツ・レクリエーションの推進」について  
今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	スポーツ施設 の計画的な改修・ 整備	スポーツに 関する各種 教室・大会 の開催	スポーツに 関する情報 の提供	特になし	スポーツ指 導者の養 成・確保	地域のス ポーツ組 織・団体の 育成	学校・ス ポーツ団 体等と行政との連 携	その他	スポーツ に関する 相談体制 の整備	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>33.3</u>	<u>26.7</u>	25.6	17.1	13.8	12.9	10.4	3.8	3.5	6.8
性別	男性	(308)	<u>36.4</u>	<u>27.9</u>	<u>27.9</u>	13.6	13.0	14.0	10.7	4.5	5.2	4.5
	女性	(422)	<u>31.0</u>	<u>26.1</u>	24.4	19.2	14.7	12.3	10.0	3.3	2.4	8.1
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>36.2</u>	<u>25.9</u>	22.4	13.8	12.1	10.3	15.5	3.4	3.4	6.9
	30歳代	(82)	<u>34.1</u>	<u>30.5</u>	24.4	18.3	18.3	9.8	8.5	1.2	3.7	9.8
	40歳代	(156)	<u>32.1</u>	<u>26.3</u>	21.2	17.9	14.1	16.0	10.9	4.5	3.2	7.1
	50歳代	(159)	<u>44.7</u>	26.4	<u>29.6</u>	17.6	9.4	11.3	10.7	3.1	1.9	3.1
	60歳代	(169)	<u>27.8</u>	26.0	<u>27.8</u>	16.6	17.2	13.0	10.7	4.7	4.7	6.5
	70歳以上	(113)	24.8	<u>26.5</u>	<u>25.7</u>	16.8	12.4	14.2	8.0	4.4	4.4	8.8
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>26.4</u>	17.6	<u>26.4</u>	25.3	17.6	12.1	7.7	5.5	5.5	5.5
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>33.3</u>	<u>32.1</u>	23.1	12.8	12.8	12.8	7.7	7.7	5.1	9.0
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>26.8</u>	23.2	<u>30.5</u>	17.1	12.2	17.1	11.0	2.4	4.9	4.9
	上北台・立野地域	(84)	<u>41.7</u>	<u>26.2</u>	25.0	20.2	9.5	11.9	8.3	2.4	3.6	7.1
	桜が丘	(166)	<u>36.1</u>	<u>28.3</u>	<u>28.3</u>	16.9	7.2	11.4	10.8	3.6	1.8	6.0
	中央・南街地域	(95)	<u>35.8</u>	<u>31.6</u>	20.0	14.7	20.0	6.3	9.5	5.3	3.2	8.4
	仲原・向原地域	(91)	<u>28.6</u>	<u>25.3</u>	<u>25.3</u>	16.5	19.8	17.6	15.4	-	3.3	4.4
	清原・新堀地域	(50)	<u>36.0</u>	<u>30.0</u>	24.0	10.0	18.0	18.0	14.0	4.0	2.0	10.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(222)	<u>39.6</u>	<u>32.0</u>	24.8	7.2	17.6	16.2	15.8	2.7	3.2	4.1
	不満・どちらかといえば不満	(147)	<u>51.0</u>	29.3	<u>29.9</u>	0.7	18.4	13.6	10.2	10.2	3.4	4.1
	わからない・関心がない	(348)	23.0	22.7	<u>25.0</u>	<u>30.7</u>	9.8	10.3	7.2	1.7	4.0	7.5

## (2) 市の施策に関する質問

### 第2章 健康であたたかい心のかよいあうまちを築くために

問16. 「保健・医療の充実」についてうかがいます。

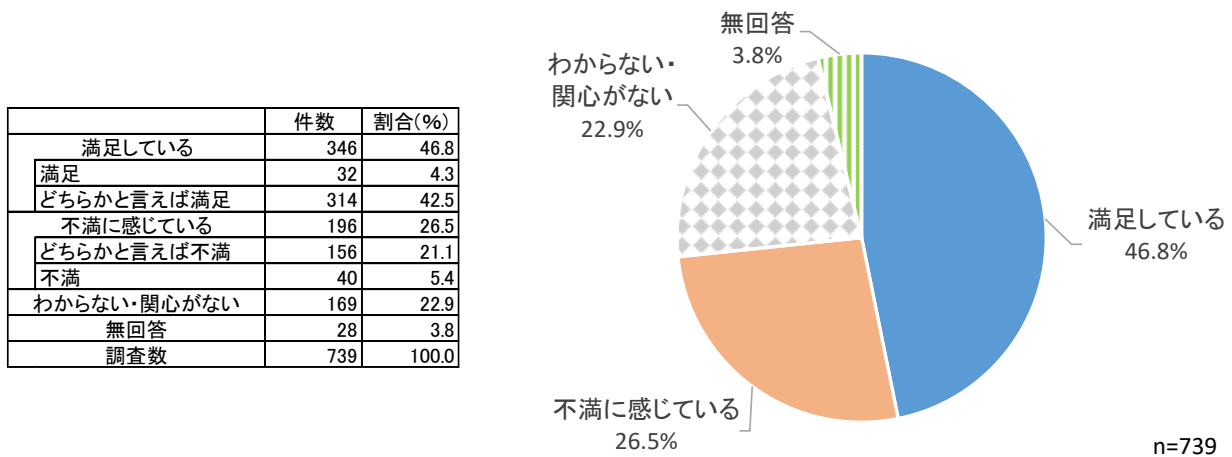
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）  
②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

#### ① 満足度

##### <全体>

東大和市の「保健・医療の充実」に対して満足している市民の割合は46.8%、不満に感じている市民の割合は26.5%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は22.9%となっている。

図表26 「保健・医療の充実」に対する満足度（単純集計）



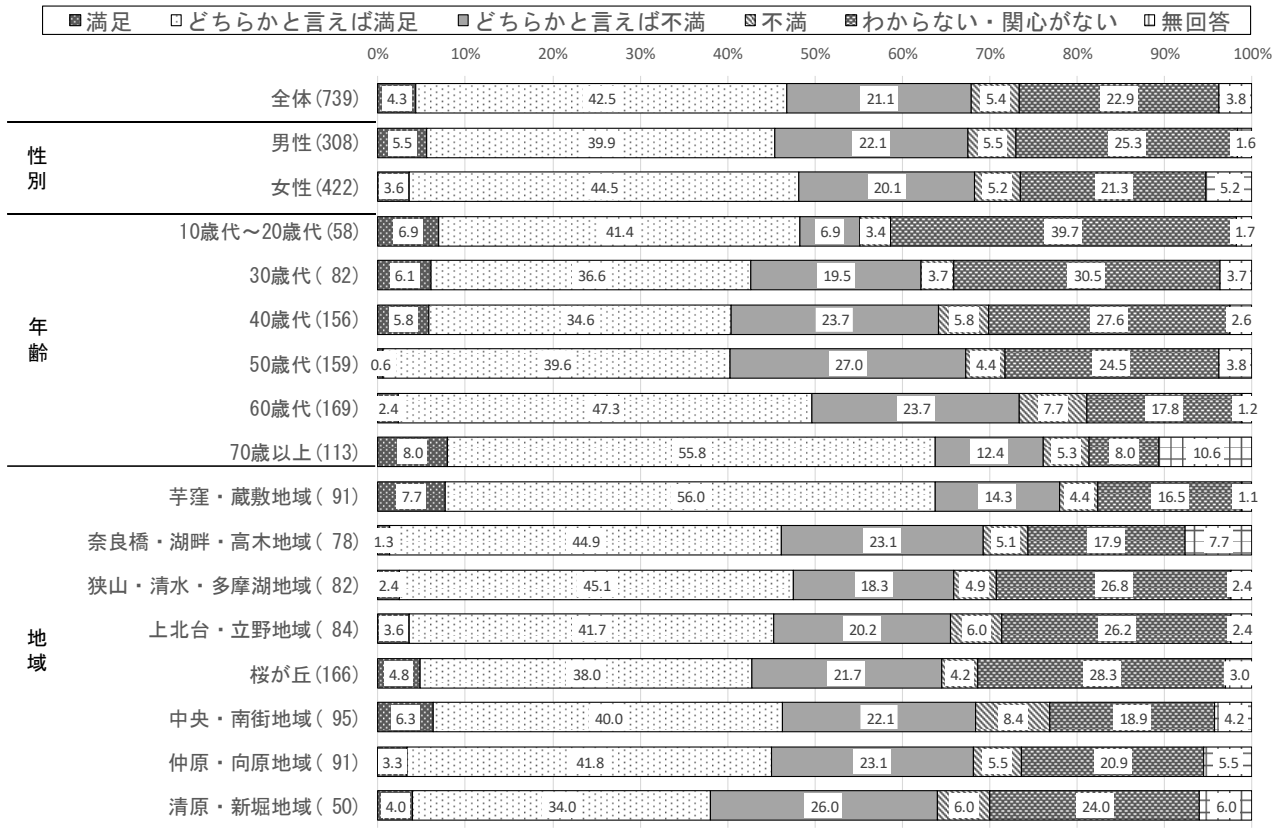
##### <年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳代以上の63.8%、次いで60歳代(49.7%)となっている。

##### <地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において63.7%と最も高く、次いで「狭山・清水・多摩湖地域」(47.5%)、「中央・南街地域」(46.3%)となっている。

図表 27 「保健・医療の充実」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「保健・医療の充実」について今後優先的に取り組むべき事項では、「保健・医療サービスに関する情報の提供」が36.8%で最も高く、次いで「在宅医療の支援体制の整備」(36.3%)、「各種健診などの保健事業」(33.8%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代の市民では「産前・産後の母子のケア」が39.7%と最も高くなっている。30歳代の市民では、「保健・医療サービスに関する情報の提供」が34.1%と最も高くなっている。40歳代は「救急医療の体制の整備」が41.0%と最も高くなっている。50歳代、60歳代、70歳以上では「在宅医療の支援体制の整備」が最も高くなっている(それぞれ、39.6%、47.3%、46.0%)。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「上北台・立野地域」、「清原・新堀地域」では「保健・医療サービスに関する情報の提供」が最も高くなっている(それぞれ、38.5%、45.1%、41.7%、48.0%)。「奈良橋・湖畔・高木地域」や「桜が丘」、「仲原・向原地域」では、「在宅医療の支援体制の整備」が最も高くなっている(それぞれ、39.7%、34.3%、44.0%)。「中央・南街地域」では「各種検診などの保健事業」が40.0%と最も高くなっている。

### <満足度別>

「保健・医療の充実」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「在宅医療の支援体制の整備」が41.3%で最も高く、満足している市民の35.0%を6.3ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「在宅医療の支援体制の整備」(41.3%)、「保健・医療サービスに関する情報の提供」(38.8%)、「各種健診などの保健事業」(36.2%)となっている。

図表28 「保健・医療の充実」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	保健・医療 サービスに 関する情報 の提供	在宅医療 の支援体 制の整備	各種健診な どの保健事 業	救急医療 の体制の 整備	がんや脳 卒中など生 活習慣病 の予防対 策	市民の自 主的な健康 づくりを促 すための啓 発活動	産前・産 後の母子 のケア	子どもの 予防接種	食育の推 進
単純集計	全体	(739)	<b>36.8</b>	36.3	33.8	31.1	21.7	19.6	15.7	13.5	9.7
性別	男性	(308)	<b>36.7</b>	34.7	35.4	30.5	27.9	19.2	13.6	12.7	7.8
	女性	(422)	36.7	<b>37.4</b>	32.7	31.8	17.5	20.1	16.6	14.0	11.1
年齢	10歳代～20歳代	(58)	34.5	17.2	29.3	17.2	24.1	10.3	<b>39.7</b>	25.9	12.1
	30歳代	(82)	<b>34.1</b>	14.6	30.5	31.7	13.4	14.6	<b>32.9</b>	25.6	14.6
	40歳代	(156)	31.4	32.1	31.4	<b>41.0</b>	19.2	10.3	13.5	17.9	8.3
	50歳代	(159)	38.4	<b>39.6</b>	33.3	37.1	22.6	20.8	12.6	11.3	7.5
	60歳代	(169)	43.8	<b>47.3</b>	37.3	23.7	24.9	26.6	9.5	7.1	9.5
	70歳以上	(113)	35.4	<b>46.0</b>	37.2	26.5	23.9	29.2	8.0	5.3	10.6
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>38.5</b>	24.2	36.3	30.8	27.5	20.9	11.0	12.1	8.8
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	38.5	<b>39.7</b>	30.8	32.1	25.6	20.5	14.1	12.8	12.8
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>45.1</b>	41.5	29.3	29.3	14.6	17.1	19.5	12.2	9.8
	上北台・立野地域	(84)	<b>41.7</b>	38.1	38.1	32.1	15.5	14.3	14.3	13.1	8.3
	桜が丘	(166)	32.5	<b>34.3</b>	33.1	28.3	21.1	19.9	18.7	18.1	8.4
	中央・南街地域	(95)	28.4	36.8	<b>40.0</b>	31.6	21.1	20.0	17.9	12.6	14.7
	仲原・向原地域	(91)	33.0	<b>44.0</b>	29.7	33.0	25.3	23.1	16.5	11.0	6.6
	清原・新堀地域	(50)	<b>48.0</b>	32.0	32.0	36.0	24.0	22.0	8.0	12.0	10.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(346)	35.3	35.0	<b>37.0</b>	31.2	24.6	26.6	16.2	13.6	11.8
	不満・どちらかといえば不満	(196)	38.8	<b>41.3</b>	36.2	35.7	23.0	12.8	12.8	10.7	7.1
	わからない・関心がない	(169)	<b>37.3</b>	31.4	24.9	26.6	16.0	14.2	18.3	17.8	8.3



不妊や不 育症など の出産の 悩みを抱 える方へ の支援	衛生的な 生活環境 の確保	特にな い	その他	無回 答
9.5	8.9	3.4	3.0	1.1
7.8	8.1	3.6	3.9	1.0
10.4	9.7	3.3	2.4	1.2
22.4	5.2	3.4	3.4	-
25.6	13.4	1.2	3.7	1.2
10.3	10.3	4.5	3.8	1.3
6.3	9.4	4.4	2.5	0.6
3.0	6.5	3.6	3.0	-
3.5	8.8	1.8	1.8	3.5
3.3	23.1	4.4	2.2	1.1
7.7	7.7	2.6	1.3	1.3
15.9	4.9	-	3.7	1.2
9.5	8.3	4.8	-	2.4
9.6	9.6	3.0	5.4	1.2
8.4	3.2	5.3	5.3	-
8.8	5.5	4.4	1.1	-
14.0	8.0	2.0	2.0	2.0
6.9	10.1	1.7	0.9	0.6
8.7	8.2	0.0	7.7	0.5
14.2	7.7	11.2	2.4	1.2

問17. 「高齢者保健福祉の推進」についてうかがいます。

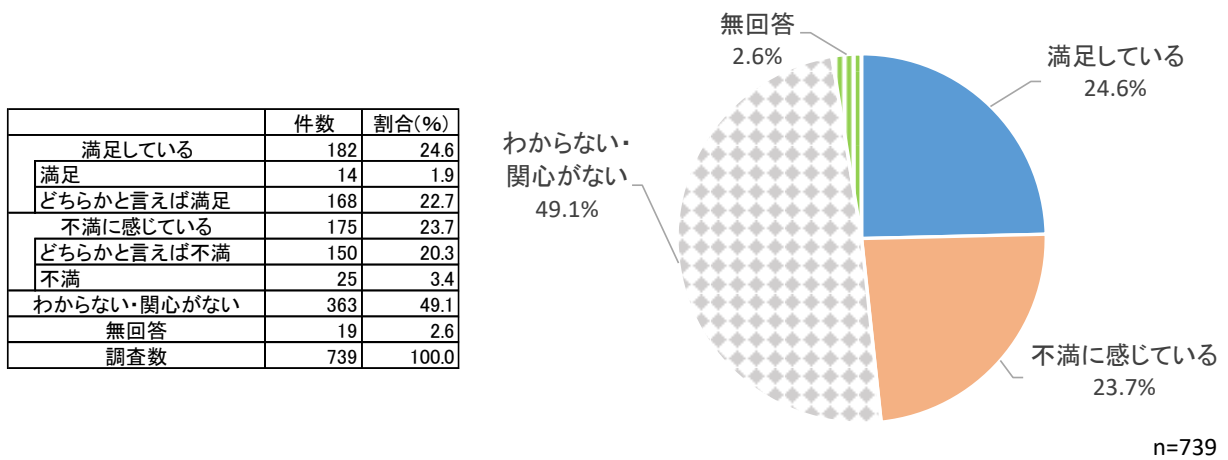
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「高齢者保健福祉の推進」に対して満足している市民の割合は24.6%、不満に感じている市民の割合は23.7%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は49.1%となっている。

図表29 「高齢者保健福祉の推進」に対する満足度（単純集計）



<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳以上の37.2%、次いで60歳代（26.6%）となっている。一方、60歳代の市民においては、満足している市民（26.6%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、37.3%となっている。

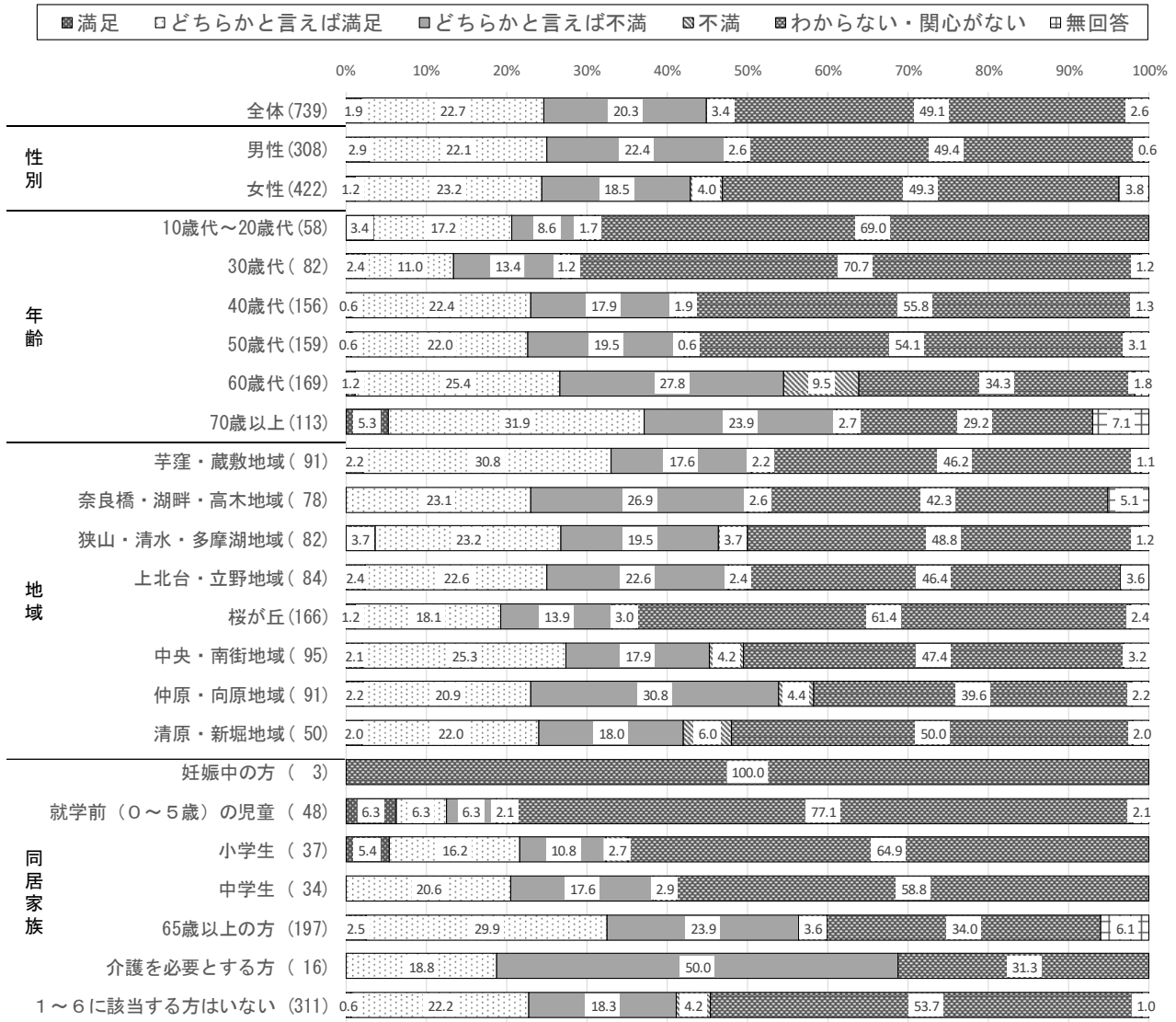
<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において33.0%と最も高く、次いで「中央・南街地域」（27.4%）、「狭山・清水・多摩湖地域」（26.9%）となっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」や「仲原・向原地域」では満足している市民（ともに23.1%）より不満に感じている市民の割合（それぞれ、29.5%、35.2%）の方が高くなっている。

<同居家族別>

65歳以上の方と同居している市民では、満足している市民の割合が32.4%と、不満に感じている市民の割合（27.5%）よりも5.0ポイント上回っている。

図表30 「高齢者保健福祉の推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「高齢者保健福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制の整備」が51.8%で最も高く、次いで「適正な介護保険の給付」(27.7%)、「高齢者を地域で支え合う体制の整備」(26.0%)となっている。

### <年齢別>

全ての年代において、「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制の整備」が最も高くなっている。

### <地域別>

全ての地域において、「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制の整備」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「高齢者保健福祉の推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制の整備」(53.1%)、「適正な介護保険の給付」(39.4%)、「高齢者が住みやすい住宅の確保」(29.7%)となっている。

図表3-1 「高齢者保健福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	支援が必要な高齢者 やその家族に対する総合的な 相談・支援体制の整備	適正な介護 保険の給 付	高齢者を地 域で支え合 う体制の整 備	高齢者の 生きがいづ くり	高齢者が 住みやすい 住宅の確 保	介護・認知 症予防対 策	介護保険 制度に関 する情報 の提供	高齢者の 就労支援	高齢者へ の見守り・ 声かけ活 動の支援
単純集計	全体	(739)	<b>51.8</b>	27.7	26.0	24.6	22.5	21.5	20.8	19.9	18.5
性別	男性	(308)	<b>50.6</b>	29.2	24.0	23.1	24.4	22.1	19.5	20.5	20.1
	女性	(422)	<b>52.8</b>	26.1	27.3	26.1	21.6	21.1	21.8	19.2	17.5
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>39.7</b>	20.7	19.0	20.7	24.1	22.4	15.5	<b>25.9</b>	<b>25.9</b>
	30歳代	(82)	<b>46.3</b>	26.8	15.9	17.1	20.7	25.6	18.3	20.7	17.1
	40歳代	(156)	<b>46.2</b>	25.6	26.9	22.4	<b>30.1</b>	19.9	12.8	20.5	17.3
	50歳代	(159)	<b>54.7</b>	23.3	<b>27.0</b>	<b>27.0</b>	24.5	23.3	23.9	22.6	15.1
	60歳代	(169)	<b>57.4</b>	<b>36.7</b>	30.8	27.2	21.3	23.1	23.7	17.2	17.2
	70歳以上	(113)	<b>57.5</b>	27.4	26.5	27.4	11.5	15.9	<b>28.3</b>	15.0	24.8
地域	茅窪・蔵敷地域	(91)	<b>42.9</b>	<b>28.6</b>	23.1	20.9	22.0	22.0	22.0	17.6	20.9
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>48.7</b>	33.3	21.8	<b>35.9</b>	17.9	24.4	19.2	21.8	15.4
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>56.1</b>	<b>29.3</b>	28.0	22.0	28.0	26.8	22.0	20.7	18.3
	上北台・立野地域	(84)	<b>56.0</b>	<b>31.0</b>	20.2	13.1	27.4	17.9	23.8	16.7	17.9
	桜が丘	(166)	<b>50.0</b>	24.1	<b>29.5</b>	25.9	19.9	21.7	19.9	24.1	16.3
	中央・南街地域	(95)	<b>58.9</b>	22.1	25.3	<b>29.5</b>	20.0	17.9	12.6	20.0	22.1
	仲原・向原地域	(91)	<b>50.5</b>	<b>30.8</b>	29.7	23.1	26.4	19.8	<b>29.7</b>	15.4	18.7
	清原・新堀地域	(50)	<b>54.0</b>	<b>26.0</b>	<b>26.0</b>	<b>26.0</b>	20.0	24.0	18.0	18.0	22.0
同居家族	妊娠中の方	(3)	-	33.3	-	33.3	33.3	<b>66.7</b>	-	<b>100.0</b>	-
	就学前の児童	(48)	<b>45.8</b>	18.8	<b>25.0</b>	16.7	<b>25.0</b>	22.9	14.6	20.8	16.7
	小学生	(37)	<b>48.6</b>	13.5	16.2	24.3	24.3	10.8	10.8	<b>29.7</b>	24.3
	中学生	(34)	<b>50.0</b>	<b>29.4</b>	14.7	14.7	<b>29.4</b>	17.6	17.6	17.6	20.6
	65歳以上の方	(197)	<b>56.9</b>	<b>31.5</b>	29.9	29.4	16.2	23.4	22.8	17.3	17.3
	介護を必要とする方	(16)	37.5	<b>50.0</b>	18.8	12.5	<b>56.3</b>	18.8	25.0	25.0	18.8
	1～6に該当する方はいない	(311)	<b>52.4</b>	<b>26.7</b>	25.4	25.1	24.1	22.2	22.5	21.2	18.3
満足度	満足・どちらかといえば満足	(182)	<b>55.5</b>	23.1	<b>33.5</b>	25.8	19.8	22.5	22.5	20.3	25.3
	不満・どちらかといえば不満	(175)	<b>53.1</b>	<b>39.4</b>	26.3	27.4	29.7	21.7	22.3	16.6	12.6
	わからない・関心がない	(363)	<b>49.0</b>	<b>24.8</b>	22.3	23.4	21.2	21.5	19.0	22.0	18.2

ごみ出し などの生 活支援 サービス	特にない	高齢者の 虐待防止 対策	その他	無回答
8.8	4.6	3.0	2.0	2.2
9.1	3.6	3.9	1.6	2.9
8.3	5.5	2.4	2.4	1.7
8.6	5.2	5.2	3.4	1.7
13.4	9.8	7.3	3.7	3.7
8.3	7.7	2.6	2.6	3.8
8.8	2.5	2.5	0.6	1.3
8.9	2.4	2.4	1.2	-
6.2	2.7	0.9	2.7	3.5
7.7	6.6	3.3	3.3	1.1
7.7	1.3	-	3.8	2.6
3.7	1.2	3.7	-	-
15.5	6.0	3.6	2.4	3.6
7.2	6.0	3.0	1.8	4.8
12.6	8.4	1.1	3.2	-
4.4	3.3	5.5	-	-
16.0	-	4.0	2.0	4.0
-	-	-	-	-
14.6	12.5	4.2	4.2	2.1
8.1	8.1	-	-	10.8
5.9	8.8	-	2.9	-
6.6	2.5	5.1	2.0	2.5
6.3	-	6.3	6.3	-
10.6	3.9	2.6	1.6	1.3
6.0	2.7	5.5	0.0	0.5
13.1	0.0	2.3	4.6	0.6
7.7	8.0	2.2	1.7	2.8

問18. 「障害者福祉の推進」についてうかがいます。

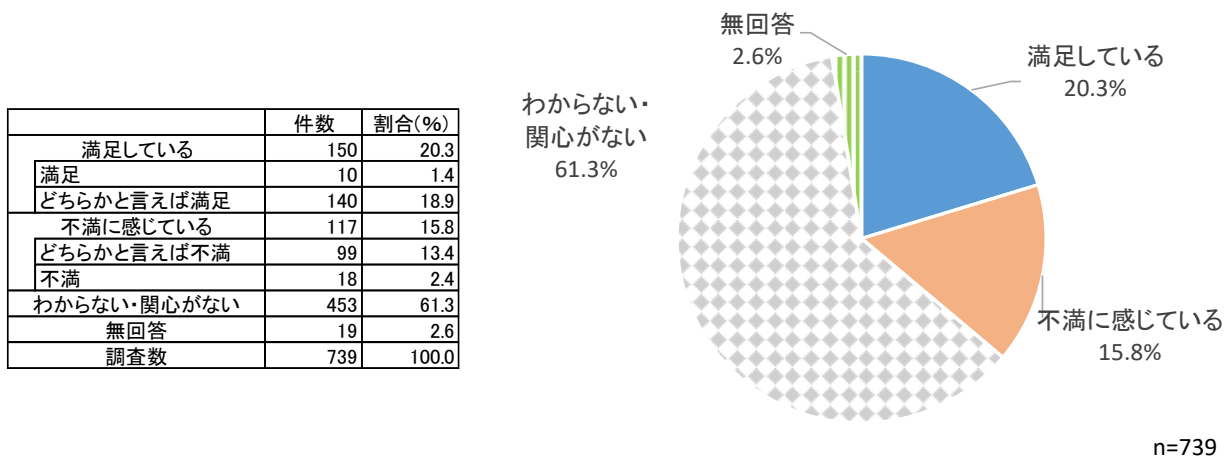
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「障害者福祉の推進」に対して満足している市民の割合は 20.3%、不満に感じている市民の割合は 15.8%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 61.3%となっている。

図表 3 2 「障害者福祉の推進」に対する満足度（単純集計）



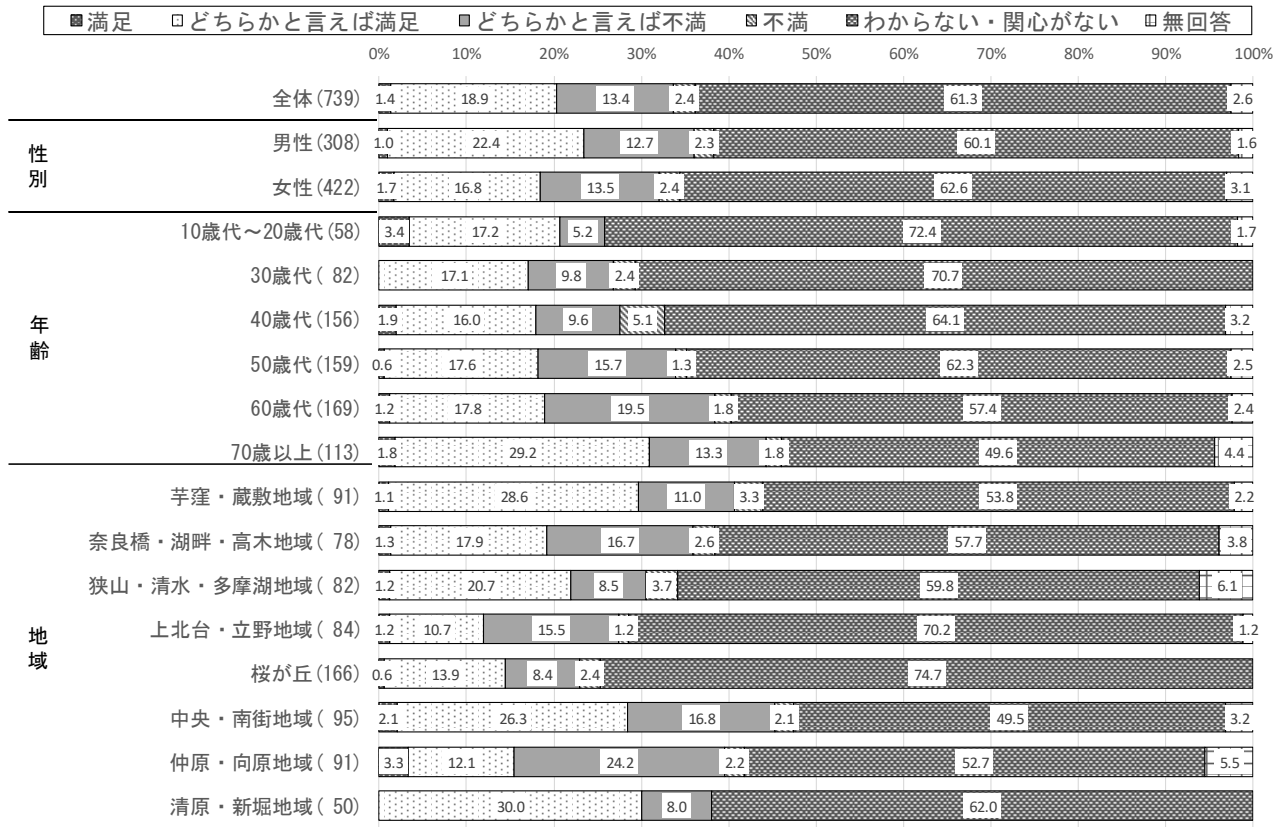
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 70 歳以上の 31.0%、次いで 10 歳代～20 歳代 (20.6%) となっている。一方、60 歳代の市民においては、満足している市民 (19.0%) より不満に感じている市民の割合の方が高く、21.3%となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「清原・新堀地域」において 30.0%と最も高く、次いで「芋窪・蔵敷地域」(29.7%)、「中央・南街地域」(28.4%) となっている。一方、「上北台・立野地域」と「仲原・向原地域」では満足している市民 (それぞれ 11.9%、15.4%) より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ 16.7%、26.4%となっている。

図表 3 3 「障害者福祉の推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「障害者福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「障害者の就労機会の確保」が28.1%で最も高く、次いで「障害者やその家族からの相談体制の整備」(27.7%)、「障害者への理解の促進」(24.4%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代の市民では「障害の早期発見・早期治療、療育体制の整備」が最も高くなっている。30歳代の市民では「発達障害者や難病患者などへの支援」が最も高くなっている。40歳代と50歳代の市民では、「障害者の就労機会の確保」が最も高くなっている。60歳代の市民では「障害者やその家族からの相談体制の整備」が最も高くなっている。70歳以上の市民では「医療費の助成制度の実施」が最も高くなっている。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「中央・南街地域」、「清原・新堀地域」では「障害者やその家族からの相談体制の整備」が最も高くなっている。「奈良橋・湖畔・高木地域」では「障害者への理解の促進」、「狭山・清水・多摩湖地域」では「障害の早期発見・早期治療、療育体制の整備」、「上北台・立野地域」では「医療費の助成制度の実施」、「桜が丘」では「障害者の就労機会の確保」、「仲原・向原地域」では「発達障害や難病患者などへの支援」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「障害者福祉の推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「医療費の助成制度の実施」が36.8%で最も高く、満足している市民の20.0%を16.8ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「医療費の助成制度の実施」(36.8%)、「発達障害者や難病患者などへの支援」(32.5%)、「障害者の就労機会の確保」(31.6%)となっている。

図表34 「障害者福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項

属性	回答総数 (n)	障害者の 就労機会の 確保	障害者やそ の家族から の相談体 制の整備	障害者へ の理解の 促進	発達障害 者や難病 患者などへ の支援	障害の早期 発見・早期 治療、療 育体制の 整備	医療費の 助成制度 の実施	在宅福祉 サービス	障害者の 日中活動 の場づくり	年金・福 祉給付の 実施
単純集計	全体 (739)	28.1	27.7	24.4	23.3	22.6	21.8	20.6	13.1	11.8
性別	男性 (308)	28.9	31.2	23.7	21.8	20.1	20.5	20.8	12.0	14.3
	女性 (422)	27.0	25.8	24.6	24.9	24.6	22.0	20.1	13.3	10.0
年齢	10歳代～20歳代 (58)	24.1	25.9	22.4	22.4	36.2	17.2	15.5	15.5	10.3
	30歳代 (82)	20.7	22.0	32.9	34.1	19.5	19.5	9.8	11.0	8.5
	40歳代 (156)	31.4	24.4	22.4	25.0	21.8	18.6	16.0	16.0	13.5
	50歳代 (159)	35.2	33.3	22.0	24.5	17.6	17.0	28.3	15.1	11.9
	60歳代 (169)	26.0	29.6	24.9	24.3	23.7	24.9	19.5	8.3	11.8
	70歳以上 (113)	23.9	27.4	24.8	10.6	24.8	31.9	27.4	13.3	12.4
地域	芋窪・蔵敷地域 (91)	23.1	27.5	22.0	25.3	22.0	17.6	23.1	13.2	12.1
	奈良橋・湖畔・高木地域 (78)	25.6	20.5	33.3	17.9	19.2	17.9	16.7	17.9	14.1
	狭山・清水・多摩湖地域 (82)	29.3	25.6	18.3	24.4	34.1	28.0	20.7	11.0	13.4
	上北台・立野地域 (84)	28.6	27.4	20.2	23.8	21.4	33.3	21.4	11.9	10.7
	桜が丘 (166)	30.7	24.1	25.9	22.3	18.7	16.9	20.5	13.3	10.8
	中央・南街地域 (95)	31.6	36.8	27.4	25.3	26.3	14.7	15.8	15.8	5.3
	仲原・向原地域 (91)	23.1	29.7	23.1	31.9	26.4	24.2	19.8	12.1	12.1
清原・新堀地域 (50)	32.0	36.0	24.0	10.0	12.0	30.0	30.0	6.0	22.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足 (150)	32.0	32.0	26.0	18.0	30.0	20.0	29.3	12.7	15.3
	不満・どちらかといえば不満 (117)	31.6	19.7	23.9	32.5	16.2	36.8	22.2	21.4	19.7
	わからない・関心がない (453)	26.0	28.7	24.5	22.7	21.6	18.8	17.4	11.0	8.4



障害者 (児)の学 習機会の 確保	障害者と 健常者の ふれあい 交流	特にない	障害者の 虐待防止 対策	成年後見 制度の利 用促進	その他	無回答
11.4	9.1	8.4	6.1	4.7	2.0	3.9
10.7	10.1	8.4	7.1	6.2	1.9	4.2
12.1	8.3	8.5	5.5	3.8	2.1	3.8
12.1	12.1	6.9	6.9	5.2	-	3.4
14.6	13.4	9.8	8.5	4.9	-	4.9
10.9	7.1	9.6	5.8	4.5	3.8	4.5
10.7	5.0	7.5	7.5	4.4	1.9	1.9
14.2	10.7	9.5	4.7	5.3	1.8	4.7
6.2	10.6	6.2	4.4	4.4	2.7	4.4
8.8	7.7	16.5	7.7	3.3	-	2.2
11.5	11.5	6.4	5.1	3.8	2.6	7.7
9.8	9.8	3.7	3.7	4.9	2.4	1.2
9.5	7.1	9.5	7.1	6.0	1.2	4.8
13.9	6.6	6.0	7.2	3.6	2.4	6.6
10.5	9.5	10.5	4.2	9.5	4.2	1.1
12.1	11.0	9.9	5.5	3.3	2.2	2.2
14.0	14.0	4.0	8.0	4.0	-	4.0
8.0	12.7	2.7	6.0	6.0	2.0	0.7
15.4	11.1	0.9	6.8	6.8	5.1	0.9
11.7	7.7	12.6	6.0	3.8	1.1	4.6

問19. 「児童福祉の推進」についてうかがいます。

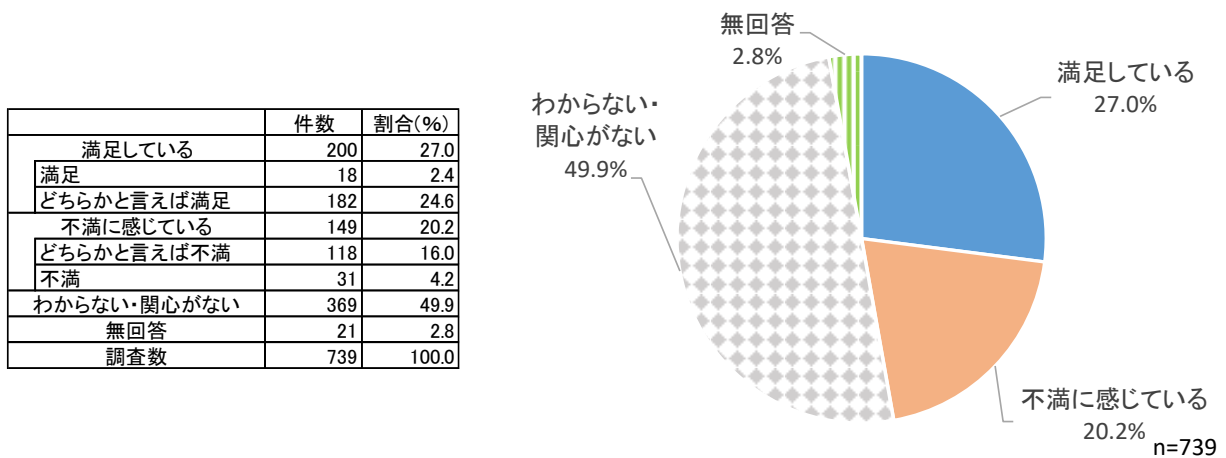
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「児童福祉の推進」に対して満足している市民の割合は27.0%、不満に感じている市民の割合は20.2%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は49.9%となっている。

図表35 「児童福祉の推進」に対する満足度（単純集計）



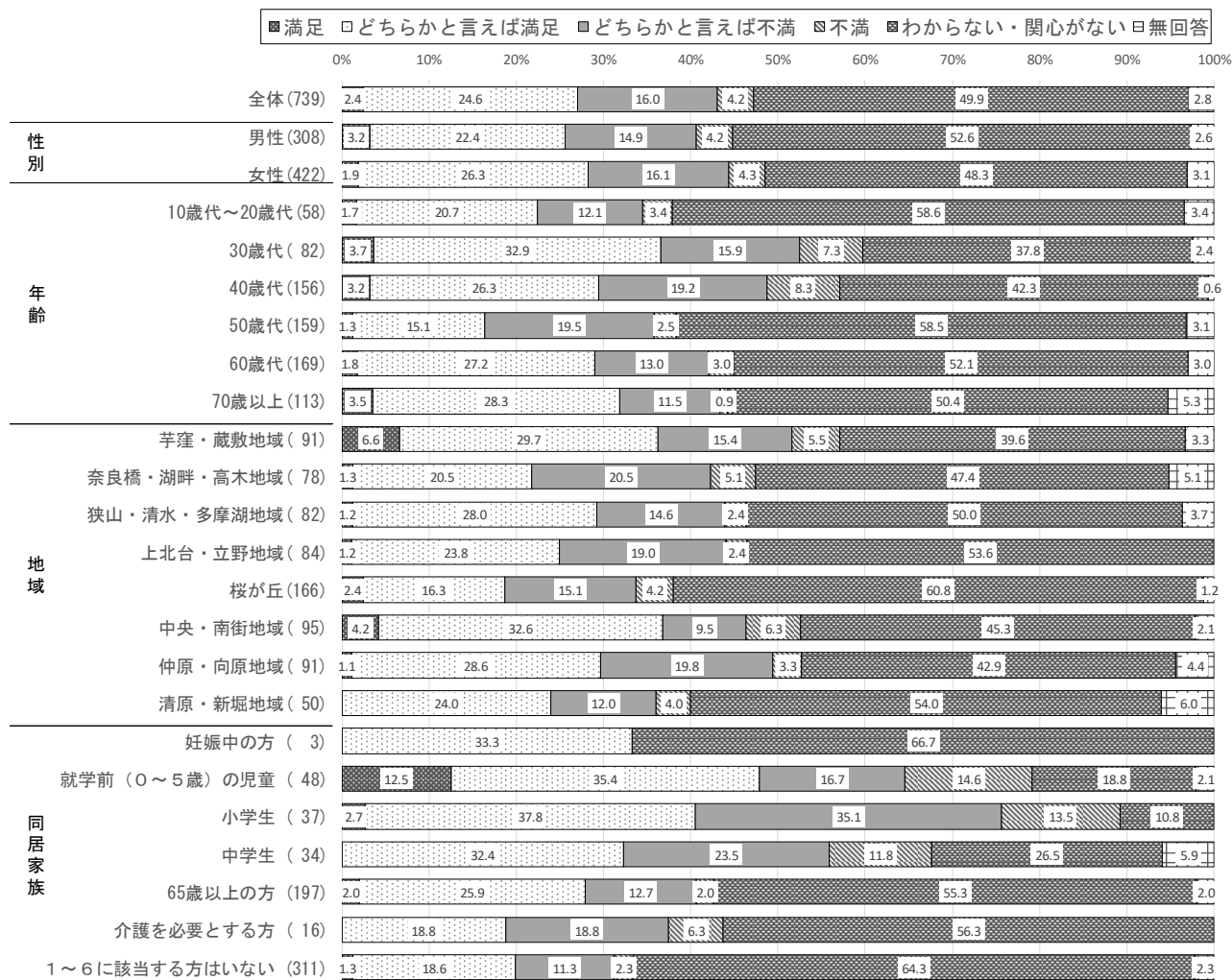
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは30歳代の36.6%、次いで70歳以上(31.8%)となっている。一方、50歳代の市民においては、満足している市民(16.4%)より不満に感じている市民の割合の方が高く、22.0%となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「中央・南街地域」において36.8%と最も高く、次いで「芋窪・蔵敷地域」(36.3%)、「仲原・向原地域」(29.7%)となっている。一方、「桜が丘」や「奈良橋・湖畔・高木地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表 3 6 「児童福祉の推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「児童福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「一時預かりや病児保育などの保育サービス」が29.1%で最も高く、次いで「地域における「子どもの居場所」づくり」(26.1%)、「各種手当・給付制度の実施」(24.9%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代、30歳代の市民では「各種手当・給付制度の実施」がそれぞれ41.4%、46.3%と最も高くなっている。40歳代の市民では「地域における「子どもの居場所」づくり」(30.8%)、50歳代、60歳代の市民では、「一時預かりや病児保育などの保育サービス」が最も高くなっている(それぞれ、33.3%、36.1%)。70歳代以上の市民では「ひとり親家庭の自立支援」が27.4%と最も高くなっている。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「上北台・立野地域」では「子育てに関する相談・情報提供の実施」が最も高くなっている(それぞれ、29.7%、38.1%)。「桜が丘」や「中央・南街地域」では、「一時預かりや病児保育などの保育サービス」が最も高くなっている(それぞれ、34.9%、29.5%)。「奈良橋・湖畔・高木地域」や「仲原・向原地域」では「地域における「子どもの居場所」づくり」が最も高くなっている(それぞれ、34.6%、39.6%)。「狭山・清水・多摩湖地域」では「各種手当・給付制度の実施」が31.7%と最も高くなっている。「清原・新堀地域」では、「ひとり親家庭の自立支援」が30.0%で最も高くなっている。

図表37 「児童福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	一時預かり や病児保 育などの保 育サービス	地域におけ る「子ども の居場所」 づくり	各種手当・ 給付制度 の実施	子育てに関 する相談・ 情報提供 の実施	ひとり親家 庭の自立 支援	保育園の 計画的な整 備	児童館・ 学童保育 所の計画的な改 修・整備	在宅で子 育てして いる方へ の支援	学童保育 の保育内 容の充実
単純集計	全体	(739)	<b>29.1</b>	26.1	24.9	24.6	23.8	17.1	14.5	14.5	13.1
性別	男性	(308)	24.0	25.3	25.0	25.0	<b>27.6</b>	23.1	12.7	15.9	14.3
	女性	(422)	<b>32.7</b>	27.0	24.6	24.4	21.1	12.6	16.1	13.7	12.6
年齢	10歳代～20歳代	(58)	27.6	10.3	<b>41.4</b>	<b>36.2</b>	19.0	<b>36.2</b>	-	15.5	6.9
	30歳代	(82)	26.8	20.7	<b>46.3</b>	25.6	14.6	19.5	23.2	12.2	23.2
	40歳代	(156)	23.1	<b>30.8</b>	29.5	16.0	19.9	16.0	19.2	12.8	16.7
	50歳代	(159)	<b>33.3</b>	27.7	20.8	24.5	<b>31.4</b>	18.2	13.2	14.5	7.5
	60歳代	(169)	<b>36.1</b>	29.6	16.6	27.2	24.3	13.0	10.7	14.2	13.6
	70歳以上	(113)	23.9	24.8	12.4	26.5	<b>27.4</b>	11.5	16.8	18.6	11.5
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	27.5	22.0	23.1	<b>29.7</b>	18.7	16.5	17.6	13.2	13.2
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	28.2	<b>34.6</b>	20.5	23.1	<b>29.5</b>	16.7	9.0	10.3	15.4
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	28.0	26.8	<b>31.7</b>	24.4	23.2	12.2	12.2	15.9	7.3
	上北台・立野地域	(84)	25.0	16.7	32.1	<b>38.1</b>	21.4	16.7	13.1	14.3	14.3
	桜が丘	(166)	<b>34.9</b>	24.7	24.1	19.9	20.5	14.5	16.9	10.8	15.7
	中央・南街地域	(95)	<b>29.5</b>	23.2	26.3	17.9	<b>27.4</b>	17.9	15.8	24.2	12.6
	仲原・向原地域	(91)	28.6	<b>39.6</b>	18.7	24.2	26.4	22.0	11.0	15.4	9.9
清原・新堀地域	(50)	24.0	22.0	22.0	26.0	<b>30.0</b>	<b>26.0</b>	20.0	14.0	16.0	
同居家族	妊娠中の方	(3)	33.3	-	<b>100.0</b>	-	<b>66.7</b>	33.3	-	-	33.3
	就学前の児童	(48)	29.2	10.4	<b>50.0</b>	22.9	6.3	<b>37.5</b>	29.2	16.7	22.9
	小学生	(37)	10.8	40.5	<b>51.4</b>	18.9	5.4	13.5	29.7	8.1	24.3
	中学生	(34)	14.7	<b>35.3</b>	29.4	8.8	20.6	17.6	23.5	20.6	11.8
	65歳以上の方	(197)	<b>31.5</b>	29.4	15.7	23.9	22.3	12.7	20.3	14.7	13.7
	介護を必要とする方	(16)	31.3	18.8	<b>50.0</b>	12.5	<b>37.5</b>	31.3	6.3	25.0	6.3
	1～6に該当する方はいない	(311)	<b>32.8</b>	23.2	18.6	29.9	29.6	17.4	7.7	15.4	10.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(200)	29.5	28.5	<b>32.0</b>	25.0	27.0	17.0	22.5	14.0	16.0
	不満・どちらかといえば不満	(149)	25.5	<b>36.9</b>	32.2	19.5	12.1	24.2	21.5	20.1	20.8
	わからない・関心がない	(369)	<b>31.4</b>	20.6	18.2	26.6	<b>26.8</b>	14.9	7.9	12.5	8.1

### <同居家族別>

就学前の児童や小学生と同居する市民では、「各種手当・給付制度の実施」が最も高くなっている（それぞれ 50.0%、51.4%）。

### <満足度別>

「児童福祉の推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「地域における「子どもの居場所」づくり」が 36.9%で最も高く、満足している市民の 28.5%を 8.4 ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位 3 位は、「地域における「子どもの居場所」づくり」（36.9%）、「各種手当・給付制度の実施」（32.2%）、「一時預かりや病児保育などの保育サービス」（25.5%）となっている。

民間保育園の運営支援	子育てに関する地域活動の拠点整備	特になし	児童館活動の充実	幼稚園利用者への支援	その他	無回答
12.7	11.8	9.7	7.7	6.8	2.7	3.2
12.3	12.0	9.7	6.2	6.8	2.6	2.3
13.0	11.8	10.0	9.0	6.9	2.4	3.6
17.2	8.6	5.2	6.9	19.0	3.4	3.4
25.6	9.8	6.1	4.9	9.8	4.9	1.2
8.3	8.3	12.2	5.8	8.3	2.6	3.8
16.4	13.8	8.2	5.7	6.3	2.5	2.5
7.7	14.8	13.0	8.3	3.0	2.4	3.0
9.7	12.4	8.8	15.0	2.7	1.8	4.4
16.5	12.1	14.3	3.3	6.6	2.2	2.2
10.3	12.8	9.0	12.8	3.8	1.3	5.1
12.2	9.8	9.8	7.3	11.0	2.4	1.2
17.9	8.3	10.7	3.6	9.5	4.8	2.4
12.0	12.7	9.6	10.2	6.6	2.4	4.2
11.6	10.5	8.4	6.3	7.4	6.3	1.1
13.2	17.6	8.8	6.6	3.3	-	2.2
6.0	8.0	6.0	12.0	6.0	2.0	8.0
33.3	-	-	-	-	-	-
25.0	12.5	4.2	8.3	12.5	2.1	-
2.7	8.1	8.1	13.5	2.7	2.7	-
8.8	2.9	2.9	2.9	8.8	5.9	5.9
14.2	16.2	10.2	8.1	2.5	2.5	4.1
18.8	12.5	6.3	12.5	12.5	-	-
12.2	10.9	12.9	6.8	7.7	1.9	2.3
13.5	13.5	4.0	8.0	5.5	4.0	0.0
16.1	6.7	0.0	10.7	12.8	4.7	2.0
11.4	13.0	17.3	6.5	5.1	1.1	3.8

問20. 「社会保障の充実」についてうかがいます。

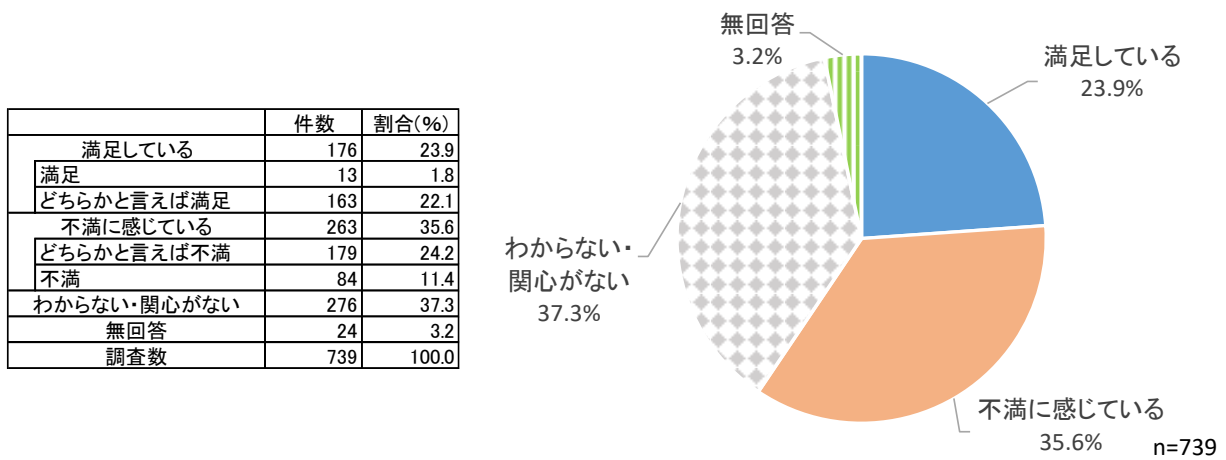
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「社会保障の充実」に対して満足している市民の割合は 23.9%、不満に感じている市民の割合は 35.6%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 37.3%となっている。

図表 3 8 「社会保障の充実」に対する満足度（単純集計）



<年齢別>

不満と感じている市民の割合が最も高いのは60歳代の48.0%、次いで70歳以上(41.6%)、50歳代(34.0%)となっている。

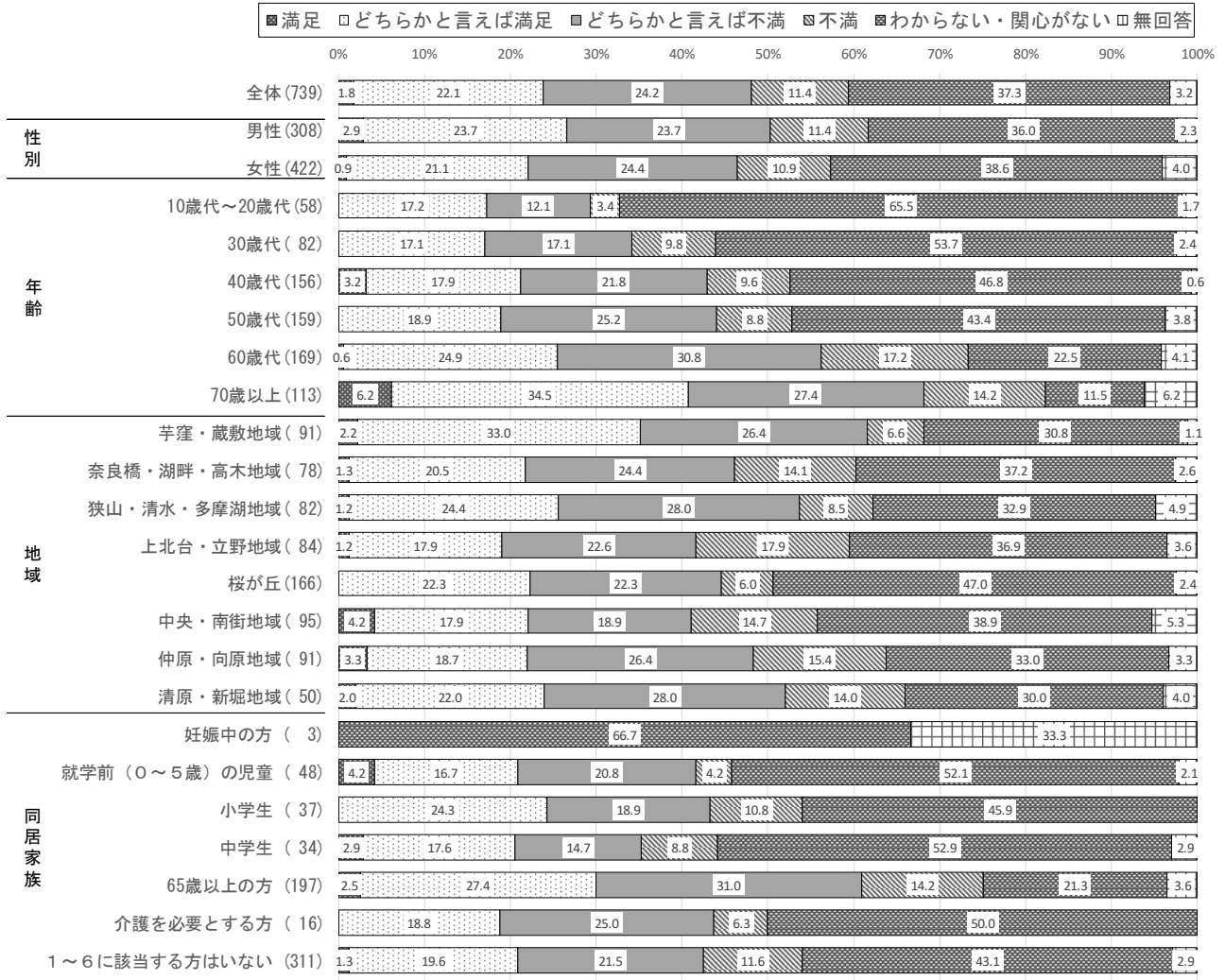
<地域別>

満足している市民の割合が不満に感じている市民の割合よりも高い地域は「芋窪・蔵敷地域」のみであり、35.2%となっている。その他すべての地域は、不満に感じている市民の割合の方が高く、不満に感じている市民の割合は、「清原・新堀地域」で42.0%と最も高く、次いで「仲原・向原地域」(41.8%)、「上北台・立野地域」(40.5%)となっている。

<同居家族別>

65歳以上の方と同居している市民において、不満に感じている市民の割合は45.2%と満足している市民の割合(29.9%)を15.3ポイント上回っている。

図表 39 「社会保障の充実」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「社会保障の充実」について今後優先的に取り組むべき事項では、「国民健康保険の医療給付費の適正化」が32.6%で最も高く、次いで「国民健康保険財政の健全化」(31.4%)、「生活保護世帯の自立支援」(23.8%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代の市民では「国民年金に関する相談・情報提供」が31.0%と最も高くなっている。30歳代や50歳代の市民では、「国民健康保険財政の健全化」が最も高くなっている(それぞれ、35.4%、30.8%)。40歳代や60歳代の市民では「国民健康保険の医療給付費の適正化」が最も高くなっている(それぞれ、32.1%、41.4%)。70歳以上の市民では、「後期高齢者医療制度の各種事業の実施」が最も高く、44.2%となっている。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」、「清原・新堀地域」では「国民健康保険の医療給付費の適正化」が最も高くなっている(それぞれ、29.7%、37.8%、27.4%、40.7%、42.0%)。「奈良橋・湖畔・高木地域」や「上北台・立野地域」、「桜が丘」では、「国民健康保険財政の健全化」が最も高くなっている(それぞれ、37.2%、36.9%、33.1%)。

### <同居家族別>

65歳以上の方と同居している市民では、「国民健康保険の医療給付費の適正化」が39.6%と最も高くなっている。

### <満足度別>

「社会保障の充実」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「国民健康保険の医療給付費の適正化」が43.7%で最も高く、満足している市民の31.8%を11.9ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「国民健康保険の医療給付費の適正化」(43.7%)、「国民健康保険財政の健全化」(39.9%)、「後期高齢者医療制度の各種事業の実施」(24.0%)となっている。



図表 40 「社会保障の充実」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	国民健康 保険の医 療給付費 の適正化	国民健康 保険財政 の健全化	生活保護 世帯の自 立支援	後期高齢 者医療制 度の各種 事業の実 施	国民年金に 関する相 談・情報提 供	特にな い	国民年金 に関する 啓発活動	生活保護 による各 種給付	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>32.8</u>	31.4	23.8	22.5	16.9	9.6	8.1	5.1	2.3	8.9
性別	男性	(308)	<u>33.8</u>	28.9	25.0	23.7	17.2	6.8	8.1	7.8	2.6	8.8
	女性	(422)	<u>31.8</u>	<u>32.9</u>	22.7	22.0	16.4	11.8	8.3	3.3	2.1	9.0
年齢	10歳代～20歳代	(58)	24.1	<u>27.6</u>	15.5	8.6	<u>31.0</u>	13.8	10.3	6.9	1.7	15.5
	30歳代	(82)	30.5	<u>35.4</u>	<u>35.4</u>	4.9	13.4	15.9	4.9	2.4	1.2	9.8
	40歳代	(156)	<u>32.1</u>	<u>28.2</u>	<u>28.2</u>	15.4	10.3	16.7	5.8	5.1	2.6	7.1
	50歳代	(159)	25.8	<u>30.8</u>	26.4	23.3	24.5	7.5	11.9	6.9	0.6	8.8
	60歳代	(169)	<u>41.4</u>	<u>34.3</u>	20.1	27.2	17.2	4.7	7.7	4.7	4.1	8.9
	70歳以上	(113)	<u>36.3</u>	31.0	14.2	<u>44.2</u>	10.6	3.5	8.0	4.4	2.7	8.0
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>29.7</u>	<u>26.4</u>	22.0	12.1	16.5	13.2	13.2	6.6	2.2	13.2
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>35.9</u>	<u>37.2</u>	19.2	20.5	15.4	5.1	10.3	3.8	1.3	10.3
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>37.8</u>	31.7	19.5	22.0	18.3	7.3	6.1	8.5	2.4	7.3
	上北台・立野地域	(84)	<u>32.1</u>	<u>36.9</u>	20.2	21.4	19.0	9.5	4.8	3.6	2.4	10.7
	桜が丘	(166)	26.5	<u>33.1</u>	<u>30.1</u>	20.5	14.5	13.3	6.6	3.0	2.4	9.0
	中央・南街地域	(95)	<u>27.4</u>	21.1	<u>25.3</u>	22.1	20.0	13.7	11.6	5.3	4.2	8.4
	仲原・向原地域	(91)	<u>40.7</u>	28.6	25.3	<u>31.9</u>	15.4	6.6	6.6	8.8	1.1	6.6
清原・新堀地域	(50)	<u>42.0</u>	<u>40.0</u>	18.0	38.0	20.0	-	6.0	2.0	2.0	4.0	
同居家族	妊娠中の方	(3)	-	<u>66.7</u>	-	-	<u>33.3</u>	-	<u>33.3</u>	-	-	<u>33.3</u>
	就学前の児童	(48)	33.3	<u>35.4</u>	<u>35.4</u>	6.3	16.7	14.6	6.3	-	-	10.4
	小学生	(37)	<u>37.8</u>	<u>32.4</u>	18.9	2.7	10.8	<u>24.3</u>	5.4	-	-	10.8
	中学生	(34)	20.6	17.6	<u>35.3</u>	<u>26.5</u>	11.8	14.7	2.9	2.9	8.8	5.9
	65歳以上の方	(197)	<u>39.6</u>	<u>32.0</u>	19.8	<u>32.0</u>	15.7	5.1	8.6	7.1	3.0	7.1
	介護を必要とする方	(16)	25.0	18.8	<u>31.3</u>	<u>37.5</u>	6.3	6.3	6.3	6.3	-	18.8
	1～6に該当する方はいない	(311)	<u>30.9</u>	<u>31.2</u>	25.1	20.6	19.6	8.7	8.4	5.1	1.9	9.3
満足度	満足・どちらかといえば満足	(176)	<u>31.8</u>	<u>29.5</u>	23.9	28.4	14.8	9.7	14.2	3.4	0.6	6.3
	不満・どちらかといえば不満	(263)	<u>43.7</u>	39.9	22.4	24.0	19.0	1.5	6.5	4.9	3.8	8.4
	わからない・関心がない	(276)	23.6	<u>24.6</u>	<u>24.6</u>	15.9	15.9	18.1	5.8	6.9	2.2	10.5

問21. 「地域福祉の推進」についてうかがいます。

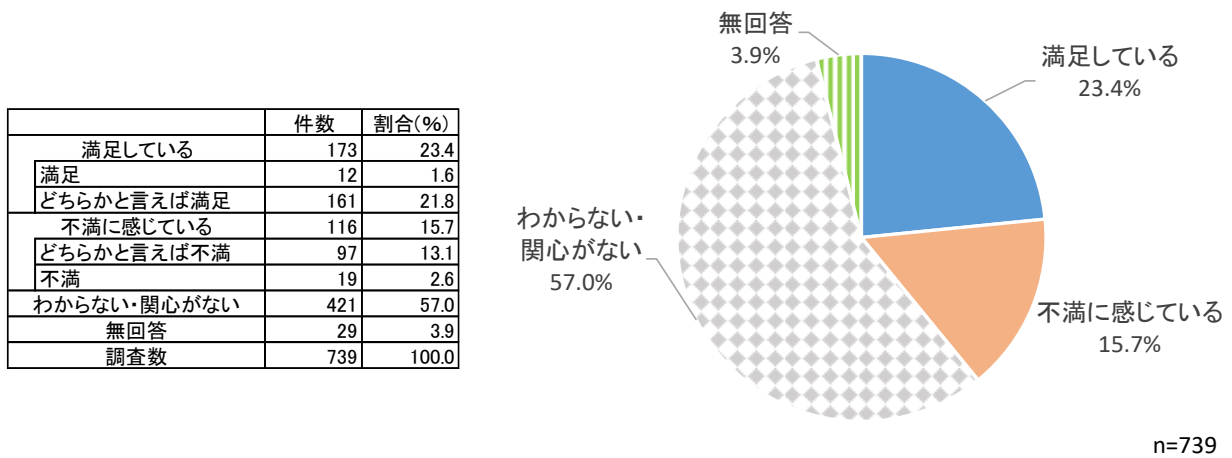
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「地域福祉の推進」に対して満足している市民の割合は 23.4%、不満に感じている市民の割合は 15.7%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 57.0%となっている。

図表 4 1 「地域福祉の推進」に対する満足度（単純集計）



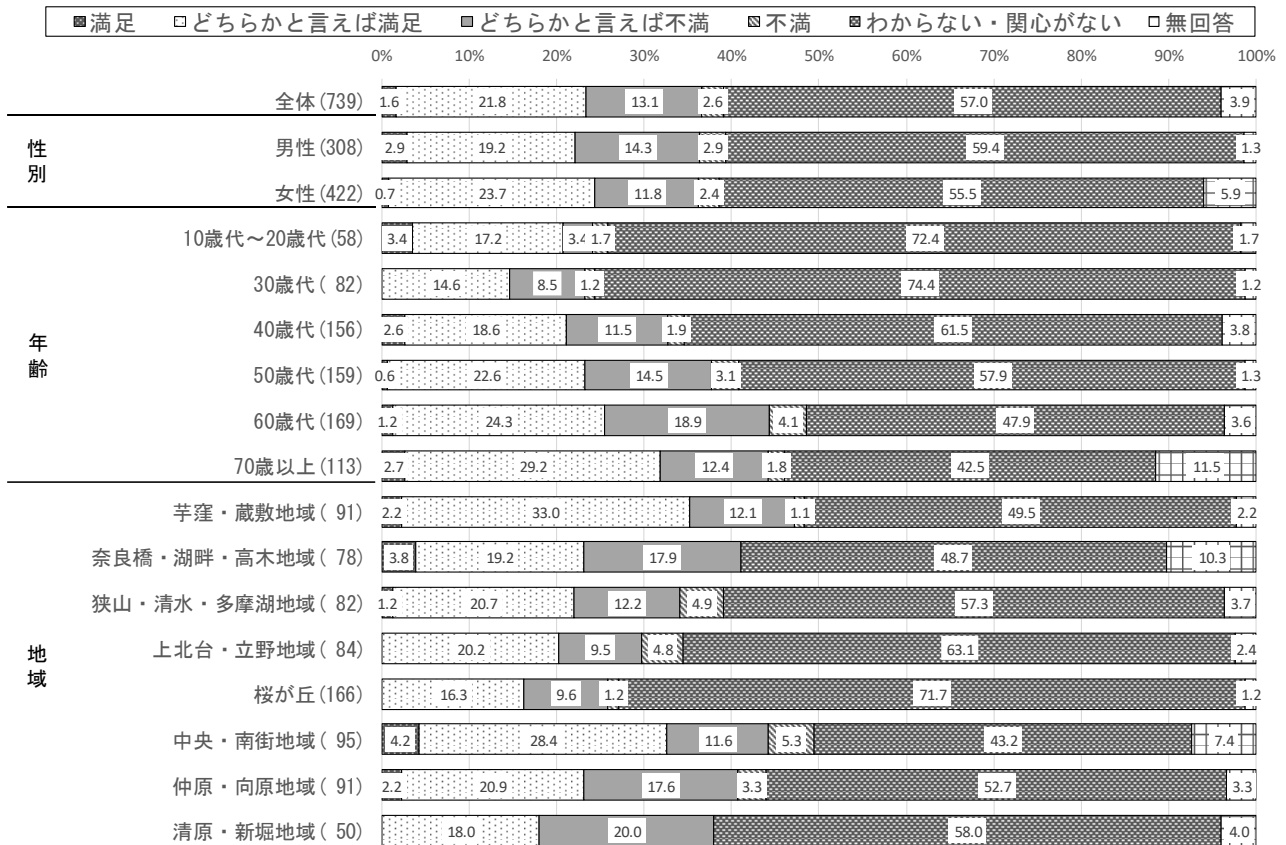
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 70 歳以上の市民で 31.9%、次いで 60 歳代 (25.5%) となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において 35.2%と最も高く、次いで「中央・南街地域」(32.6%)、「奈良橋・湖畔・高木地域」(23.0%) となっている。一方、「清原・新堀地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表 4 2 「地域福祉の推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「地域福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「ボランティアの育成と活動への支援」が26.0%で最も高く、次いで「民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備」(22.1%)、「見守り・声かけ活動の支援」(21.1%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代、30歳代の市民では「既存の公共施設（市役所本庁舎・公民館・図書館・体育館等）のバリアフリー化」が最も高くなっている（それぞれ、27.6%、26.8%）。40歳代や70歳代以上の市民では、「ボランティアの育成と活動への支援」が最も高くなっている（それぞれ、26.9%、35.4%）。50歳代は「民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備」が30.8%と最も高くなっている。60歳代は「ボランティアの育成と活動への支援」と「民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備」がともに27.2%と最も高くなっている。

### <地域別>

「奈良橋・湖畔・高木地域」や「桜が丘」、「仲原・向原地域」、「清原・新堀地域」では「ボランティアの育成と活動への支援」が最も高くなっている（それぞれ、34.6%、30.1%、25.3%、32.0%）。「芋窪・蔵敷地域」では、「見守り・声かけ活動の支援」が29.7%と最も高くなっている。「中央・南街地域」では「民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備」が24.2%と最も高くなっている。「狭山・清水・多摩湖地域」では、「ボランティアの育成と活動への支援」と「既存の公共施設（市役所本庁舎・公民館・図書館・体育館等）のバリアフリー化」がともに25.6%と最も高くなっている。「上北台・立野地域」では、「既存の公共施設（市役所本庁舎・公民館・図書館・体育館等）のバリアフリー化」と「民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備」がともに23.8%と最も高くなっている。

### <満足度別>

「地域福祉の推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「ボランティアの育成と活動への支援」(27.6%)、「民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備」(25.0%)、「既存の公共施設（市役所本庁舎・公民館・図書館・体育館等）のバリアフリー化」(21.6%)となっている。

図表 4 3 「地域福祉の推進」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	ボランティアの育成と活動への支援	民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備	見守り・声かけ活動の支援	既存の公共施設(市役所本庁舎・公民館・図書館・体育館等)のバリアフリー化	地域活動に取り組む方への支援	地域団体が活動する場や機会の確保	福祉教育の推進	特になし	社会福祉協議会の活動への支援	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<b>26.0</b>	22.1	21.1	20.6	19.4	13.4	11.1	11.1	9.6	1.1	7.0
性別	男性	(308)	<b>24.4</b>	21.1	21.4	21.1	<b>21.8</b>	15.6	9.7	11.4	8.1	1.6	7.1
	女性	(422)	<b>27.3</b>	22.7	21.1	20.1	17.5	11.8	12.1	10.9	10.9	0.7	6.6
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>25.9</b>	12.1	19.0	<b>27.6</b>	17.2	19.0	12.1	10.3	3.4	-	8.6
	30歳代	(82)	17.1	17.1	<b>20.7</b>	<b>26.8</b>	15.9	9.8	14.6	13.4	6.1	-	13.4
	40歳代	(156)	<b>26.9</b>	16.7	18.6	17.9	<b>21.8</b>	10.3	10.3	17.3	7.7	1.3	8.3
	50歳代	(159)	22.0	<b>30.8</b>	17.6	<b>27.0</b>	20.1	15.1	11.9	6.3	10.1	0.6	4.4
	60歳代	(169)	<b>27.2</b>	<b>27.2</b>	24.3	15.4	18.9	17.2	13.0	9.5	10.1	0.6	4.7
	70歳以上	(113)	<b>35.4</b>	18.6	<b>26.5</b>	15.0	19.5	9.7	5.3	9.7	16.8	3.5	6.2
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>23.1</b>	22.0	<b>29.7</b>	12.1	18.7	4.4	15.4	13.2	9.9	-	6.6
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>34.6</b>	17.9	<b>23.1</b>	21.8	19.2	15.4	9.0	12.8	5.1	1.3	3.8
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>25.6</b>	24.4	23.2	<b>25.6</b>	18.3	13.4	12.2	8.5	9.8	-	3.7
	上北台・立野地域	(84)	19.0	<b>23.8</b>	19.0	<b>23.8</b>	17.9	16.7	10.7	13.1	7.1	3.6	6.0
	桜が丘	(166)	<b>30.1</b>	<b>20.5</b>	19.9	<b>20.5</b>	17.5	11.4	9.0	10.8	10.2	1.2	10.2
	中央・南街地域	(95)	18.9	<b>24.2</b>	17.9	16.8	<b>22.1</b>	20.0	11.6	8.4	10.5	1.1	11.6
	仲原・向原地域	(91)	<b>25.3</b>	18.7	17.6	20.9	<b>23.1</b>	15.4	13.2	13.2	14.3	-	3.3
	清原・新堀地域	(50)	<b>32.0</b>	<b>30.0</b>	20.0	28.0	20.0	12.0	8.0	6.0	8.0	2.0	6.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(173)	<b>34.1</b>	22.0	<b>23.1</b>	19.7	22.0	14.5	15.6	4.0	14.5	0.6	4.6
	不満・どちらかといえば不満	(116)	<b>27.6</b>	<b>25.0</b>	19.0	21.6	21.6	14.7	20.7	0.9	17.2	2.6	3.4
	わからない・関心がない	(421)	<b>22.6</b>	<b>22.1</b>	20.4	21.6	17.3	12.1	7.4	17.6	5.2	1.0	7.4

### (3) 市の施策に関する質問

#### 第3章 暮らしと産業が調和した活力あるまちを築くために

問22. 「勤労者福祉の向上」についてうかがいます。

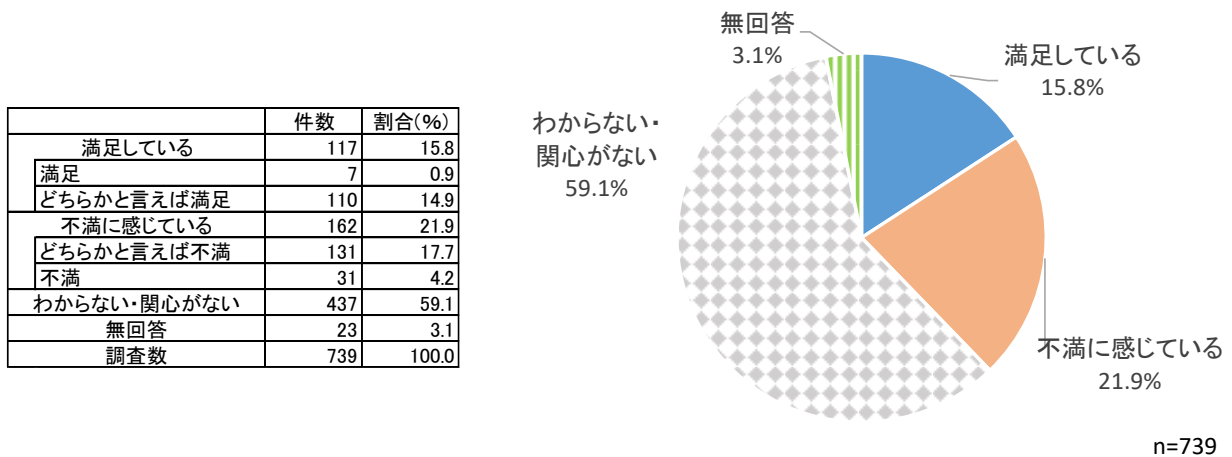
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

#### ① 満足度

##### <全体>

東大和市の「勤労者福祉の向上」に対して満足している市民の割合は15.8%、不満に感じている市民の割合は21.9%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は59.1%となっている。

図表4-4 「勤労者福祉の向上」に対する満足度（単純集計）



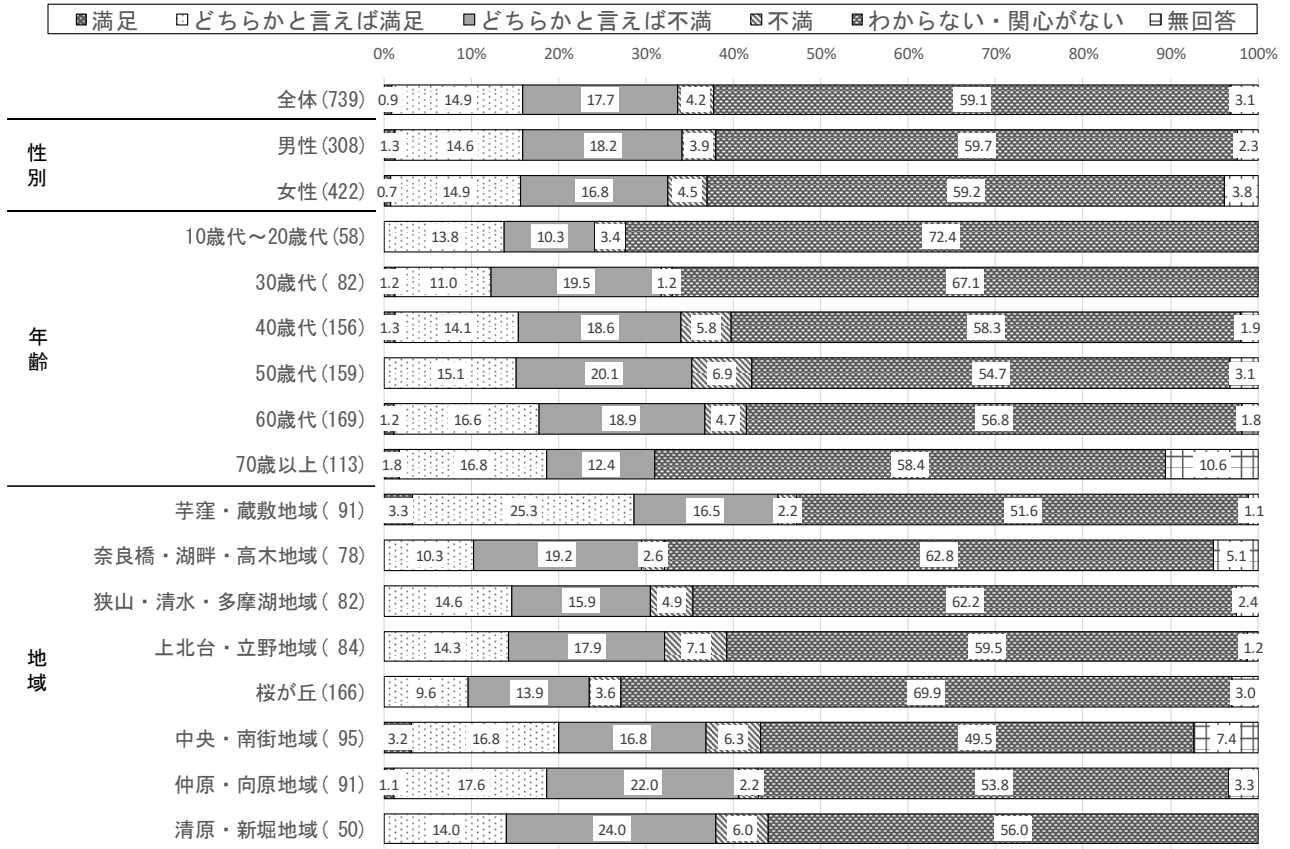
##### <年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳以上の18.6%、次いで60歳代（17.8%）となっている。一方、30歳代～60歳代の市民においては、満足している市民（それぞれ、12.2%、15.4%、15.1%、17.8%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ20.7%、24.4%、27.0%、23.6%となっている。

##### <地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において28.6%と最も高くなっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「上北台・立野地域」、「桜が丘」、「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」、「清原・新堀地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表 4 5 「勤労者福祉の向上」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「勤労者福祉の向上」について今後優先的に取り組むべき事項では、「市内での雇用の場の確保」が39.1%で最も高く、次いで「市内事業所の求人情報の提供」(29.4%)、「非正規労働者の正規労働者への転換支援」(27.3%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代の市民では「非正規労働者の正規労働者への転換支援」が34.5%と最も高くなっている。その他の年代の市民では、「市内での雇用の場の確保」が最も高くなっている。

### <地域別>

「上北台・立野地域」では「非正規労働者の正規労働者への転換支援」が最も高くなっている。「桜が丘」では「市内事業所の求人情報の提供」が最も高くなっている。その他の地域では、「市内での雇用の場の確保」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「勤労者福祉の向上」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「市内での雇用の場の確保」が51.2%で最も高く、満足している市民の43.6%を7.6ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「市内での雇用の場の確保」(51.2%)、「市内事業所の求人情報の提供」(35.2%)、「非正規労働者の正規労働者への転換支援」(31.5%)となっている。



図表 4 6 「勤労者福祉の向上」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	市内での雇 用の場の 確保	市内事業 所の求人 情報の提 供	非正規労 働者の正 規労働者 への転換 支援	市内事業 所と求職者 とのマッチ ング	労働環境 改善のため の事業者 への支援	特にな い	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>39.1</u>	29.4	27.3	27.2	20.6	13.9	1.1	4.1
性別	男性	(308)	<u>38.3</u>	29.5	28.6	26.9	23.1	14.0	1.9	3.6
	女性	(422)	<u>40.0</u>	29.4	26.3	27.7	18.2	14.2	0.2	4.3
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>31.0</u>	29.3	<u>34.5</u>	22.4	<u>31.0</u>	15.5	-	3.4
	30歳代	(82)	<u>42.7</u>	17.1	<u>29.3</u>	22.0	25.6	17.1	-	3.7
	40歳代	(156)	<u>37.8</u>	27.6	22.4	<u>30.8</u>	21.2	16.0	2.6	4.5
	50歳代	(159)	<u>40.9</u>	32.7	30.2	31.4	20.8	9.4	-	2.5
	60歳代	(169)	<u>39.1</u>	32.5	24.3	26.6	20.1	15.4	1.8	3.0
	70歳以上	(113)	<u>40.7</u>	31.0	30.1	23.9	11.5	12.4	0.9	7.1
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>42.9</u>	25.3	25.3	<u>27.5</u>	18.7	15.4	1.1	4.4
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>34.6</u>	21.8	24.4	24.4	<u>29.2</u>	12.8	3.8	5.1
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>45.1</u>	29.3	25.6	<u>30.5</u>	19.5	12.2	-	3.7
	上北台・立野地域	(84)	<u>31.0</u>	29.8	<u>33.3</u>	26.2	25.0	14.3	2.4	2.4
	桜が丘	(166)	30.7	<u>33.7</u>	24.7	28.9	19.3	15.7	-	6.0
	中央・南街地域	(95)	<u>45.3</u>	27.4	25.3	<u>30.5</u>	16.8	15.8	2.1	3.2
	仲原・向原地域	(91)	<u>46.2</u>	<u>33.0</u>	30.8	19.8	16.5	15.4	-	1.1
	清原・新堀地域	(50)	<u>48.0</u>	30.0	<u>36.0</u>	30.0	26.0	4.0	-	4.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(117)	<u>43.6</u>	27.4	25.6	<u>27.4</u>	24.8	9.4	1.7	3.4
	不満・どちらかといえば不満	(162)	<u>51.2</u>	<u>35.2</u>	31.5	30.2	26.5	2.5	-	0.6
	わからない・関心がない	(437)	<u>33.2</u>	27.5	26.1	27.2	18.1	20.1	1.1	4.1

問23. 「消費生活の充実」についてうかがいます。

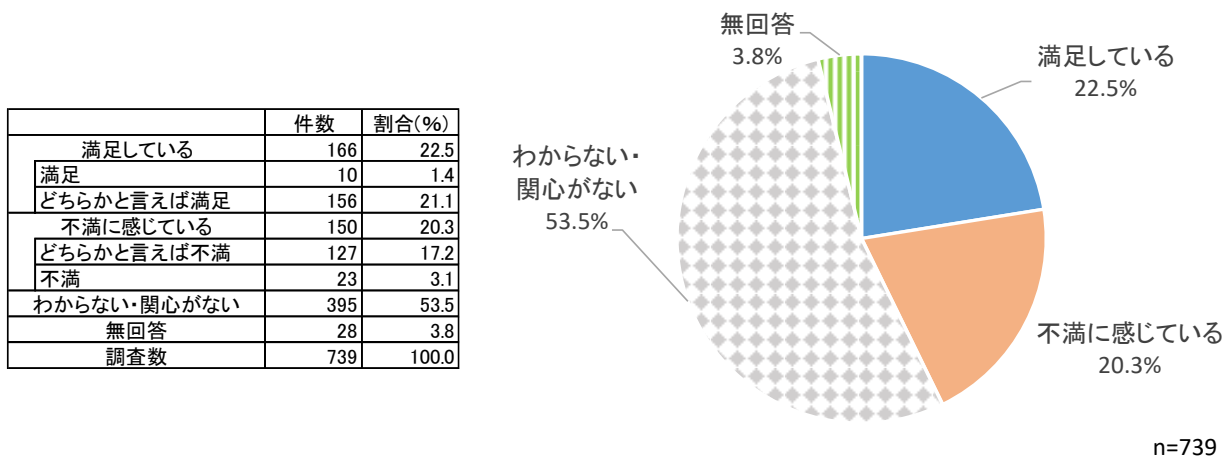
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「消費生活の充実」に対して満足している市民の割合は 22.5%、不満に感じている市民の割合は 20.3%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 53.5%となっている。

図表 4 7 「消費生活の充実」に対する満足度（単純集計）



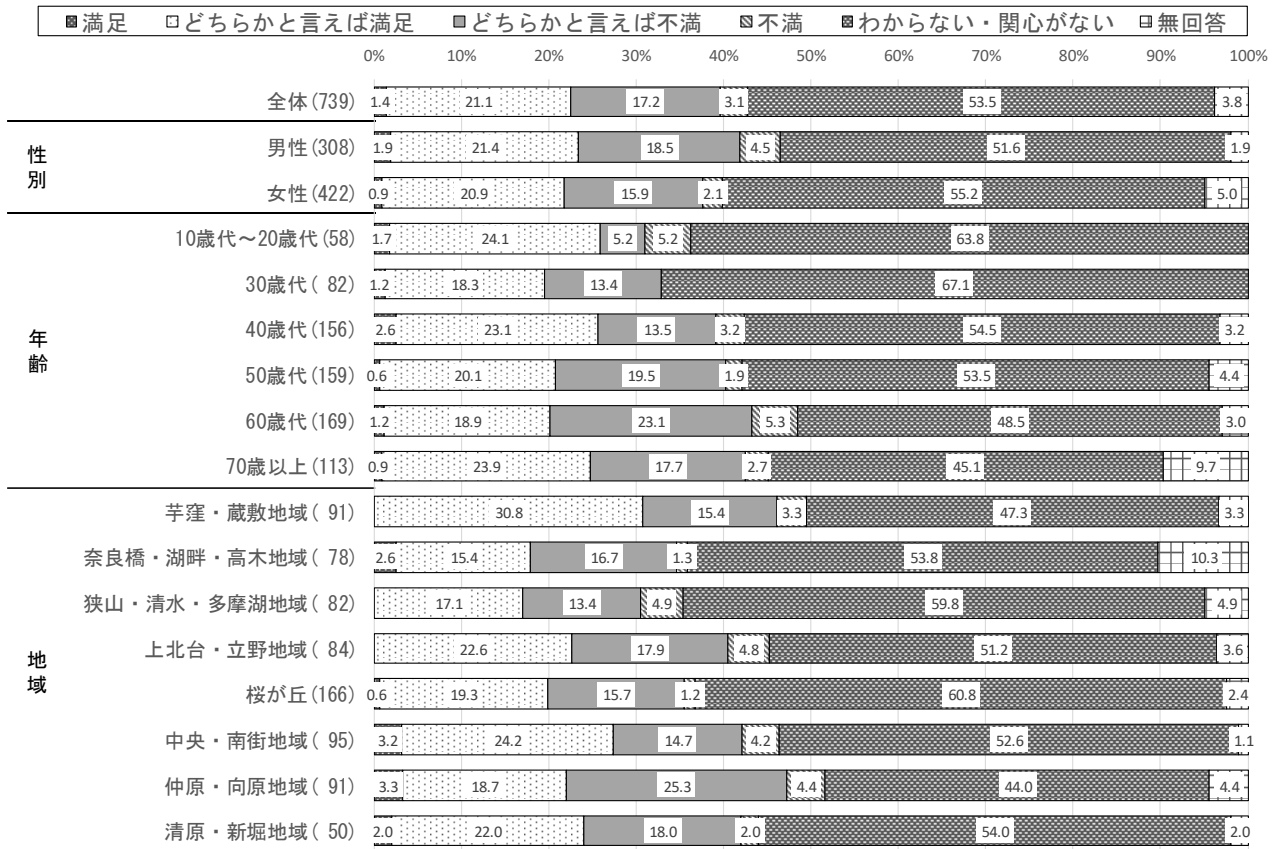
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 10 歳代～20 歳代の 25.8%、次いで 40 歳代 (25.7%) となっている。一方、50 歳代、60 歳代の市民においては、満足している市民 (それぞれ、20.7%、20.1%) より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ 21.4%、28.4%となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において 30.8%と最も高く、次いで「中央・南街地域」(27.4%)、「清原・新堀地域」(24.0%) となっている。一方、「狭山・清水・多摩湖地域」や「仲原・向原地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表 4 8 「消費生活の充実」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「消費生活の充実」について今後優先的に取り組むべき事項では、「安全な商品を選ぶための情報提供」が38.8%で最も高く、次いで「消費者が安心して相談できる体制の整備」(33.8%)、「消費者被害の防止のための啓発活動」(30.0%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代や50歳代の市民では「消費者が安心して相談できる体制の整備」がそれぞれ32.8%、40.3%と最も高くなっている。その他の年代の市民では、「安全な商品を選ぶための情報提供」が最も高くなっている

### <地域別>

「仲原・向原地域」では「消費者が安心して相談できる体制の整備」が41.8%と最も高くなっている。「狭山・清水・多摩湖地域」では、「消費者被害の防止のための啓発活動」と「消費者が安心して相談できる体制の整備」、「安全な商品を選ぶための情報提供」がともに30.5%と最も高くなっている。その他の地域では、「安全な商品を選ぶための情報提供」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「消費生活の充実」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「安全な商品を選ぶための情報提供」が51.3%で最も高く、満足している市民の40.4%を10.9ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「安全な商品を選ぶための情報提供」(51.3%)、「消費者が安心して相談できる体制の整備」(44.0%)、「消費者被害の防止のための啓発活動」(35.3%)となっている。

図表 4 9 「消費生活の充実」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	安全な商品 を選ぶための 情報提供	消費者が 安心して相 談できる体 制の整備	消費者被 害の防止 のための啓 発活動	環境に配慮 した消費生 活の啓発 活動	特にな い	市民のライ フステージ に応じた消 費者教育	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<b>38.8</b>	33.8	30.0	19.6	16.1	9.9	1.2	5.0
性別	男性	(308)	<b>38.6</b>	37.3	29.9	21.1	14.6	10.1	2.3	4.5
	女性	(422)	<b>39.1</b>	31.5	30.6	18.5	17.3	9.7	0.5	5.0
年齢	10歳代～20歳代	(58)	29.3	<b>32.8</b>	25.9	19.0	24.1	15.5	1.7	3.4
	30歳代	(82)	<b>41.5</b>	25.6	<b>30.5</b>	19.5	15.9	12.2	2.4	4.9
	40歳代	(156)	<b>35.9</b>	30.8	25.6	17.3	19.9	12.2	1.3	7.1
	50歳代	(159)	38.4	<b>40.3</b>	36.5	21.4	12.6	6.3	-	3.1
	60歳代	(169)	<b>37.9</b>	<b>34.9</b>	27.2	24.3	13.6	13.0	0.6	5.9
	70歳以上	(113)	<b>47.8</b>	<b>34.5</b>	33.6	14.2	15.0	2.7	2.7	4.4
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>39.6</b>	37.4	24.2	15.4	22.0	6.6	2.2	2.2
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>46.2</b>	30.8	23.1	21.8	16.7	10.3	1.3	3.8
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	30.5	<b>30.5</b>	<b>30.5</b>	23.2	18.3	14.6	2.4	6.1
	上北台・立野地域	(84)	<b>48.8</b>	<b>36.9</b>	32.1	20.2	9.5	7.1	1.2	3.6
	桜が丘	(166)	<b>34.3</b>	31.3	30.1	19.3	17.5	8.4	-	7.2
	中央・南街地域	(95)	<b>35.8</b>	31.6	<b>33.7</b>	20.0	15.8	10.5	1.1	6.3
	仲原・向原地域	(91)	37.4	<b>41.8</b>	33.0	18.7	14.3	12.1	-	4.4
	清原・新堀地域	(50)	<b>46.0</b>	32.0	<b>36.0</b>	20.0	10.0	12.0	4.0	4.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(166)	<b>40.4</b>	36.7	32.5	24.7	10.2	10.8	1.2	0.6
	不満・どちらかといえば不満	(150)	<b>51.3</b>	<b>44.0</b>	35.3	23.3	2.7	12.7	2.7	2.7
	わからない・関心がない	(395)	<b>34.2</b>	29.6	27.1	15.9	24.3	8.6	0.8	5.8

問24. 「都市農業の振興」についていかがいます。

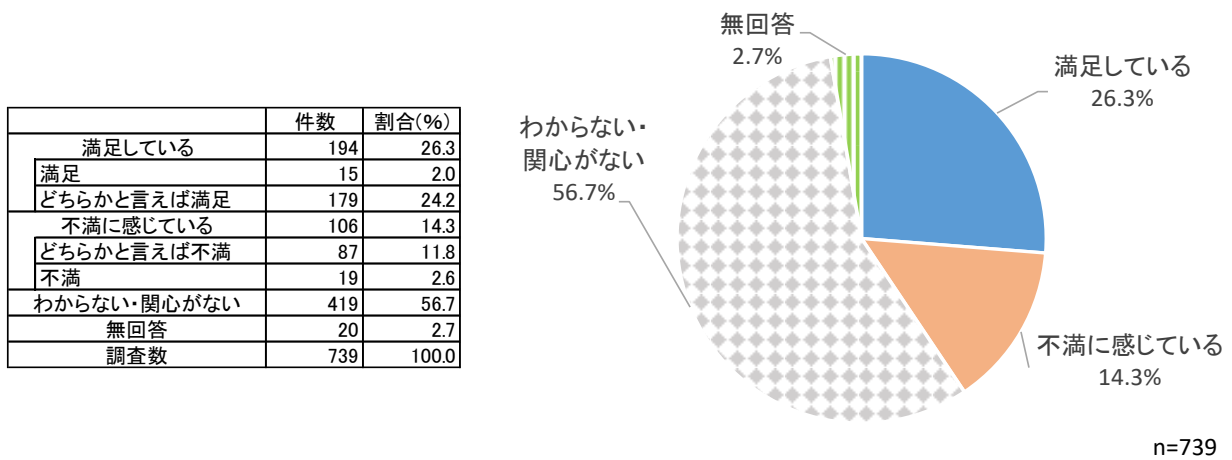
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「都市農業の振興」に対して満足している市民の割合は26.3%、不満に感じている市民の割合は14.3%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は56.7%となっている。

図表50 「都市農業の振興」に対する満足度（単純集計）



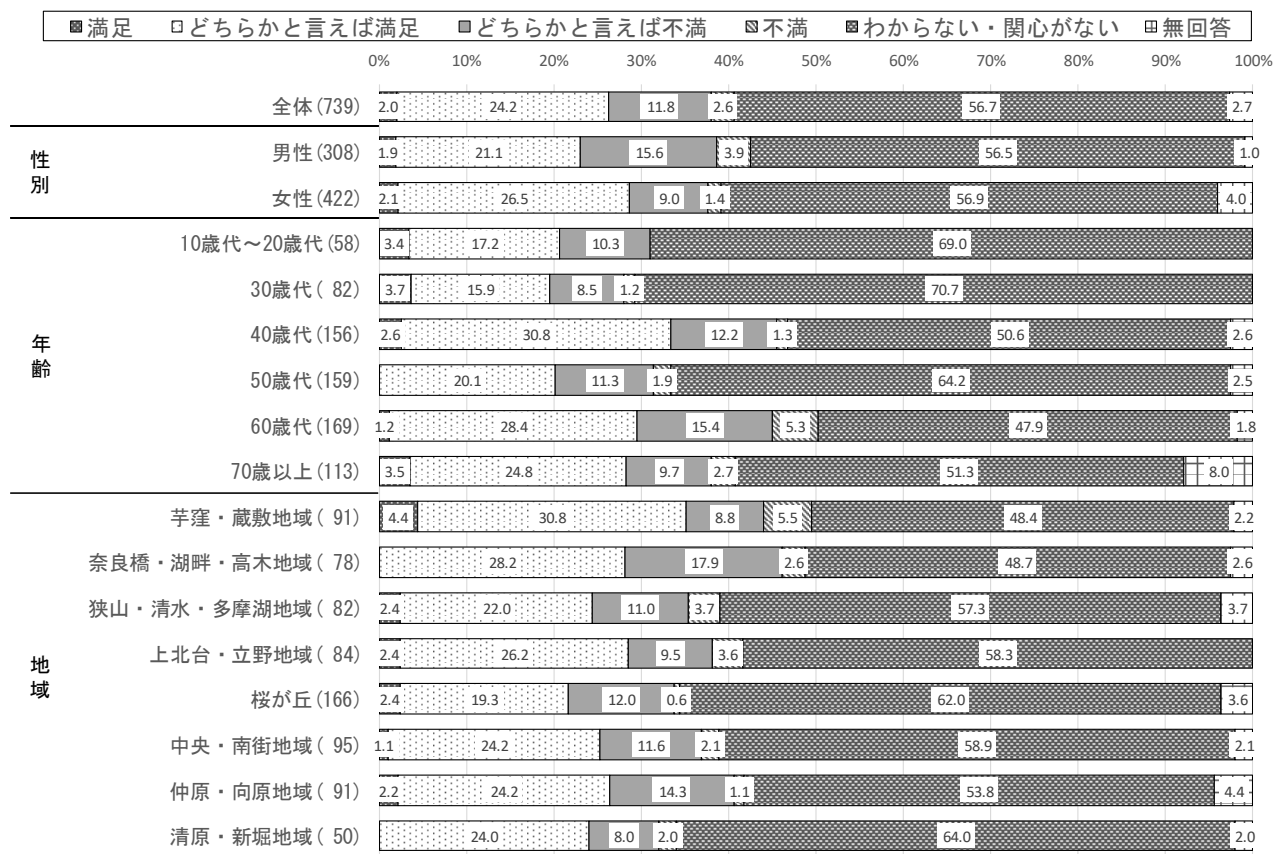
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは40歳代の33.4%、次いで60歳代（29.6%）となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において35.2%と最も高く、次いで「上北台・立野地域」（28.6%）、「奈良橋・湖畔・高木地域」（28.2%）となっている。

図表 5 1 「都市農業の振興」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「都市農業の振興」について今後優先的に取り組むべき事項では、「農業の担い手・後継者、組織・団体の育成」が32.5%で最も高く、次いで「地産地消の推進」(25.3%)、「地場農産物の販路の拡大」(24.4%)となっている。

### <年齢別>

60歳代の市民を除いたすべての年代の市民では、「農業の担い手・後継者、組織・団体の育成」が最も高くなっている。60歳代の市民では、「地場農産物の販路の拡大」が最も高くなっている。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」では「農業の担い手・後継者、組織・団体の育成」が最も高くなっている。「奈良橋・湖畔・高木地域」では、「東大和らしい個性豊かな農業の推進」が最も高くなっている。「桜が丘」では「地産地消の推進」が最も高くなっている。「清原・新堀地域」では「市民が農業と触れ合える場づくり」が最も高くなっている。また、「狭山・清水・多摩湖地域」では、「農業の担い手・後継者、組織・団体の育成」と「地産地消の推進」が最も高く、「上北台・立野地域」では、「農業の担い手・後継者、組織・団体の育成」と「地場農産物の販路の拡大」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「都市農業の振興」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「農業の担い手・後継者、組織・団体の育成」(34.0%)、「地場農産物の販路の拡大」(31.1%)、「市民が農業と触れ合える場づくり」(30.2%)となっている。

図表5-2 「都市農業の振興」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	農業の担い手・後継者、組織・団体の育成	地産地消の推進	地場農産物の販路の拡大	農地の保全・維持	東大和らしい個性豊かな農業の推進	市民が農業とふれあえる場づくり	地場農産物の収穫体験などのイベントの開催	地産の野菜などを使用した加工食品の開発と販路の拡大	高い経営意欲を持つ農業者への農地の利用集積
単純集計	全体	(739)	<b>32.5</b>	25.3	24.4	23.4	23.0	21.4	18.4	18.0	14.6
性別	男性	(308)	<b>31.8</b>	23.7	22.7	22.7	22.1	19.5	16.2	15.9	20.8
	女性	(422)	<b>32.7</b>	26.3	26.1	23.7	23.7	22.7	19.4	19.7	9.7
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>44.8</b>	17.2	17.2	25.9	20.7	22.4	15.5	19.0	19.0
	30歳代	(82)	<b>26.8</b>	19.5	20.7	23.2	17.1	24.4	22.0	17.1	23.2
	40歳代	(156)	<b>38.5</b>	24.4	20.5	21.8	19.9	21.8	24.4	20.5	12.8
	50歳代	(159)	<b>30.8</b>	29.6	27.0	19.5	23.9	23.3	17.0	13.8	15.1
	60歳代	(169)	29.6	27.8	<b>31.4</b>	26.0	26.6	17.8	18.3	19.5	11.8
	70歳以上	(113)	<b>27.4</b>	25.7	22.1	25.7	26.5	21.2	10.6	18.6	12.4
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>31.9</b>	15.4	24.2	24.2	24.2	17.6	22.0	13.2	15.4
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	25.6	17.9	20.5	28.2	<b>32.1</b>	25.6	20.5	16.7	11.5
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>36.6</b>	<b>36.6</b>	19.5	29.3	20.7	22.0	7.3	20.7	14.6
	上北台・立野地域	(84)	<b>33.3</b>	27.4	<b>33.3</b>	19.0	21.4	13.1	14.3	19.0	10.7
	桜が丘	(166)	28.3	<b>31.9</b>	25.9	19.9	18.7	23.5	25.9	18.1	16.3
	中央・南街地域	(95)	<b>36.8</b>	24.2	24.2	18.9	25.3	23.2	16.8	14.7	15.8
	仲原・向原地域	(91)	<b>39.6</b>	22.0	28.6	28.6	24.2	19.8	11.0	23.1	15.4
	清原・新堀地域	(50)	26.0	20.0	12.0	22.0	22.0	<b>28.0</b>	24.0	20.0	16.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(194)	<b>34.5</b>	32.5	29.9	27.8	32.0	26.8	26.3	22.7	13.4
	不満・どちらかといえば不満	(106)	<b>34.0</b>	27.4	31.1	29.2	27.4	30.2	17.9	26.4	17.9
	わからない・関心がない	(419)	<b>30.8</b>	22.4	20.0	19.6	18.6	16.7	15.5	13.6	14.6



特にない	農業経営の改善や規模拡大への支援	その他	無回答
12.0	8.4	1.8	3.4
12.3	12.7	2.3	3.2
12.1	5.5	1.4	3.6
8.6	13.8	-	1.7
14.6	11.0	-	4.9
14.1	8.3	2.6	5.1
12.6	10.1	1.3	1.3
12.4	5.9	1.8	1.8
8.0	5.3	3.5	6.2
12.1	7.7	-	3.3
9.0	7.7	2.6	2.6
12.2	8.5	4.9	-
16.7	8.3	2.4	4.8
10.2	5.4	1.8	6.0
13.7	14.7	1.1	1.1
9.9	7.7	1.1	2.2
16.0	10.0	-	6.0
1.5	7.2	1.5	-
0.9	12.3	5.7	-
20.3	8.1	1.0	4.3

問25. 「工業の振興」についてうかがいます。

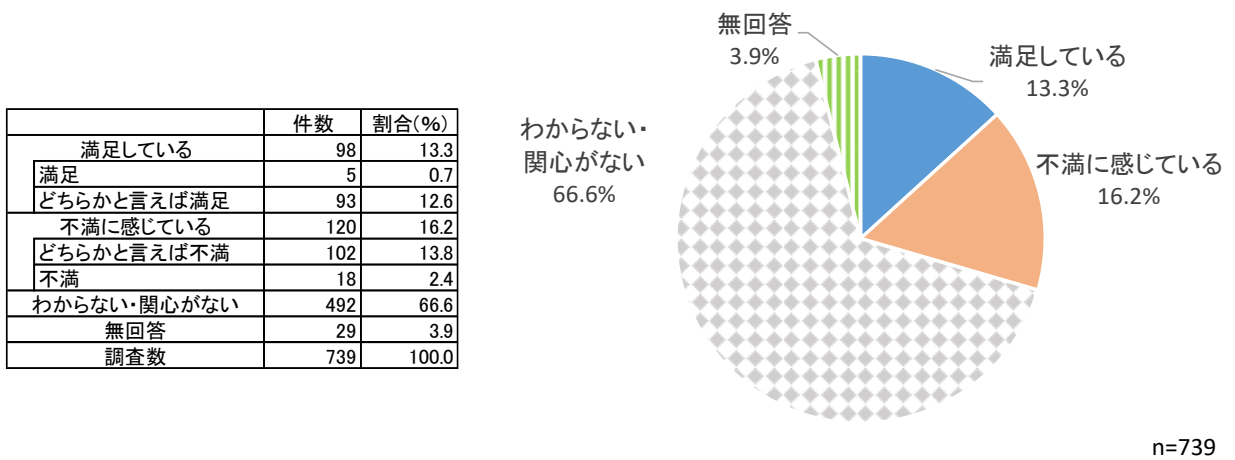
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「工業の振興」に対して満足している市民の割合は13.3%、不満に感じている市民の割合は16.2%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は66.6%となっている。

図表53 「工業の振興」に対する満足度（単純集計）



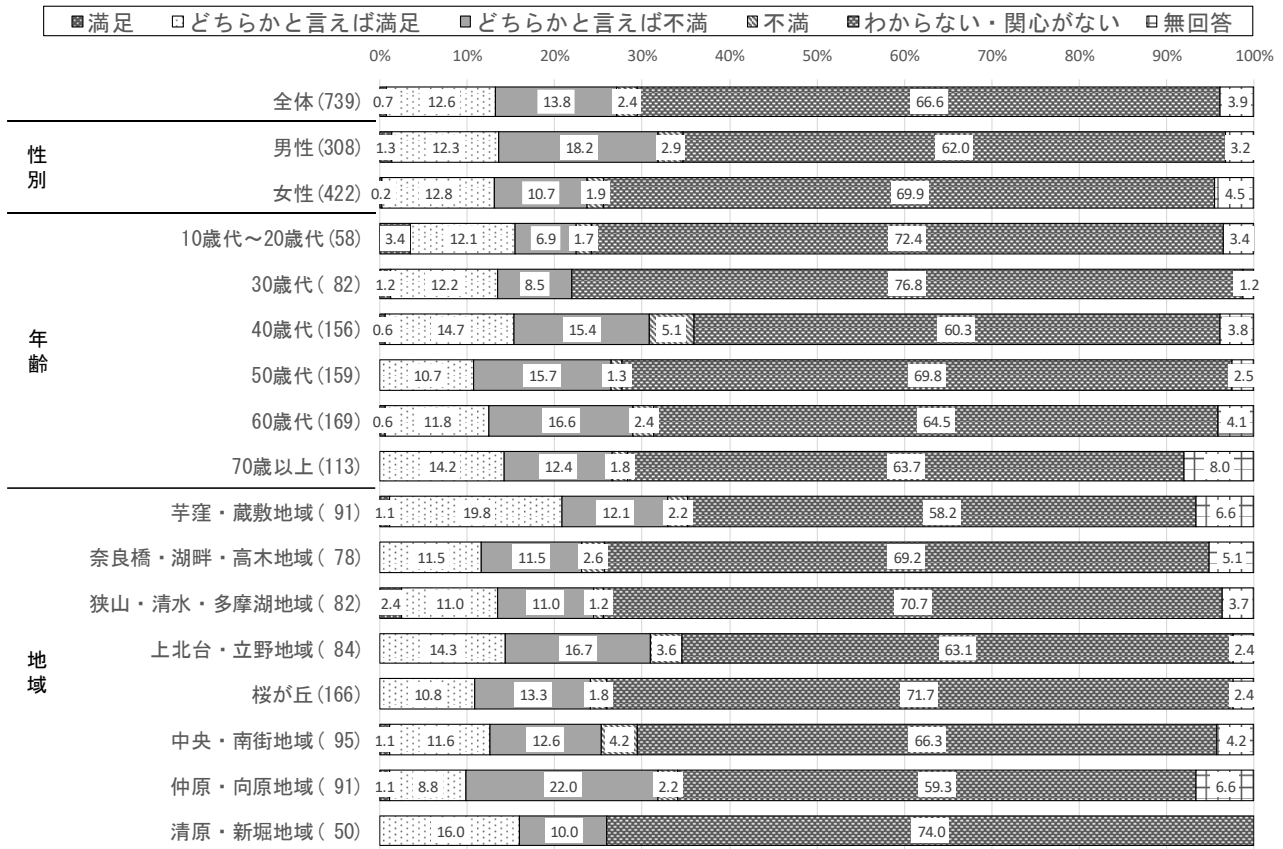
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは10歳代～20歳代の15.5%となっている。一方、40歳代や50歳代、60歳代の市民においては、満足している市民（それぞれ、15.3%、10.7%、12.4%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ20.5%、17.0%、19.0%となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において20.9%と最も高く、次いで「清原・新堀地域」（16.0%）となっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」や「上北台・立野地域」、「桜が丘」、「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表54 「工業の振興」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「工業の振興」について今後優先的に取り組むべき事項では、「工場見学や製造体験などのイベントの開催」が30.2%で最も高く、次いで「地元産の生産加工品の開発と販路の拡大」(28.1%)、「住環境と工場の操業環境との調和」(20.3%)となっている。

### <年齢別>

50歳代と70歳以上の市民では「地元産の生産加工品の開発と販路の拡大」が最も高くなっている。その他の年代の市民では、「工場見学や製造体験などのイベントの開催」が最も高くなっている。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「桜が丘」では「工場見学や製造体験などのイベントの開催」が最も高くなっている。「上北台・立野地域」では、「住環境と向上の操業環境との調和」が最も高くなっている。その他の地域では「地元産の生産加工品の開発と販路の拡大」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「工業の振興」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「地元産の生産加工品の開発と販路の拡大」が44.2%で最も高く、満足している市民の38.8%を5.4ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「地元産の生産加工品の開発と販路の拡大」(44.2%)、「工場見学や製造体験などのイベントの開催」(43.3%)、「市外からの工場の誘致」(30.0%)となっている。

図表55 「工業の振興」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	工場見学 や製造体 験などのイ ベントの開 催	地元産の 生産加工 品の開発と 販路の拡大	住環境と工 場の操業 環境との調 和	特になし	市外からの 工場の誘 致	商工会の 活動に対す る支援	商工会な どと連携 した経営 指導	事業資金 の融資 あっせん 制度の実 施	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>30.2</u>	28.1	20.3	20.3	17.5	10.3	8.3	8.3	0.9	6.5
性別	男性	(308)	<u>29.5</u>	25.0	19.5	16.9	22.1	11.4	7.8	13.0	1.3	7.1
	女性	(422)	<u>30.6</u>	<u>30.8</u>	20.9	22.7	14.0	9.5	8.5	5.0	0.7	5.9
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>36.2</u>	<u>29.3</u>	17.2	24.1	6.9	6.9	8.6	12.1	-	8.6
	30歳代	(82)	<u>40.2</u>	<u>22.0</u>	14.6	<u>22.0</u>	15.9	13.4	11.0	4.9	1.2	6.1
	40歳代	(156)	<u>34.0</u>	<u>23.1</u>	19.2	21.8	<u>23.1</u>	5.8	7.7	6.4	-	7.7
	50歳代	(159)	<u>24.5</u>	<u>34.6</u>	21.4	18.9	17.0	11.3	8.2	13.2	0.6	5.7
	60歳代	(169)	<u>30.2</u>	<u>26.6</u>	24.9	19.5	17.2	11.2	8.3	8.9	1.2	5.3
	70歳以上	(113)	<u>23.0</u>	<u>32.7</u>	19.5	17.7	17.7	13.3	6.2	3.5	2.7	7.1
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>29.7</u>	22.0	<u>24.2</u>	22.0	15.4	11.0	5.5	11.0	1.1	6.6
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>25.6</u>	<u>33.3</u>	14.1	21.8	15.4	10.3	7.7	6.4	1.3	7.7
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>28.0</u>	23.2	14.6	<u>28.0</u>	17.1	13.4	11.0	7.3	1.2	1.2
	上北台・立野地域	(84)	<u>27.4</u>	21.4	<u>31.0</u>	15.5	21.4	14.3	4.8	3.6	1.2	9.5
	桜が丘	(166)	<u>34.9</u>	<u>25.9</u>	21.7	22.3	15.7	6.6	7.8	7.2	0.6	7.8
	中央・南街地域	(95)	<u>24.2</u>	<u>29.5</u>	15.8	20.0	21.1	11.6	13.7	11.6	1.1	5.3
	仲原・向原地域	(91)	<u>33.0</u>	<u>37.4</u>	20.9	12.1	18.7	12.1	7.7	9.9	-	6.6
	清原・新堀地域	(50)	<u>38.0</u>	<u>40.0</u>	18.0	18.0	16.0	4.0	6.0	10.0	2.0	6.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(98)	<u>42.9</u>	<u>38.8</u>	23.5	4.1	19.4	17.3	13.3	9.2	1.0	-
	不満・どちらかといえば不満	(120)	<u>43.3</u>	<u>44.2</u>	23.3	2.5	30.0	10.0	11.7	9.2	0.8	2.5
	わからない・関心がない	(492)	<u>24.6</u>	22.6	18.9	<u>28.7</u>	13.8	9.6	6.7	7.9	1.0	7.1

問26. 「商業の振興」についていかがいます。

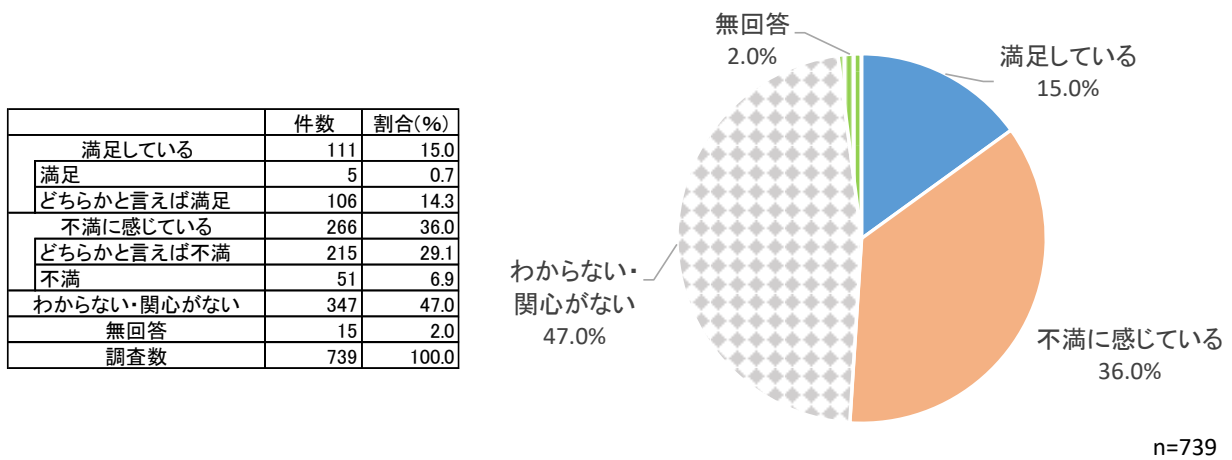
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「商業の振興」に対して満足している市民の割合は 15.0%、不満に感じている市民の割合は 36.0%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 47.0%となっている。

図表 5 6 「商業の振興」に対する満足度（単純集計）



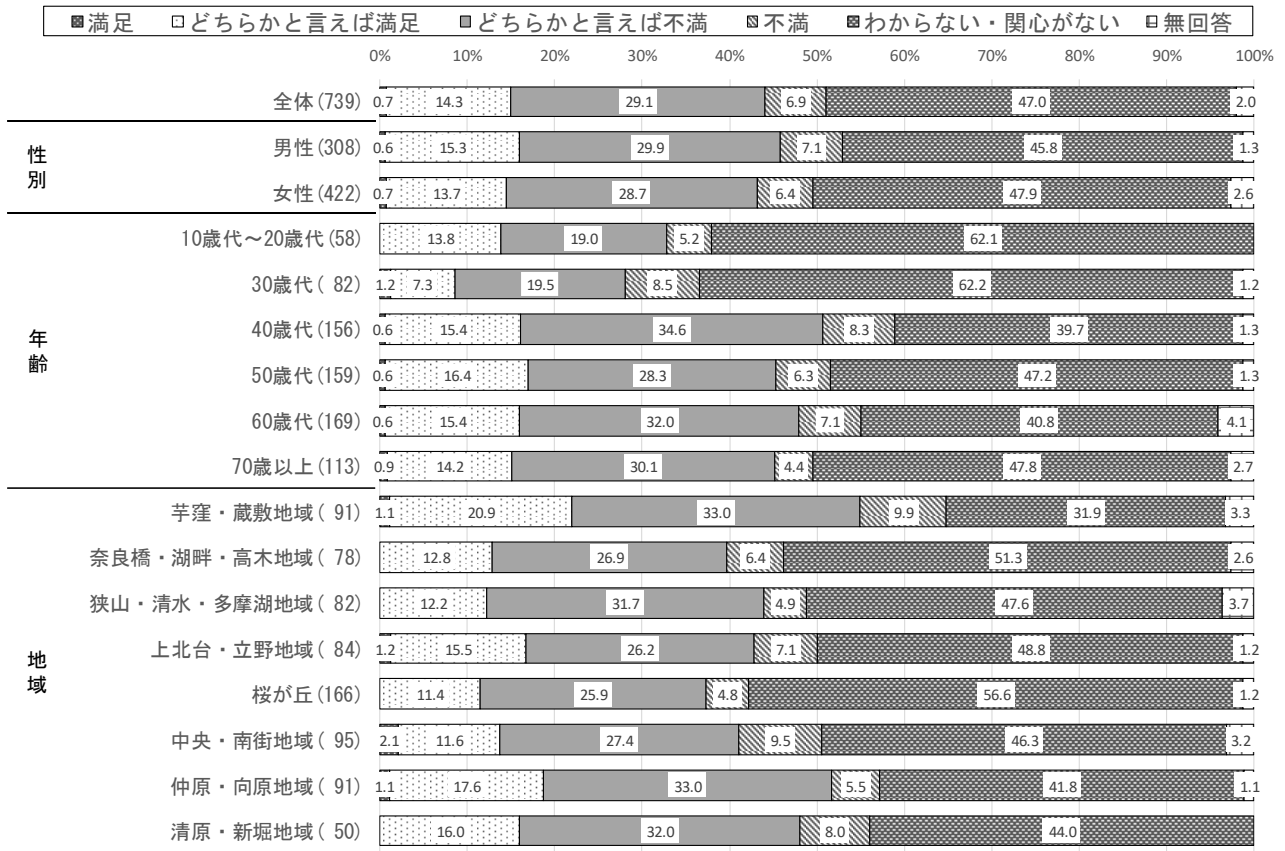
<年齢別>

全ての年代の市民において、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは、40 歳代の 42.9%、次いで 60 歳代 (39.1%)、50 歳代 (34.6%) となっている。

<地域別>

全ての地域において、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは、「芋窪・蔵敷地域」の 42.9%、次いで「清原・新堀地域」(40.0%)、「仲原・向原地域」(38.5%) となっている。

図表57 「商業の振興」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「商業の振興」について今後優先的に取り組むべき事項では、「にぎわいのある商店街の環境整備」が50.3%で最も高く、次いで「観光イベントなどを活用した、商店街のにぎわいの創出」(29.5%)、「地産商品のブランド化」(18.9%)となっている。

なお、全ての属性において、今後優先的に取り組むべき事項は「にぎわいのある商店街の環境整備」が最も高くなっている。

### <地域別>

今後優先的に取り組むべき事項で「にぎわいのある商店街の環境整備」の割合が最も高い地域は、「中央・南街地域」で58.9%、次いで「清原・新堀地域」(58.0%)、「芋窪・蔵敷地域」(53.8%)となっている。

### <満足度別>

「商業の振興」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「にぎわいのある商店街の環境整備」が71.1%で最も高く、満足している市民の52.3%を18.8ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「にぎわいのある商店街の環境整備」(71.1%)、「観光イベントなどを活用した、商店街のにぎわいの創出」(35.3%)、「地産商品のブランド化」と「地産商品の販路拡大」(ともに18.8%)となっている。



図表 5 8 「商業の振興」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	にぎわいの ある商店街 の環境整備	観光イベントなどを活用した、商店街のにぎわいの創出	地産商品の ブランド化	地産商品の 販路拡大	特になし	商業者への支援	商工会の活動に対する支援	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>50.3</u>	29.5	18.9	18.3	13.5	13.4	8.5	2.6	4.7
性別	男性	(308)	<u>49.0</u>	27.3	19.5	16.2	14.6	15.9	9.7	3.9	3.6
	女性	(422)	<u>50.9</u>	31.3	18.2	19.9	13.0	11.8	7.6	1.4	5.5
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>46.6</u>	20.7	<u>25.9</u>	12.1	19.0	20.7	8.6	1.7	5.2
	30歳代	(82)	<u>47.6</u>	24.4	<u>24.4</u>	13.4	15.9	19.5	12.2	3.7	2.4
	40歳代	(156)	<u>46.2</u>	26.3	17.3	16.0	16.0	15.4	9.6	1.3	9.0
	50歳代	(159)	<u>58.5</u>	32.1	18.2	25.2	10.7	10.7	3.8	3.1	1.9
	60歳代	(169)	<u>51.5</u>	32.0	17.8	18.9	13.0	9.5	8.3	2.4	4.7
	70歳以上	(113)	<u>46.0</u>	35.4	15.9	17.7	10.6	12.4	10.6	3.5	4.4
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>53.8</u>	20.9	19.8	15.4	13.2	12.1	15.4	2.2	6.6
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>44.9</u>	32.1	<u>32.1</u>	25.6	11.5	11.5	2.6	1.3	3.8
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>48.8</u>	29.3	19.5	14.6	15.9	18.3	4.9	2.4	3.7
	上北台・立野地域	(84)	<u>50.0</u>	21.4	17.9	19.0	14.3	13.1	11.9	3.6	3.6
	桜が丘	(166)	<u>43.4</u>	30.1	17.5	21.7	13.3	11.4	7.8	3.6	5.4
	中央・南街地域	(95)	<u>58.9</u>	29.5	12.6	16.8	14.7	13.7	9.5	2.1	5.3
	仲原・向原地域	(91)	<u>51.6</u>	37.4	17.6	14.3	12.1	15.4	11.0	1.1	4.4
	清原・新堀地域	(50)	<u>58.0</u>	40.0	16.0	16.0	14.0	14.0	-	4.0	4.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(111)	<u>52.3</u>	36.0	28.8	19.8	5.4	13.5	12.6	2.7	0.9
	不満・どちらかといえば不満	(266)	<u>71.1</u>	35.3	18.8	18.8	1.1	15.0	10.2	3.4	3.4
	わからない・関心がない	(347)	<u>34.9</u>	23.3	15.9	17.6	<u>26.2</u>	12.7	6.1	2.0	5.2

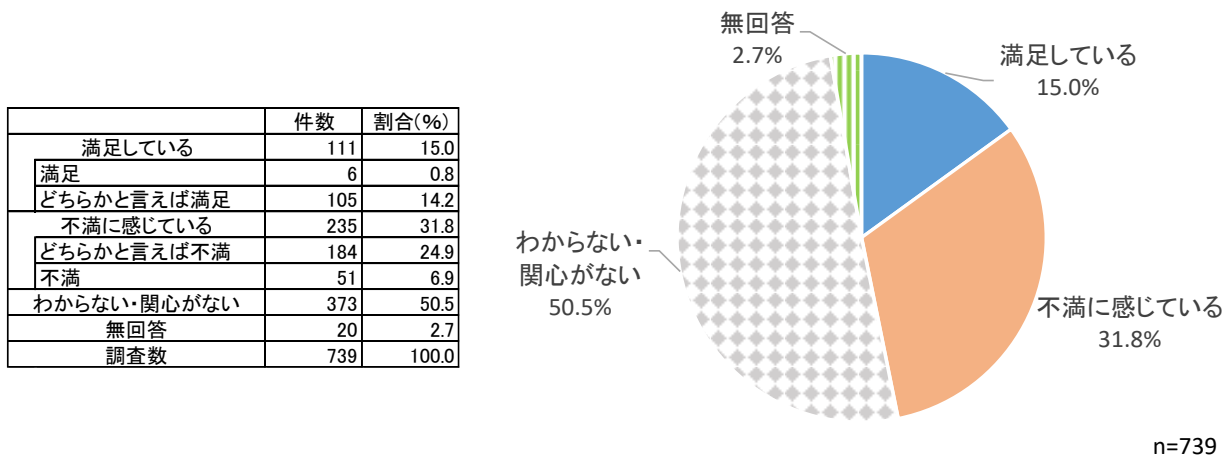
問27. 「観光事業の振興」についてうかがいます。

- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

東大和市の「観光事業の推進」に対して満足している市民の割合は15.0%、不満に感じている市民の割合は31.8%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は50.5%となっている。

図表59 「観光事業の推進」に対する満足度（単純集計）



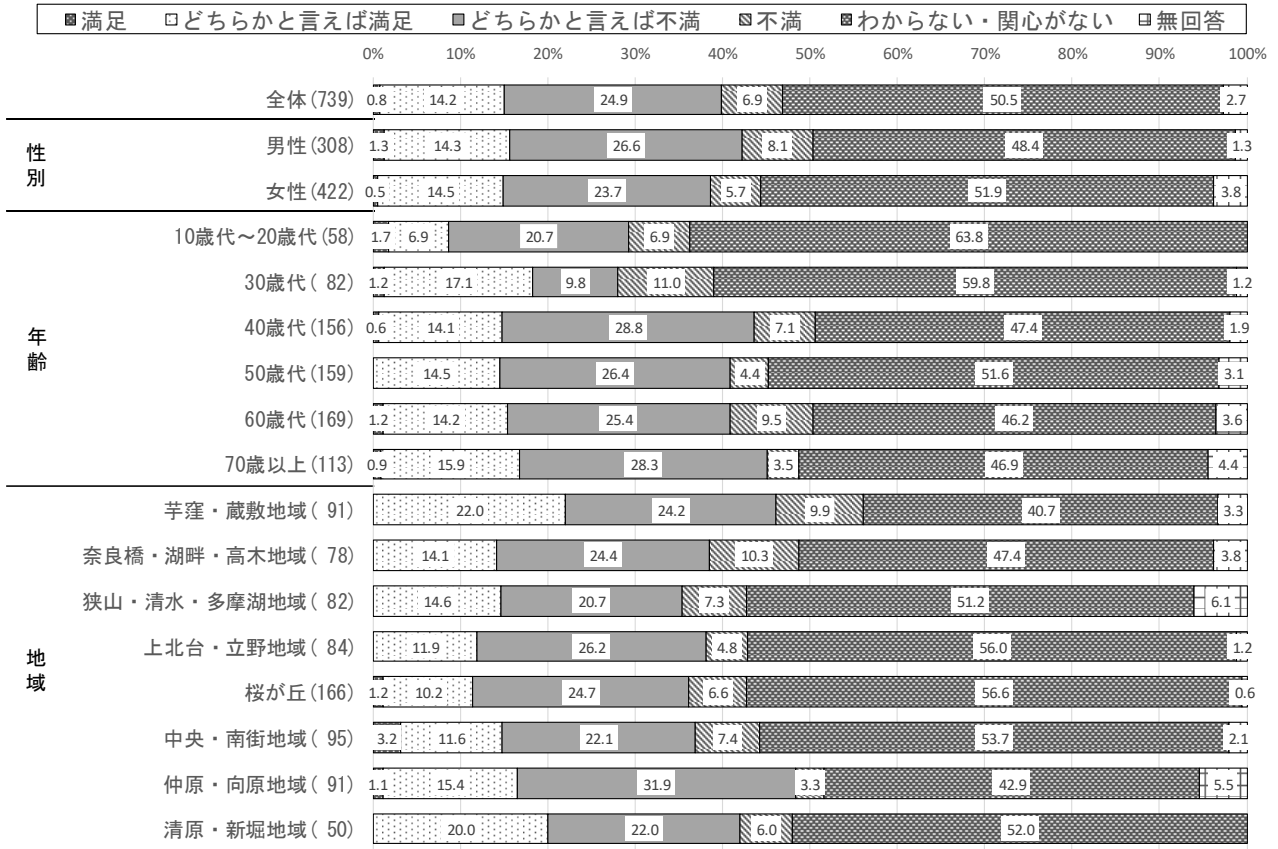
<年齢別>

全ての年代の市民において、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは、40歳代の35.9%、次いで60歳代（34.9%）、70歳以上（31.8%）となっている。

<地域別>

全ての地域において、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは、「仲原・向原地域」の35.2%、次いで「奈良橋・湖畔・高木地域」（34.7%）、「芋窪・蔵敷地域」（34.1%）となっている。

図表60 「観光事業の推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「観光事業の推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「市内観光に関する情報発信」が34.6%で最も高く、次いで「地域行事や祭りを活かした観光イベントの開催」(31.9%)、「新たな観光資源の発掘・創出」(22.6%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代や30歳代、40歳代の市民では「地域行事や祭りを活かした観光イベントの開催」がそれぞれ、39.7%、43.9%、33.3%と最も高くなっている。50歳代や60歳代、70歳代以上の市民では、「市内観光に関する情報発信」が最も高くなっている(それぞれ、39.6%、42.6%、34.5%)。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「上北台・立野地域」、「桜が丘」では「地域行事や祭りを活かした観光イベントの開催」が最も高くなっている(それぞれ、35.2%、31.0%、36.7%)。「奈良橋・湖畔・高木地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」では、「市内観光に関する情報発信」が最も高くなっている(それぞれ、33.3%、41.5%、32.6%、47.3%)。「清原・新堀地域」では「地域行事や祭りを活かした観光イベントの開催」と「市内観光に関する情報発信」がともに34.0%と最も高くなっている。「奈良橋・湖畔・高木地域」では「新たな観光資源の発掘・創出」と「市内観光に関する情報発信」がともに33.3%と最も高くなっている。

### <満足度別>

「観光事業の推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「市内観光に関する情報発信」が40.4%で最も高く、満足している市民の37.8%を2.6ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「市内観光に関する情報発信」(40.4%)、「地域行事や祭りを活かした観光イベントの開催」(34.9%)、「新たな観光資源の発掘・創出」(30.2%)となっている。

図表 6 1 「観光事業の推進」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	市内観光に 関する情報 発信	地域行事 や祭事を活 かした観光 イベントの 開催	新たな観光 資源の発 掘・創出	市内観光に 関する案内 板や看板 の設置	農業・工 業・商業と 連携した観 光商品の 開発	特にな い	市内を案 内する観 光ボラン ティアガ イドの育 成・確保	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>34.6</u>	<u>31.9</u>	22.6	20.4	18.8	16.0	7.6	4.3	3.7
性別	男性	(308)	<u>31.5</u>	28.9	<u>31.2</u>	21.1	17.9	14.0	8.4	4.9	3.9
	女性	(422)	<u>37.0</u>	<u>34.1</u>	16.4	20.1	19.7	17.5	6.9	3.8	3.6
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>24.1</u>	<u>39.7</u>	22.4	19.0	22.4	19.0	8.6	3.4	3.4
	30歳代	(82)	20.7	<u>43.9</u>	<u>26.8</u>	12.2	18.3	17.1	7.3	7.3	4.9
	40歳代	(156)	<u>32.7</u>	<u>33.3</u>	22.4	13.5	18.6	19.2	9.0	4.5	4.5
	50歳代	(159)	<u>39.6</u>	<u>30.8</u>	25.8	22.0	17.0	15.1	6.3	3.8	1.9
	60歳代	(169)	<u>42.6</u>	<u>26.0</u>	17.8	25.4	23.7	14.2	6.5	3.6	4.1
	70歳以上	(113)	<u>34.5</u>	<u>27.4</u>	23.0	<u>27.4</u>	13.3	13.3	8.0	4.4	3.5
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>29.7</u>	<u>35.2</u>	15.4	27.5	15.4	15.4	4.4	2.2	5.5
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>33.3</u>	30.8	<u>33.3</u>	19.2	15.4	15.4	9.0	3.8	3.8
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>41.5</u>	22.0	24.4	<u>26.8</u>	17.1	12.2	8.5	6.1	3.7
	上北台・立野地域	(84)	<u>29.8</u>	<u>31.0</u>	21.4	19.0	21.4	17.9	9.5	4.8	4.8
	桜が丘	(166)	<u>31.9</u>	<u>36.7</u>	21.7	12.7	18.1	18.1	7.8	6.0	3.0
	中央・南街地域	(95)	<u>32.6</u>	<u>29.5</u>	26.3	22.1	21.1	16.8	5.3	3.2	4.2
	仲原・向原地域	(91)	<u>47.3</u>	<u>31.9</u>	16.5	18.7	24.2	17.6	6.6	4.4	1.1
	清原・新堀地域	(50)	<u>34.0</u>	<u>34.0</u>	26.0	28.0	18.0	10.0	10.0	2.0	4.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(111)	<u>37.8</u>	<u>39.6</u>	21.6	23.4	24.3	6.3	9.9	2.7	1.8
	不満・どちらかといえば不満	(235)	<u>40.4</u>	<u>34.9</u>	30.2	24.7	22.6	0.9	10.6	8.5	0.9
	わからない・関心がない	(373)	<u>30.3</u>	28.2	18.5	17.7	15.3	<u>29.0</u>	5.1	1.6	4.3

## (2) 市の施策に関する質問

### 第4章 環境にやさしく安全で快適なまちをを築くために

問28. 「市街地の整備」についてうかがいます。

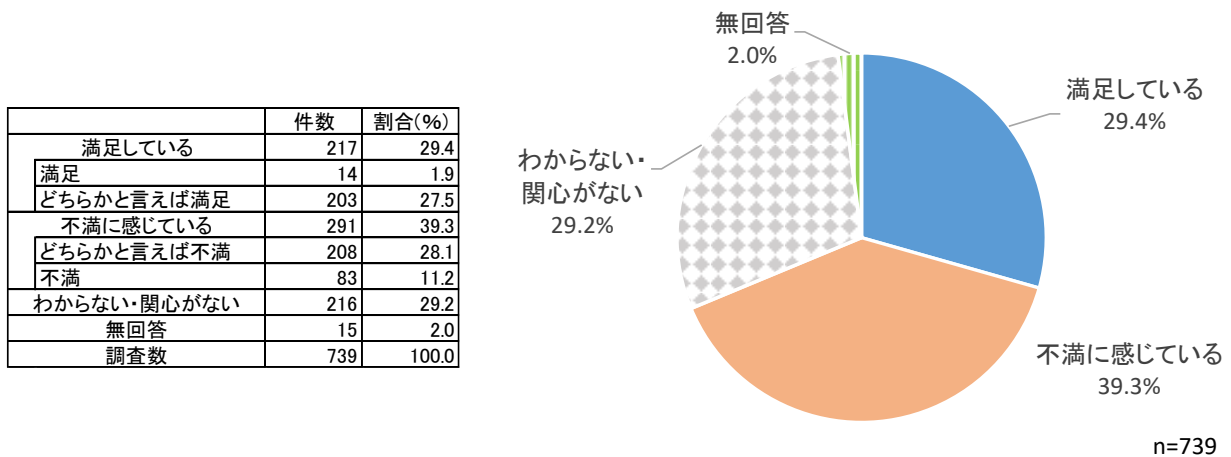
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

#### ① 満足度

##### <全体>

東大和市の「市街地の整備」に対して満足している市民の割合は29.4%、不満に感じている市民の割合は39.3%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は29.2%となっている。

図表62 「市街地の整備」に対する満足度（単純集計）



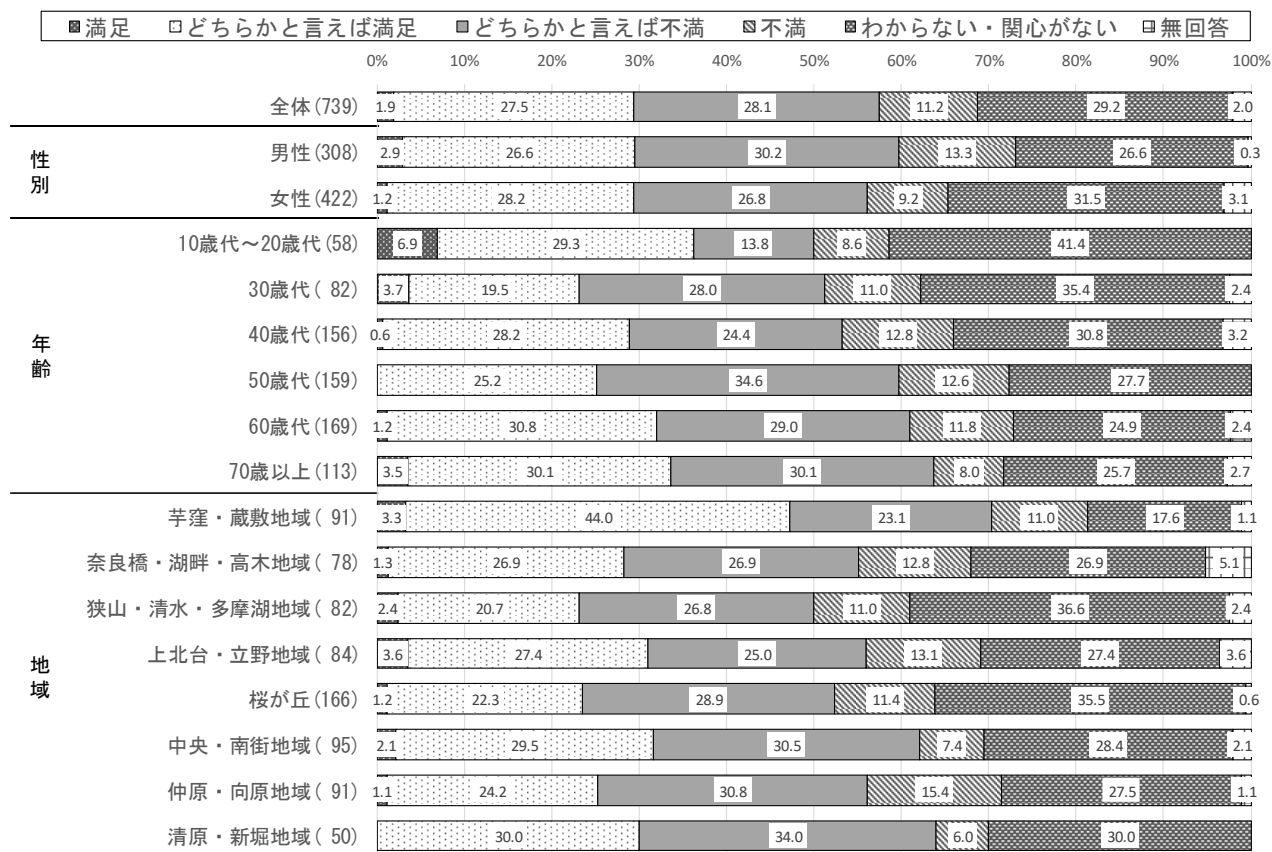
##### <年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは10歳代～20歳代の36.2%となっている。その他の年代の市民においては、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは50歳代の47.2%で、次いで60歳代(40.8%)、30歳代(39.0%)となっている。

##### <地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において47.3%と最も高くなっている。一方、その他の地域では、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは「仲原・向原地域」の46.2%で、次いで「桜が丘」(40.3%)、「清原・新堀地域」(40.0%)となっている。

図表 6 3 「市街地の整備」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「市街地の整備」について今後優先的に取り組むべき事項では、「公共下水道の雨水施設整備及び汚水施設の適正管理」が46.8%で最も高く、次いで「周辺の住環境と調和のとれた開発の誘導」(34.5%)、「都市計画道路の整備」(30.3%)となっている。

全ての属性において、今後優先的に取り組むべき事項は「公共下水道の雨水施設整備及び汚水施設の適正管理」が最も高くなっている。

### <地域別>

今後優先的に取り組むべき事項で「公共下水道の雨水施設整備及び汚水施設の適正管理」の割合が最も高い地域は、「清原・新堀地域」で60.0%、次いで「仲原・向原地域」(57.1%)、「中央・南街地域」(51.6%)となっている。

### <満足度別>

「市街地の整備」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「公共下水道の雨水施設整備及び汚水施設の適正管理」が51.5%で最も高く、満足している市民の50.2%を1.3ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「公共下水道の雨水施設整備及び汚水施設の適正管理」(51.5%)、「都市計画道路の整備」(40.9%)、「周辺の住環境と調和のとれた開発の誘導」(34.7%)となっている。



図表 6 4 「市街地の整備」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	公共下水道の雨水 施設整備 及び汚水 施設の適 正管理	周辺の住 環境と調和 のとれた開 発の誘導	都市計画 道路の整 備	市民・開発 事業者・行 政が連携し た協働のま ちづくり	特にない	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>46.8</u>	<u>34.5</u>	30.3	28.3	9.5	5.5	2.8
性別	男性	(308)	<u>49.4</u>	<u>36.4</u>	35.1	27.6	6.8	6.8	1.6
	女性	(422)	<u>44.8</u>	<u>33.2</u>	26.8	28.7	11.6	4.3	3.8
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>41.4</u>	31.0	<u>32.8</u>	27.6	13.8	-	3.4
	30歳代	(82)	<u>43.9</u>	30.5	<u>37.8</u>	20.7	11.0	9.8	4.9
	40歳代	(156)	<u>45.5</u>	<u>34.0</u>	30.1	21.2	12.8	7.1	3.2
	50歳代	(159)	<u>47.2</u>	<u>37.1</u>	32.7	30.2	5.0	4.4	2.5
	60歳代	(169)	<u>52.7</u>	31.4	26.6	<u>36.7</u>	9.5	4.7	2.4
	70歳以上	(113)	<u>44.2</u>	<u>41.6</u>	25.7	28.3	8.0	6.2	1.8
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>44.0</u>	33.0	<u>34.1</u>	25.3	16.5	3.3	-
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>47.4</u>	<u>33.3</u>	30.8	24.4	11.5	7.7	2.6
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>43.9</u>	<u>41.5</u>	32.9	29.3	4.9	3.7	2.4
	上北台・立野地域	(84)	<u>40.5</u>	<u>35.7</u>	34.5	29.8	11.9	10.7	2.4
	桜が丘	(166)	<u>40.4</u>	32.5	<u>35.5</u>	25.9	10.2	5.4	3.6
	中央・南街地域	(95)	<u>51.6</u>	32.6	14.7	<u>38.9</u>	7.4	5.3	4.2
	仲原・向原地域	(91)	<u>57.1</u>	<u>38.5</u>	26.4	26.4	6.6	5.5	2.2
	清原・新堀地域	(50)	<u>60.0</u>	<u>30.0</u>	<u>30.0</u>	26.0	4.0	2.0	6.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(217)	<u>50.2</u>	<u>36.4</u>	28.1	32.7	9.7	0.9	0.5
	不満・どちらかといえば不満	(291)	<u>51.5</u>	34.7	<u>40.9</u>	27.8	0.3	11.0	1.7
	わからない・関心がない	(216)	<u>37.5</u>	<u>32.4</u>	19.0	25.0	22.2	3.2	4.6

問29. 「良好な住宅環境の形成」についてうかがいます。

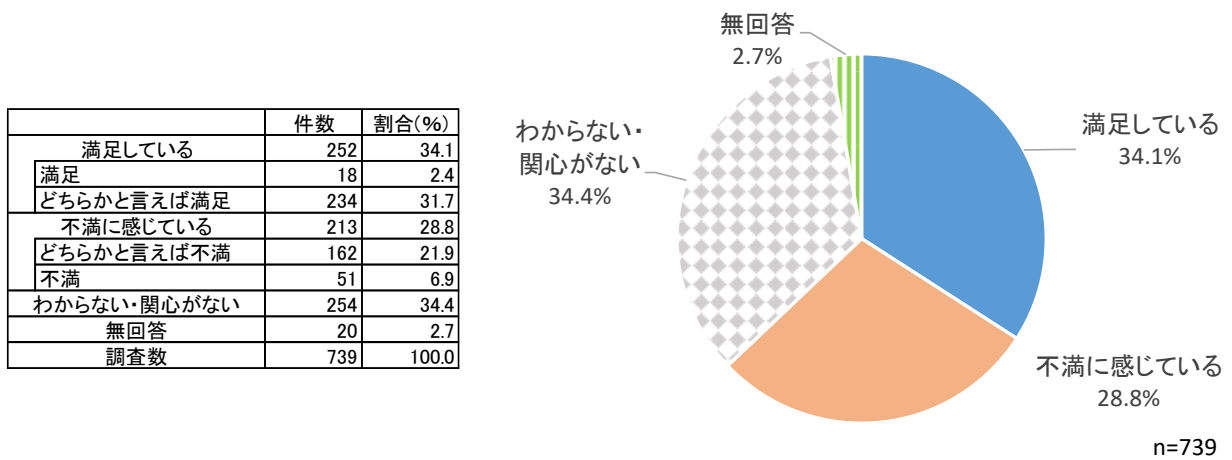
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「良好な住宅環境の形成」に対して満足している市民の割合は 34.1%、不満に感じている市民の割合は 28.8%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 34.4%となっている。

図表 6 5 「良好な住宅環境の形成」に対する満足度（単純集計）



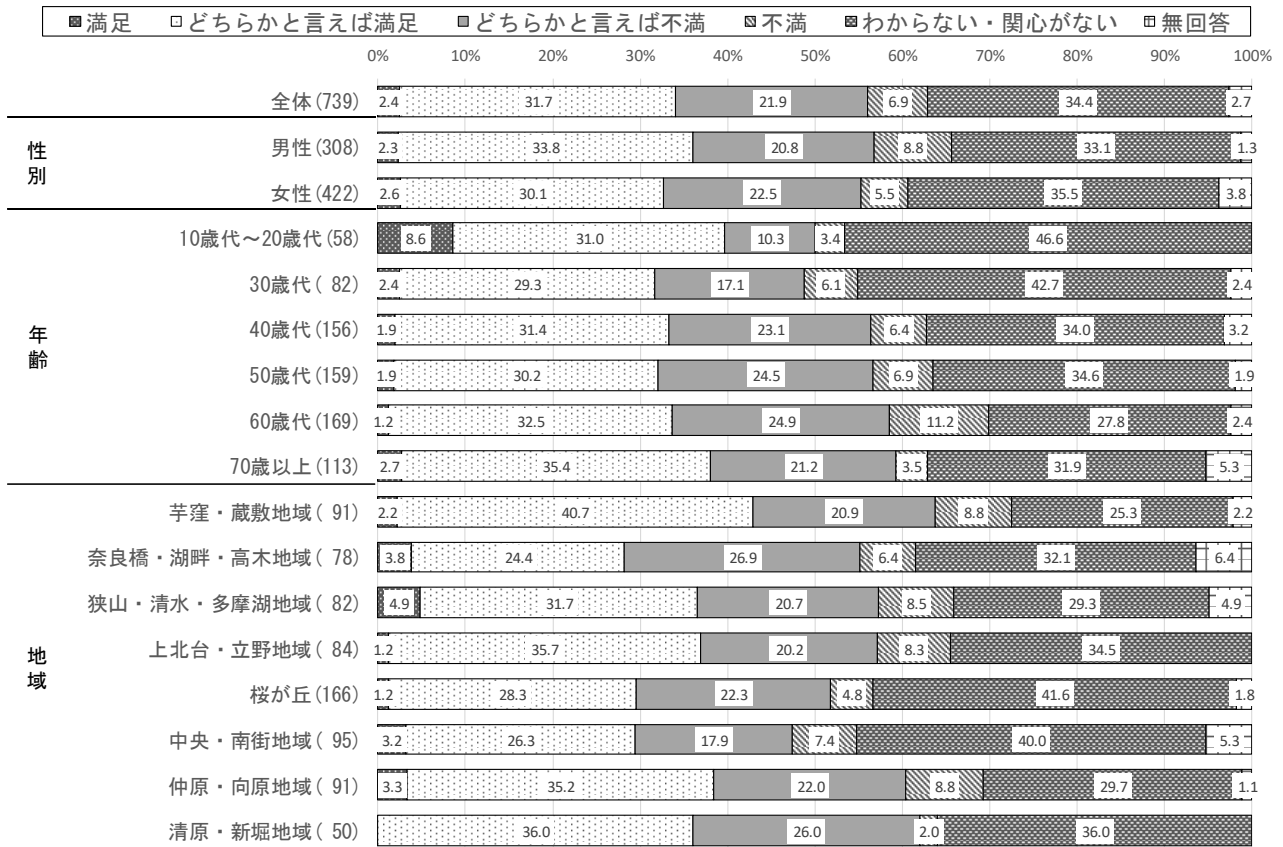
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 10 歳代～20 歳代の 39.6%、次いで 70 歳以上（38.1%）となっている。一方、60 歳代の市民においては、満足している市民（33.7%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、36.1%となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において 42.9%と最も高く、次いで「仲原・向原地域」（38.5%）、「上北台・立野地域」（36.9%）となっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」では満足している市民（28.2%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、33.3%となっている。

図表 6 6 「良好な住宅環境の形成」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「良好な住宅環境の形成」について今後優先的に取り組むべき事項では、「空き家の適正管理や利活用」が55.3%で最も高く、次いで「高齢者や障害者に配慮した住まいづくりに関する啓発活動」(30.6%)、「環境にやさしい住まいづくりへの誘導」(28.6%)となっている。

なお、全ての属性において、今後優先的に取り組むべき事項は「空き家の適正管理や利活用」が最も高くなっている。

### <地域別>

今後優先的に取り組むべき事項で「空き家の適正管理や利活用」の割合が最も高い地域は、「中央・南街地域」で65.3%、次いで「狭山・清水・多摩湖地域」(61.0%)、「清原・新堀地域」(58.0%)となっている。

### <満足度別>

「良好な住宅環境の形成」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「空き家の適正管理や利活用」(55.9%)、「高齢者や障害者に配慮した住まいづくりに関する啓発活動」(37.1%)、「環境にやさしい住まいづくりへの誘導」(31.0%)となっている。

図表 6 7 「良好な住宅環境の形成」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	空き家の適 正管理や 利活用	高齢者や 障害者に配 慮した住ま いづくりに 関する啓発 活動	環境にやさ しい住まい づくりへの 誘導	住宅の耐 震化促進に 向けた啓発	良好な住宅 環境の維 持に向けた 学習機会 や情報の 提供	特になし	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>55.3</u>	<u>30.6</u>	28.6	25.7	11.1	7.6	2.4	2.7
性別	男性	(308)	<u>55.8</u>	<u>31.8</u>	28.6	25.3	12.0	6.5	3.6	2.9
	女性	(422)	<u>54.5</u>	<u>29.9</u>	28.4	26.3	10.7	8.3	1.7	2.6
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>63.8</u>	22.4	12.1	<u>39.7</u>	13.8	5.2	5.2	1.7
	30歳代	(82)	<u>51.2</u>	19.5	31.7	<u>34.1</u>	6.1	4.9	2.4	4.9
	40歳代	(156)	<u>59.0</u>	<u>25.6</u>	24.4	25.0	7.1	11.5	3.8	3.2
	50歳代	(159)	<u>52.8</u>	<u>32.1</u>	31.4	21.4	17.0	8.2	1.3	2.5
	60歳代	(169)	<u>53.3</u>	<u>39.1</u>	33.7	20.7	11.2	7.1	1.8	2.4
	70歳以上	(113)	<u>55.8</u>	<u>35.4</u>	29.2	27.4	10.6	4.4	1.8	1.8
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>52.7</u>	29.7	<u>33.0</u>	20.9	13.2	7.7	2.2	2.2
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>57.7</u>	30.8	<u>32.1</u>	26.9	11.5	7.7	2.6	2.6
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>61.0</u>	31.7	23.2	<u>40.2</u>	4.9	3.7	1.2	1.2
	上北台・立野地域	(84)	<u>54.8</u>	32.1	<u>35.7</u>	19.0	8.3	6.0	2.4	2.4
	桜が丘	(166)	<u>48.8</u>	22.9	<u>30.7</u>	21.1	12.0	12.7	3.0	3.0
	中央・南街地域	(95)	<u>65.3</u>	<u>29.5</u>	22.1	26.3	9.5	7.4	4.2	4.2
	仲原・向原地域	(91)	<u>51.6</u>	<u>45.1</u>	25.3	25.3	14.3	6.6	1.1	2.2
清原・新堀地域	(50)	<u>58.0</u>	30.0	24.0	<u>36.0</u>	16.0	-	2.0	4.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(252)	<u>58.7</u>	32.5	<u>33.3</u>	27.0	12.7	3.6	0.4	1.2
	不満・どちらかといえば不満	(213)	<u>55.9</u>	<u>37.1</u>	31.0	24.9	13.6	0.9	6.1	1.9
	わからない・関心がない	(254)	<u>51.2</u>	23.6	21.7	<u>26.0</u>	7.9	17.7	1.6	3.5

問30. 「都市景観の形成」についてうかがいます。

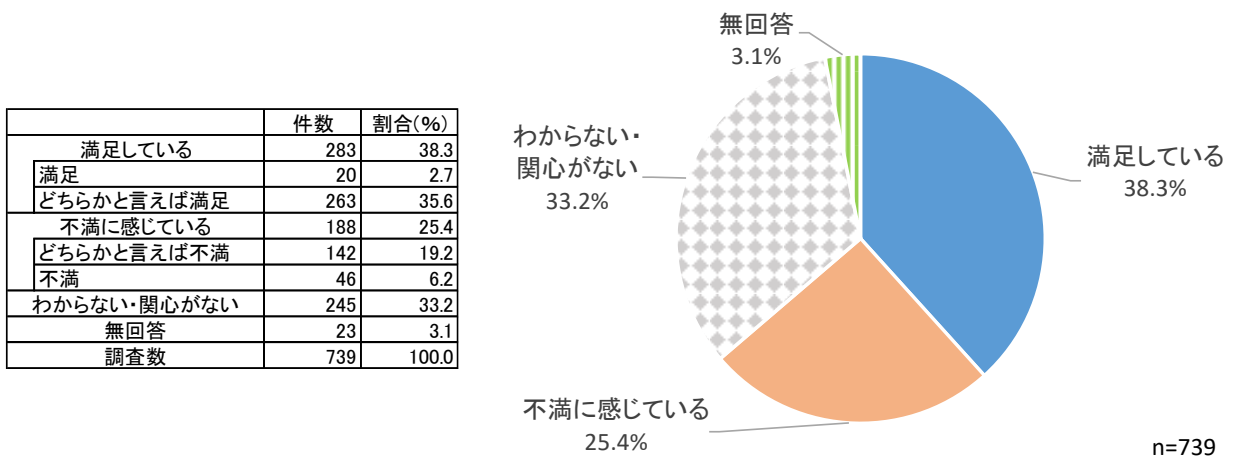
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「都市景観の形成」に対して満足している市民の割合は38.3%、不満に感じている市民の割合は25.4%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は33.2%となっている。

図表-68 「都市景観の形成」に対する満足度（単純集計）



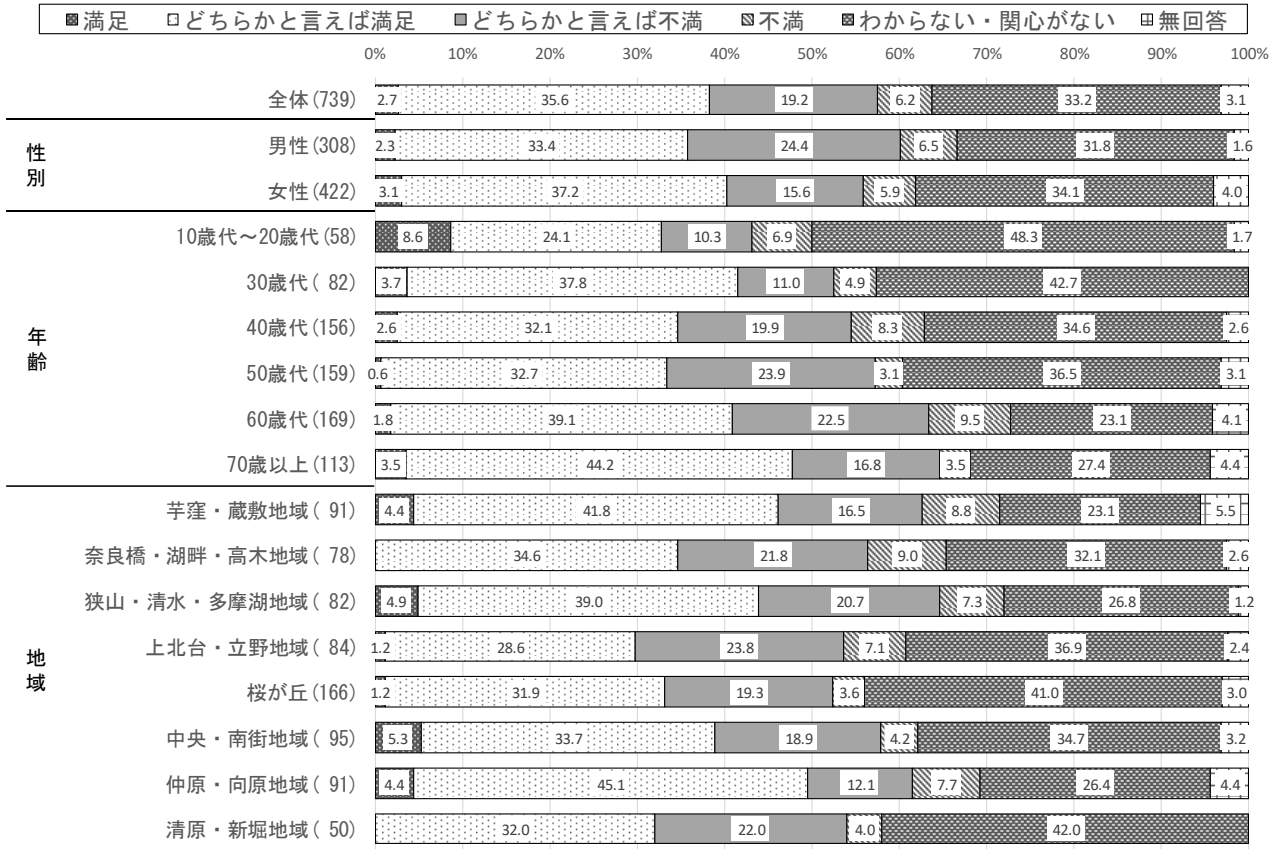
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳以上の47.7%、次いで30歳代（41.5%）、60歳代（40.9%）となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「仲原・向原地域」において49.5%と最も高く、次いで「芋窪・蔵敷地域」（46.2%）、「狭山・清水・多摩湖地域」（43.9%）となっている。一方、「上北台・立野地域」では満足している市民（29.8%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、30.9%となっている。

図表 6 9 「都市景観の形成」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「都市景観の形成」について今後優先的に取り組むべき事項では、「東大和ならではの自然や歴史を活かした景観形成」が52.2%で最も高く、次いで「電線類の地中化」(39.0%)、「道路や河川などの景観整備への市民意見の反映」(32.1%)となっている。

なお、全ての属性において、今後優先的に取り組むべき事項は「東大和ならではの自然や歴史を活かした景観形成」が最も高くなっている。

### <地域別>

今後優先的に取り組むべき事項で「東大和ならではの自然や歴史を活かした景観形成」の割合が最も高い地域は、「芋窪・蔵敷地域」で63.7%、次いで「清原・新堀地域」(56.0%)、「狭山・清水・多摩湖地域」(54.9%)となっている。

### <満足度別>

「都市景観の形成」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「電線類の地中化」が50.0%で最も高く、満足している市民の36.0%を14.0ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「電線類の地中化」(50.0%)、「東大和ならではの自然や歴史を活かした景観形成」(47.9%)、「道路や河川などの景観整備への市民意見の反映」(42.0%)となっている。



図表 70 「都市景観の形成」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	東大和なら ではの自然 や歴史を活 かした景観 形成	電線類の 地中化	道路や河 川などの景 観整備へ の市民意 見の反映	市民・事業 者が主体と なった景観 形成	特にな い	建物の色 彩やデザ インなど の規制・ 誘導	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>52.2</u>	<u>39.0</u>	32.1	11.8	10.4	9.9	1.6	2.4
性別	男性	(308)	<u>51.0</u>	<u>42.9</u>	35.4	10.7	8.8	10.4	1.3	1.9
	女性	(422)	<u>53.3</u>	<u>35.8</u>	29.9	12.6	11.8	9.5	1.7	2.8
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>46.6</u>	<u>32.8</u>	25.9	15.5	10.3	6.9	-	6.9
	30歳代	(82)	<u>52.4</u>	<u>40.2</u>	30.5	9.8	8.5	11.0	2.4	2.4
	40歳代	(156)	<u>46.8</u>	<u>35.3</u>	28.8	7.7	16.0	12.8	3.8	1.9
	50歳代	(159)	<u>55.3</u>	<u>39.0</u>	34.6	11.3	10.1	10.7	0.6	1.3
	60歳代	(169)	<u>56.8</u>	<u>37.9</u>	35.5	17.2	8.9	7.7	1.2	2.4
	70歳以上	(113)	<u>51.3</u>	<u>46.9</u>	32.7	9.7	7.1	8.8	0.9	2.7
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>63.7</u>	30.8	<u>35.2</u>	11.0	9.9	3.3	2.2	4.4
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>52.6</u>	<u>47.4</u>	30.8	9.0	10.3	12.8	2.6	-
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>54.9</u>	<u>40.2</u>	32.9	11.0	8.5	8.5	2.4	-
	上北台・立野地域	(84)	<u>54.8</u>	<u>39.3</u>	35.7	10.7	8.3	9.5	3.6	-
	桜が丘	(166)	<u>47.6</u>	<u>38.0</u>	29.5	9.6	11.4	13.3	0.6	3.6
	中央・南街地域	(95)	<u>49.5</u>	<u>40.0</u>	26.3	14.7	12.6	7.4	1.1	3.2
	仲原・向原地域	(91)	<u>45.1</u>	38.5	<u>39.6</u>	17.6	11.0	8.8	1.1	4.4
清原・新堀地域	(50)	<u>56.0</u>	<u>38.0</u>	28.0	12.0	10.0	16.0	-	2.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(283)	<u>66.1</u>	<u>36.0</u>	33.2	13.8	6.0	8.8	1.4	1.4
	不満・どちらかといえば不満	(188)	47.9	<u>50.0</u>	42.0	12.2	1.1	14.4	2.7	1.1
	わからない・関心がない	(245)	<u>40.4</u>	<u>33.9</u>	24.9	9.8	23.7	8.2	0.8	1.6

問31. 「道路・交通の整備」についてうかがいます。

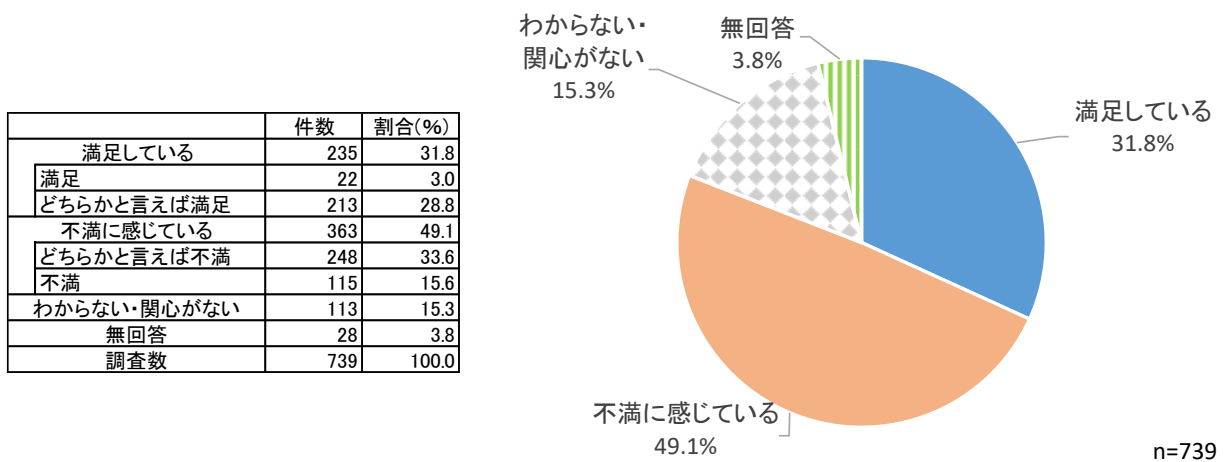
- ①今のあなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「道路・交通の整備」に対して満足している市民の割合は 31.8%、不満に感じている市民の割合は 49.1%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 15.3%となっている。

図表 7 1 「道路・交通の整備」に対する満足度（単純集計）



<年齢別>

全ての年代の市民において、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは、50 歳代の 54.8%、次いで 40 歳代 (53.2%)、30 歳代 (52.5%) となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において 45.1%と最も高くなっている。その他の地域では、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは、「仲原・向原地域」の 56.1%、次いで「奈良橋・湖畔・高木地域」(53.8%)、「上北台・立野地域」と「桜が丘」(ともに 50.0%) となっている。

図表 7 2 「道路・交通の整備」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「道路・交通の整備」について今後優先的に取り組むべき事項では、「自転車通行空間の整備」が47.0%で最も高く、次いで「ちよこバスを含む公共交通網の充実」(45.1%)、「道路反射鏡(カーブミラー)や路面標示などの交通安全施設の整備」(28.0%)となっている。

### <年齢別>

10歳代~20歳代や30歳代、50歳代の市民では「自転車通行空間の整備」が最も高くなっている(それぞれ53.4%、47.6%、49.7%)。40歳代や70歳代以上の市民では、「ちよこバスを含む公共交通網の充実」が最も高くなっている(それぞれ、44.2%、54.0%)。60歳代は「自転車通行空間の整備」と「ちよこバスを含む公共交通網の充実」がともに45.0%と最も高くなっている。

### <地域別>

「桜が丘」や「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」では「自転車通行空間の整備」が最も高くなっている(それぞれ、49.4%、50.5%、54.9%)。その他の地域では、「ちよこバスを含む公共交通網の充実」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「道路・交通の整備」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「自転車通行空間の整備」が52.3%で最も高く、満足している市民の44.7%を7.6ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「自転車通行空間の整備」(52.3%)、「ちよこバスを含む公共交通網の充実」(44.9%)、「駅周辺部における駐輪場の整備」(32.0%)となっている。

図表 7 3 「道路・交通の整備」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	自転車通 行空間の 整備	ちよこバス を含む公共 交通網の 充実	道路反射 鏡(カーブミ ラー)や路 面標示など の交通安 全施設の 整備	舗装や照 明など既存 道路施設 の適正管 理	駅周辺部 における駐 輪場の整 備	道路のバ リアフリー 化	市内各所 を結ぶ道 路の整備	地区の特 性にあわ せた道路 の整備	他市へ連 絡する道 路の整備	その他	特にな い	無回 答
単純集計	全体	(739)	<b>47.0</b>	45.1	28.0	26.0	25.3	18.8	13.5	13.3	11.0	6.5	4.6	1.4
性別	男性	(308)	<b>45.8</b>	41.6	23.7	24.4	25.6	18.2	16.9	16.2	14.0	7.1	4.5	1.6
	女性	(422)	<b>47.6</b>	47.4	31.3	27.3	24.4	19.0	11.1	11.1	9.0	5.7	4.7	1.2
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>53.4</b>	39.7	24.1	15.5	32.8	13.8	8.6	10.3	17.2	12.1	1.7	1.7
	30歳代	(82)	<b>47.6</b>	37.8	43.9	26.8	23.2	12.2	11.0	12.2	14.6	6.1	7.3	-
	40歳代	(156)	<b>42.3</b>	<b>44.2</b>	23.7	19.9	23.7	17.3	17.3	10.3	14.1	9.0	6.4	1.9
	50歳代	(159)	<b>49.7</b>	44.7	27.0	29.6	30.8	18.9	11.3	15.7	10.1	4.4	4.4	0.6
	60歳代	(169)	<b>45.0</b>	<b>45.0</b>	24.3	30.2	21.9	24.3	13.6	14.8	8.3	6.5	5.3	2.4
	70歳以上	(113)	48.7	<b>54.0</b>	31.0	28.3	22.1	19.5	15.9	14.2	6.2	3.5	0.9	0.9
地域	茅窪・蔵敷地域	(91)	41.8	<b>46.2</b>	26.4	20.9	34.1	9.9	14.3	15.4	13.2	7.7	4.4	1.1
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	43.6	<b>55.1</b>	23.1	23.1	17.9	20.5	17.9	11.5	15.4	6.4	3.8	-
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	41.5	<b>46.8</b>	40.2	29.3	15.9	13.4	13.4	14.6	8.5	7.3	4.9	-
	上北台・立野地域	(84)	38.1	<b>44.0</b>	28.6	28.6	32.1	20.2	15.5	11.9	7.1	8.3	6.0	2.4
	桜が丘	(166)	<b>49.4</b>	36.1	24.1	27.7	15.7	15.7	16.3	16.9	14.5	6.6	5.4	1.8
	中央・南街地域	(95)	<b>50.5</b>	40.0	34.7	22.1	34.7	22.1	8.4	10.5	9.5	4.2	6.3	1.1
	仲原・向原地域	(91)	<b>54.9</b>	40.7	26.4	27.5	35.2	26.4	12.1	8.8	8.8	5.5	2.2	3.3
清原・新堀地域	(50)	56.0	<b>69.0</b>	20.0	30.0	20.0	28.0	6.0	14.0	6.0	6.0	2.0	-	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(235)	<b>44.7</b>	43.4	28.1	28.5	20.9	20.9	9.8	17.0	10.2	3.8	4.3	0.4
	不満・どちらかといえば不満	(363)	<b>52.3</b>	44.9	28.7	26.4	32.0	18.2	16.3	13.5	12.9	9.9	-	0.6
	わからない・関心がない	(113)	38.1	<b>51.3</b>	24.8	20.4	15.9	16.8	13.3	6.2	7.1	0.9	21.2	0.9

問32. 「緑の保全・創出」についてうかがいます。

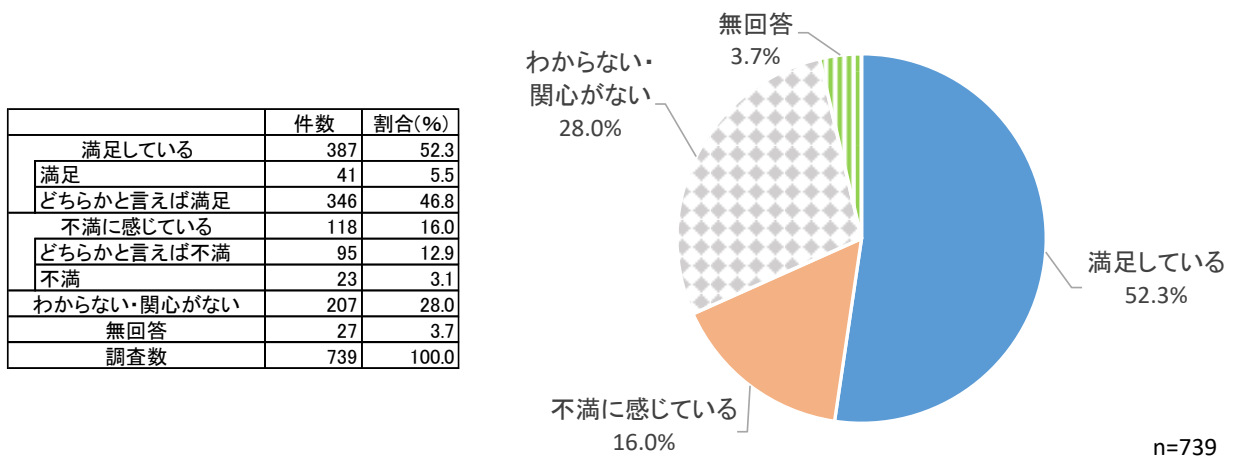
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「緑の保全・創出」に対して満足している市民の割合は 52.3%、不満に感じている市民の割合は 16.0%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 28.0%となっている。

図表 7 4 「緑の保全・創出」に対する満足度（単純集計）



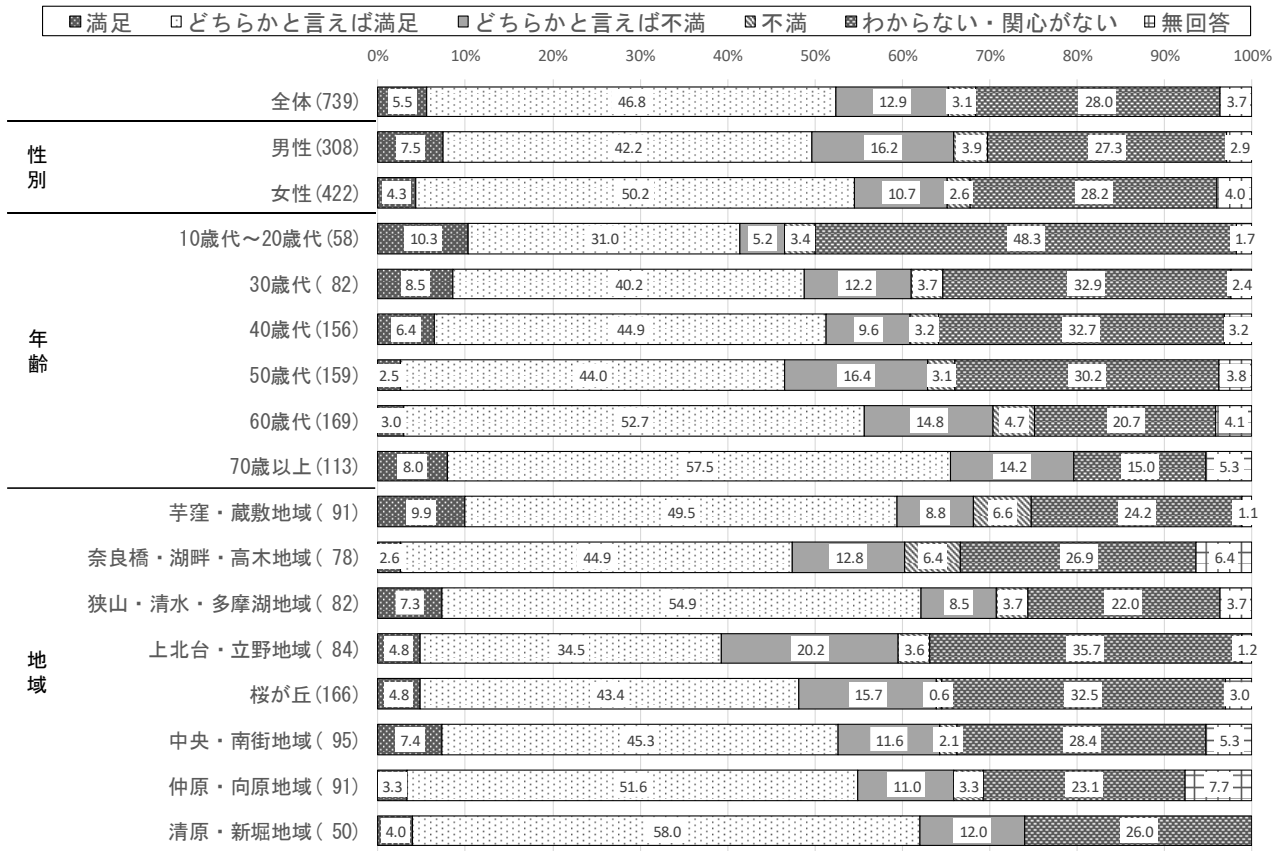
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 70 歳以上の 65.5%、次いで 60 歳代（55.7%）となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「狭山・清水・多摩湖地域」において 62.2%と最も高く、次いで「清原・新堀地域」（62.0%）、「芋窪・蔵敷地域」（59.4%）となっている。

図表 7 5 「緑の保全・創出」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「緑の保全・創出」について今後優先的に取り組むべき事項では、「狭山丘陵の保全と活用」が38.8%で最も高く、次いで「市民に親しまれる公園の整備」(38.0%)、「緑道などの整備による緑の連続性の確保」(25.0%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代や30歳代、40歳代の市民では「市民に親しまれる公園の整備」が最も高くなっている(それぞれ、36.2%、50.0%、37.2%)。50歳代や60歳代、70歳代以上の市民では、「狭山丘陵の保全と活用」が最も高くなっている(それぞれ、44.7%、41.4%、43.4%)。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「奈良橋・湖畔・高木地域」、「狭山・清水・多摩湖地域」、「清原・新堀地域」では「狭山丘陵の保全と活用」が最も高くなっている(それぞれ、47.3%、43.6%、52.4%、42.0%)。「上北台・立野地域」や「桜が丘」、「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」では、「市民に親しまれる公園の整備」が最も高くなっている(それぞれ、45.2%、32.5%、35.8%、44.0%)。

### <満足度別>

「緑の保全・創出」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「市民に親しまれる公園の整備」(43.2%)、「緑道などの整備による緑の連続性の確保」(35.6%)、「狭山丘陵の保全と活用」と「樹林の保全」(ともに31.4%)となっている。

図表76 「緑の保全・創出」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	狭山丘陵 の保全と活 用	市民に親し まれる公園 の整備	緑道などの 整備による 緑の連続 性の確保	樹林の保 全	気軽に水辺 と親しめる 環境づくり	公園緑地 の計画的・ 体系的な配 置	生きもの の保全	公共公益 施設の緑 化の推進	市民との 協働による 緑化活動
単純集計	全体	(739)	<b>38.8</b>	<b>38.0</b>	25.0	24.9	24.1	18.3	16.2	12.7	8.0
性別	男性	(308)	<b>42.5</b>	<b>33.8</b>	26.3	24.7	23.4	20.1	17.2	14.0	8.8
	女性	(422)	<b>36.0</b>	<b>41.2</b>	24.2	25.1	24.9	17.3	15.4	11.6	7.1
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>32.8</b>	<b>36.2</b>	12.1	22.4	27.6	15.5	12.1	19.0	-
	30歳代	(82)	<b>32.9</b>	<b>50.0</b>	20.7	19.5	<b>32.9</b>	20.7	25.6	8.5	3.7
	40歳代	(156)	<b>32.1</b>	<b>37.2</b>	22.4	21.8	28.8	17.9	22.4	8.3	7.7
	50歳代	(159)	<b>44.7</b>	<b>32.7</b>	24.5	28.3	23.3	22.6	16.4	13.8	7.5
	60歳代	(169)	<b>41.4</b>	<b>35.5</b>	30.8	26.6	19.5	17.8	11.8	16.0	13.0
	70歳以上	(113)	<b>43.4</b>	<b>42.5</b>	30.1	27.4	17.7	13.3	9.7	12.4	8.0
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>47.3</b>	<b>37.4</b>	24.2	23.1	18.7	12.1	17.6	9.9	4.4
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>43.6</b>	<b>35.9</b>	25.6	26.9	34.6	20.5	20.5	11.5	5.1
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>52.4</b>	<b>39.0</b>	17.1	26.8	19.5	13.4	17.1	18.3	6.1
	上北台・立野地域	(84)	<b>36.9</b>	<b>45.2</b>	23.8	20.2	21.4	15.5	10.7	14.3	9.5
	桜が丘	(166)	<b>28.9</b>	<b>32.5</b>	27.7	27.1	24.7	18.1	16.3	13.3	10.8
	中央・南街地域	(95)	<b>34.7</b>	<b>35.8</b>	25.3	21.1	23.2	<b>25.3</b>	15.8	8.4	8.4
	仲原・向原地域	(91)	<b>36.3</b>	<b>44.0</b>	28.6	27.5	24.2	20.9	17.6	11.0	7.7
清原・新堀地域	(50)	<b>42.0</b>	<b>40.0</b>	24.0	26.0	30.0	22.0	14.0	18.0	8.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(387)	<b>45.2</b>	<b>43.9</b>	25.6	25.8	28.9	19.6	16.8	14.0	7.2
	不満・どちらかといえば不満	(118)	31.4	<b>43.2</b>	<b>35.6</b>	31.4	19.5	20.3	18.6	15.3	13.6
	わからない・関心がない	(207)	<b>33.3</b>	<b>26.1</b>	20.3	20.3	17.9	15.5	12.6	8.2	5.3



特にない	緑の保全・創出の重要性に関する市民への啓発活動	民有地の緑化の推進	その他	無回答
7.8	7.4	6.2	2.8	2.4
7.1	8.4	7.8	2.6	2.3
8.5	6.6	4.7	3.1	2.6
10.3	3.4	3.4	1.7	5.2
8.5	6.1	6.1	2.4	-
12.2	5.1	3.8	1.9	3.8
5.0	6.9	4.4	3.8	1.9
7.7	9.5	10.1	3.0	1.8
4.4	11.5	8.0	3.5	2.7
12.1	5.5	5.5	3.3	2.2
6.4	2.6	6.4	5.1	-
4.9	11.0	7.3	6.1	-
10.7	8.3	10.7	1.2	2.4
8.4	6.6	4.2	0.6	3.0
7.4	7.4	5.3	7.4	4.2
5.5	8.8	4.4	-	4.4
6.0	12.0	10.0	-	2.0
3.1	9.8	5.4	1.8	0.5
0.8	4.2	10.2	5.9	0.8
21.7	4.8	4.8	3.4	3.9

問33. 「防災・防犯体制の推進」についてうかがいます。

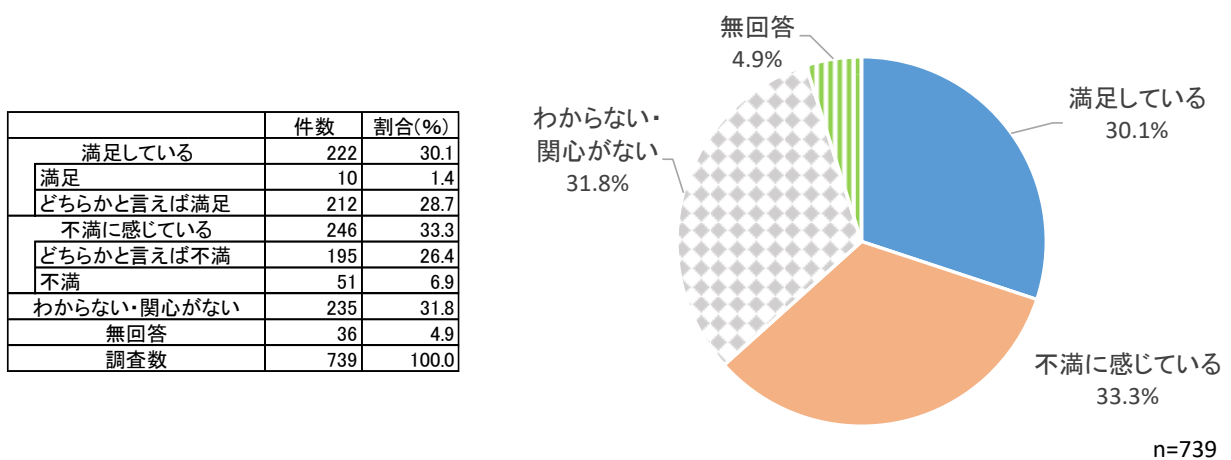
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は3つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「防災・防犯体制の推進」に対して満足している市民の割合は 30.1%、不満に感じている市民の割合は 33.3%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 31.8%となっている。

図表 7 7 「防災・防犯体制の推進」に対する満足度（単純集計）



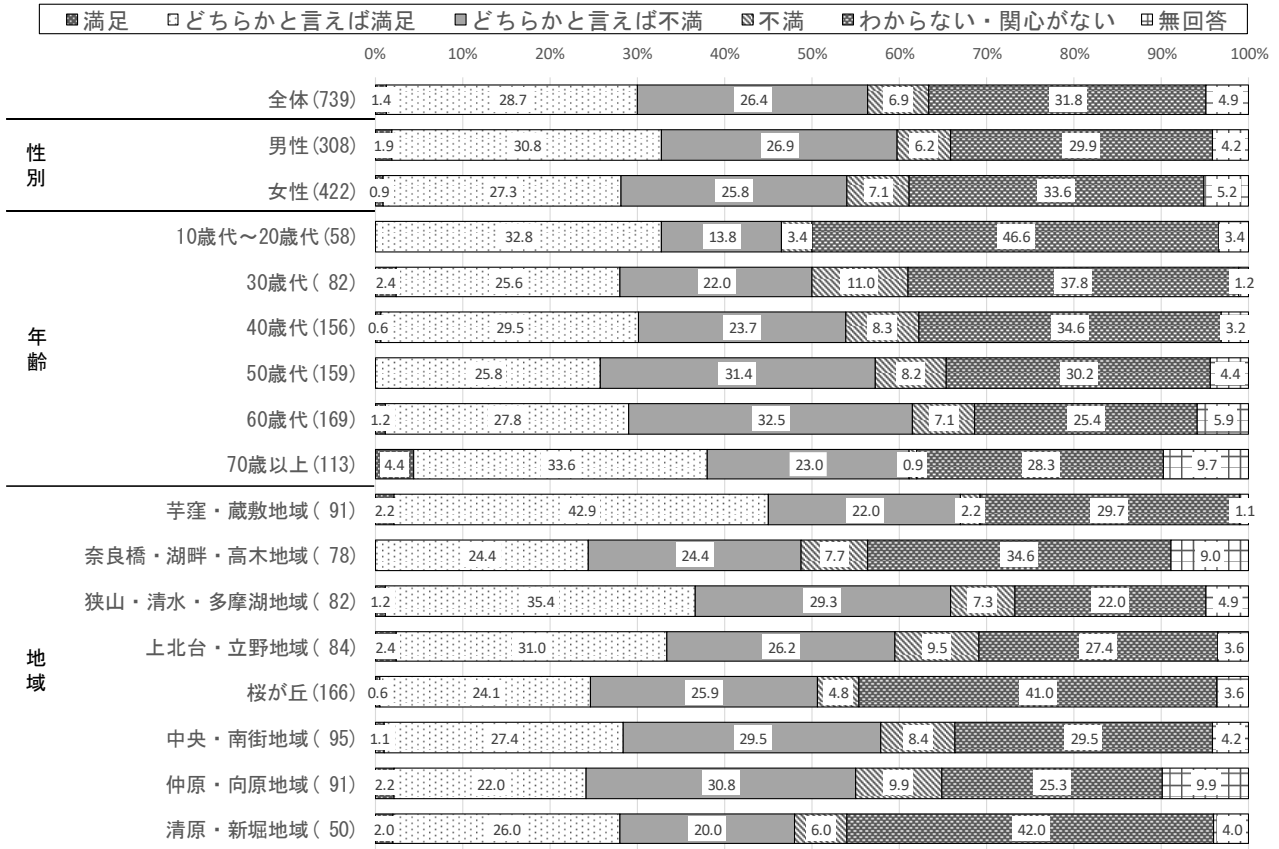
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 70 歳以上の 38.0%、次いで 10 歳代～20 歳代（32.8%）となっている。一方、その他の年代の市民においては、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において 45.1%と最も高く、次いで「狭山・清水・多摩湖地域」（36.6%）となっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」や「上北台・立野地域」、「桜が丘」、「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表 7 8 「防災・防犯体制の推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「防災・防犯体制の推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策」が41.7%で最も高く、次いで「災害時の通信・連絡体制の整備」(37.9%)、「防災拠点・避難場所などの整備」(32.9%)となっている。

### <年齢別>

60歳代、70歳以上の市民では「災害時の通信・連絡体制の整備」が最も高くなっている(それぞれ、40.8%、47.8%)。30歳代や40歳代、50歳代の市民では、「局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策」が最も高くなっている(それぞれ、45.1%、49.4%、44.0%)。10歳代～20歳代の市民では「災害時の通信・連絡体制の整備」と「局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策」がともに36.2%と最も高くなっている。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」や「奈良橋・湖畔・高木地域」、「上北台・立野地域」では「災害時の通信・連絡体制の整備」が最も高くなっている(それぞれ、42.9%、43.6%、41.7%)。「桜が丘」や「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」、「清原・新堀地域」では、「局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策」が最も高くなっている(それぞれ、39.2%、48.4%、62.6%、50.0%)。「狭山・清水・多摩湖地域」では「防災拠点・避難場所などの整備」が42.7%と最も高くなっている。

### <満足度別>

「防災・防犯体制の推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策」が52.4%で最も高く、満足している市民の39.2%を13.2ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策」(52.4%)、「防災拠点・避難場所などの整備」(35.4%)、「災害時の通信・連絡体制の整備」(34.6%)となっている。

図表79 「防災・防犯体制の推進」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策	災害時の通信・連絡体制の整備	防災拠点・避難場所などの整備	災害時の応急救護・復旧体制の整備	道路や下水道などの耐震化	防犯に関する設備等の整備	市街地の安全性の向上	市民に対する防災意識の普及・啓発	防犯意識を高めるための市民への啓発活動
単純集計	全体	(739)	<b>41.7</b>	37.9	32.9	30.0	22.9	16.1	15.0	12.6	10.8
性別	男性	(308)	41.2	<b>41.9</b>	30.8	32.8	18.5	18.2	15.6	13.3	9.7
	女性	(422)	<b>41.9</b>	35.5	34.4	28.2	26.1	14.5	14.2	11.8	11.6
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>36.2</b>	<b>36.2</b>	31.0	22.4	27.6	17.2	15.5	20.7	6.9
	30歳代	(82)	<b>45.1</b>	31.7	25.6	29.3	25.6	20.7	22.0	14.6	11.0
	40歳代	(156)	<b>49.4</b>	34.0	30.8	26.3	22.4	17.9	16.7	8.3	9.0
	50歳代	(159)	<b>44.0</b>	35.8	33.3	<b>38.4</b>	24.5	10.1	11.3	15.7	11.9
	60歳代	(169)	40.2	<b>40.8</b>	37.9	30.8	23.1	14.8	16.0	10.1	12.4
	70歳以上	(113)	31.0	<b>47.8</b>	<b>34.5</b>	27.4	16.8	19.5	11.5	12.4	11.5
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	30.8	<b>42.9</b>	24.2	23.1	<b>30.8</b>	7.7	16.5	13.2	15.4
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	29.5	<b>43.6</b>	<b>39.7</b>	33.3	25.6	14.1	17.9	11.5	6.4
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	41.5	40.2	<b>42.7</b>	20.7	24.4	19.5	11.0	8.5	8.5
	上北台・立野地域	(84)	35.7	<b>41.7</b>	27.4	32.1	22.6	23.8	11.9	15.5	13.1
	桜が丘	(166)	<b>39.2</b>	34.9	<b>37.3</b>	31.3	18.7	17.5	18.1	15.1	7.8
	中央・南街地域	(95)	<b>48.4</b>	<b>36.8</b>	30.5	27.4	21.1	17.9	18.9	11.6	9.5
	仲原・向原地域	(91)	<b>62.6</b>	28.6	29.7	<b>36.3</b>	24.2	16.5	8.8	9.9	16.5
	清原・新堀地域	(50)	<b>50.0</b>	<b>40.0</b>	28.0	<b>40.0</b>	18.0	6.0	14.0	14.0	12.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(222)	39.2	<b>42.8</b>	28.8	27.0	21.2	14.0	17.6	12.2	13.5
	不満・どちらかといえば不満	(246)	<b>52.4</b>	34.6	<b>35.4</b>	26.0	25.6	19.5	15.4	15.0	10.6
	わからない・関心がない	(235)	36.2	<b>37.4</b>	34.0	<b>36.6</b>	22.1	14.0	13.6	11.1	8.9

住民による自主防災組織の育成・支援	河川改修などによる水害防止対策	消防団の体制の整備	消防車両や消防資器材の計画的な整備	特にない	その他	無回答
9.2	9.1	4.5	4.3	3.8	2.0	2.0
8.1	9.7	6.5	6.5	3.9	1.9	1.9
10.0	8.8	3.1	2.6	3.8	2.1	2.1
13.8	5.2	3.4	1.7	5.2	-	1.7
2.4	14.6	1.2	4.9	4.9	4.9	2.4
7.7	9.0	1.9	4.5	6.4	3.2	3.8
6.9	10.1	3.1	5.0	3.1	1.3	-
12.4	5.9	7.1	4.7	2.4	1.2	2.4
11.5	10.6	8.8	3.5	1.8	1.8	1.8
8.8	9.9	7.7	5.5	5.5	3.3	1.1
9.0	15.4	6.4	2.6	5.1	1.3	1.3
12.2	17.1	7.3	6.1	1.2	1.2	-
4.8	4.8	3.6	1.2	7.1	2.4	2.4
8.4	6.0	3.0	6.0	4.8	1.2	3.0
9.5	4.2	2.1	5.3	3.2	4.2	2.1
8.8	7.7	1.1	3.3	1.1	1.1	2.2
14.0	14.0	8.0	2.0	-	2.0	4.0
11.7	9.0	5.0	4.1	3.2	1.4	0.5
10.2	10.6	4.5	2.8	-	3.7	0.4
6.4	8.1	3.4	5.1	8.9	0.9	2.6

問34. 「ごみの減量とリサイクルの推進」についてうかがいます。

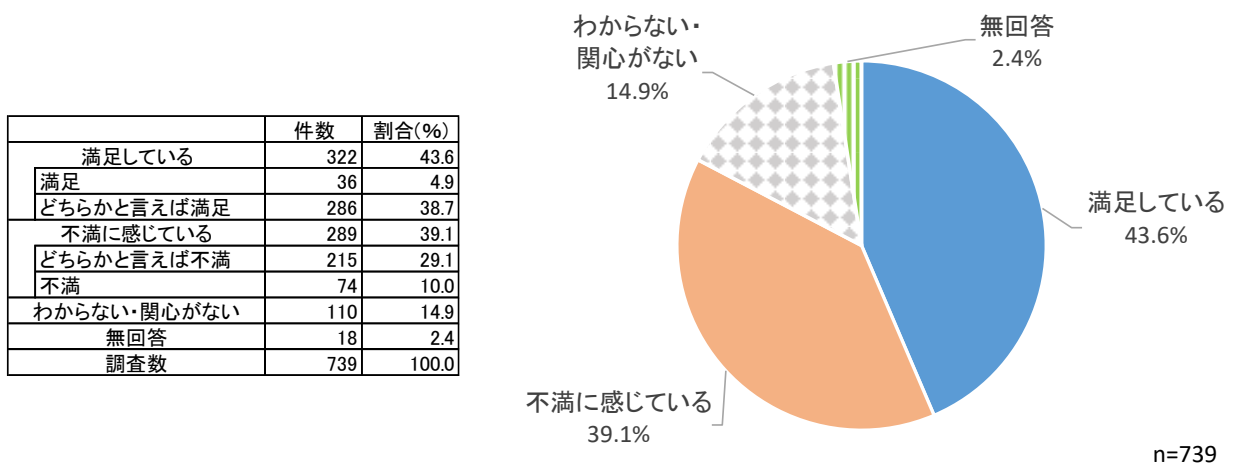
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「ごみの減量とリサイクルの推進」に対して満足している市民の割合は43.6%、不満に感じている市民の割合は39.1%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は14.9%となっている。

図表 80 「ごみの減量とリサイクルの推進」に対する満足度（単純集計）



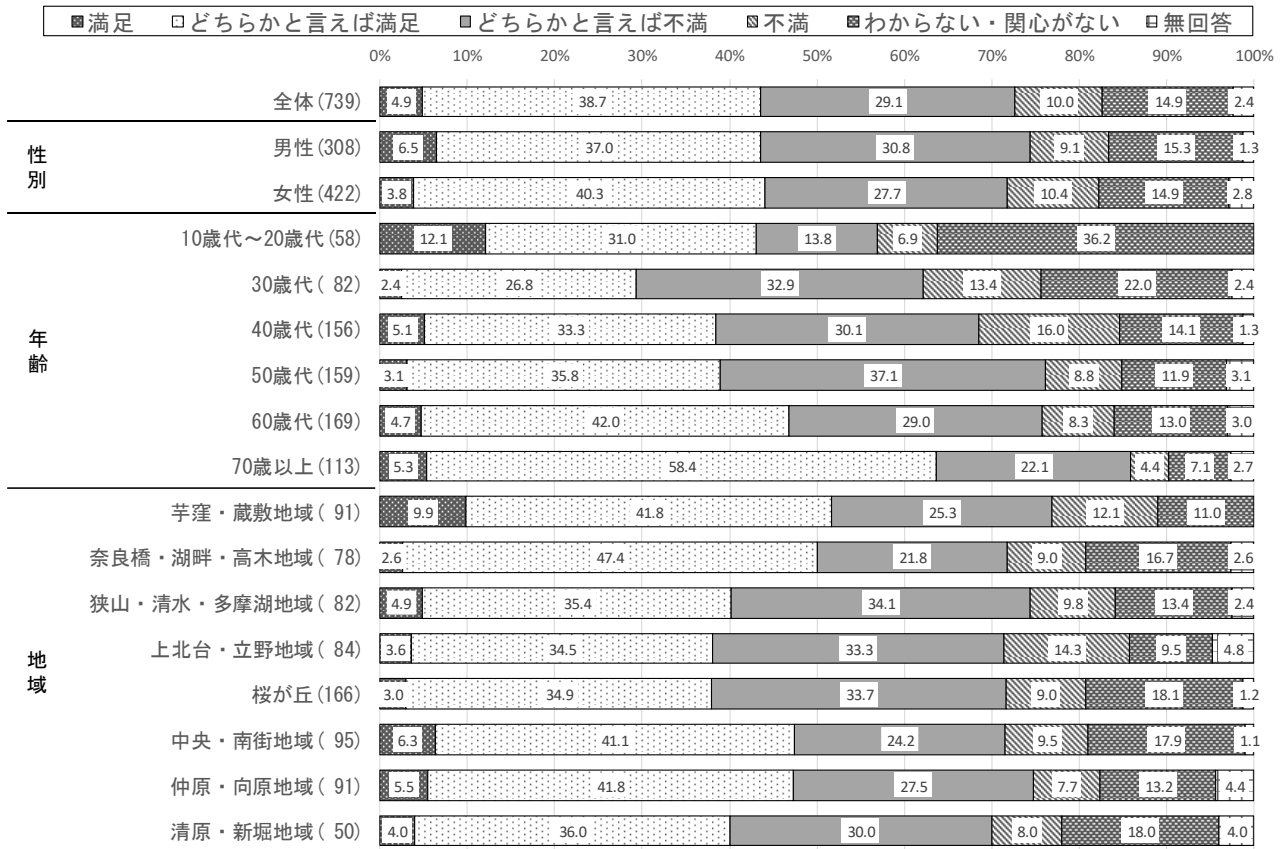
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳以上の63.7%、次いで60歳代（46.7%）、10歳代～20歳代（43.1%）となっている。一方、30歳代や40歳代、50歳代の市民においては、満足している市民（それぞれ、29.2%、38.4%、38.9%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ46.3%、46.1%、45.9%となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において51.7%と最も高く、次いで「奈良橋・湖畔・高木地域」（50.0%）、「中央・南街地域」（47.4%）となっている。一方、「狭山・清水・多摩湖地域」や「上北台・立野地域」、「桜が丘」では満足している市民（それぞれ40.3%、38.1%、37.9%）より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ43.9%、47.6%、42.7%となっている。

図表 8 1 「ごみの減量とリサイクルの推進」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「ごみの減量とリサイクルの推進」について今後優先的に取り組むべき事項では、「資源物を排出できる市内のリサイクル協力店の拡大」が40.5%で最も高く、次いで「分別方法の見直し」(29.2%)、「ごみの減量のための市民への啓発活動」(29.1%)となっている。

### <年齢別>

70歳以上を除いたすべての年代の市民で、「資源物を排出できる市内のリサイクル協力店の拡大」が最も高くなっている。70歳以上の市民では、「分別排出の徹底に関する市民への啓発活動」が最も高くなっている。

### <地域別>

「桜が丘」では、「分別方法の見直し」が34.9%と最も高くなっている。「清原・新堀地域」では、「ごみの減量化・リサイクルに取り組む市民活動団体への支援」と「資源物を排出できる市内のリサイクル協力店の拡大」がともに38.0%と最も高くなっている。その他の地域では、「資源物を排出できる市内のリサイクル協力店の拡大」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「ごみの減量とリサイクルの推進」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「分別方法の見直し」が42.2%で最も高く、満足している市民の20.5%を21.7ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「分別方法の見直し」(42.2%)、「資源物を排出できる市内のリサイクル協力店の拡大」(40.8%)、「ごみの減量のための市民への啓発活動」(23.9%)となっている。



図表 8 2 「ごみの減量とリサイクルの推進」について  
今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	資源物を排出できる市内のリサイクル協力店の拡大	分別方法の見直し	ごみの減量のための市民への啓発活動	分別排出の徹底に関する市民への啓発活動	ごみの減量化・リサイクルに取り組む市民活動団体への支援	その他	特になし	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>40.5</u>	29.2	29.1	26.5	21.0	8.8	5.8	2.6
性別	男性	(308)	<u>38.3</u>	33.1	29.2	26.0	23.4	9.4	6.2	1.0
	女性	(422)	<u>42.2</u>	26.1	29.1	27.0	19.4	8.3	5.7	3.6
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>32.8</u>	20.7	29.3	17.2	31.0	10.3	10.3	1.7
	30歳代	(82)	<u>45.1</u>	39.0	17.1	20.7	20.7	12.2	6.1	3.7
	40歳代	(156)	<u>43.6</u>	34.6	21.8	21.2	17.3	14.1	5.8	1.3
	50歳代	(159)	<u>39.0</u>	27.0	28.9	26.4	20.8	8.2	6.9	1.9
	60歳代	(169)	<u>42.6</u>	29.0	39.6	28.4	18.9	4.7	5.9	2.4
	70歳以上	(113)	<u>36.3</u>	22.1	32.7	<u>40.7</u>	24.8	5.3	1.8	4.4
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>45.1</u>	30.8	25.3	<u>30.8</u>	20.9	13.2	2.2	1.1
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>47.4</u>	20.5	35.9	32.1	14.1	6.4	5.1	2.6
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>45.1</u>	30.5	35.4	17.1	17.1	8.5	6.1	2.4
	上北台・立野地域	(84)	<u>44.0</u>	26.2	26.2	21.4	21.4	9.5	9.5	3.6
	桜が丘	(166)	33.1	<u>34.9</u>	26.5	23.5	21.1	8.4	6.0	2.4
	中央・南街地域	(95)	<u>36.8</u>	22.1	30.5	29.5	23.2	9.5	9.5	2.1
	仲原・向原地域	(91)	<u>41.8</u>	36.3	30.8	31.9	18.7	4.4	3.3	1.1
	清原・新堀地域	(50)	<u>38.0</u>	24.0	24.0	30.0	<u>38.0</u>	12.0	4.0	6.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(322)	<u>40.7</u>	20.5	37.6	33.9	23.9	3.1	5.6	1.6
	不満・どちらかといえば不満	(289)	40.8	<u>42.2</u>	23.9	23.2	17.3	17.3	1.7	1.4
	わからない・関心がない	(110)	<u>40.9</u>	22.7	20.0	18.2	23.6	3.6	17.3	2.7

問35. 「環境の保全」についてうかがいます。

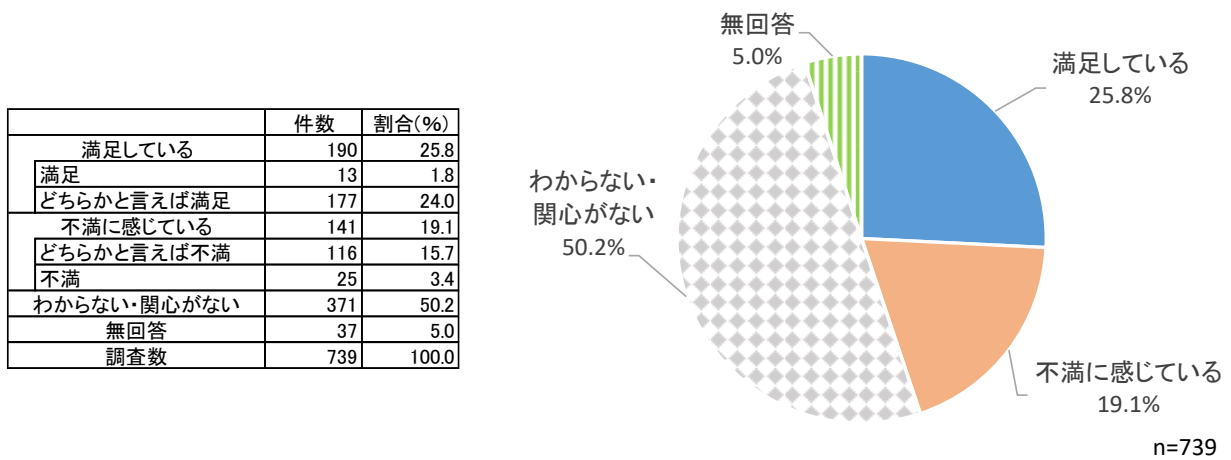
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「環境の保全」に対して満足している市民の割合は 25.8%、不満に感じている市民の割合は 19.1%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 50.2%となっている。

図表 8 3 「環境の保全」に対する満足度（単純集計）



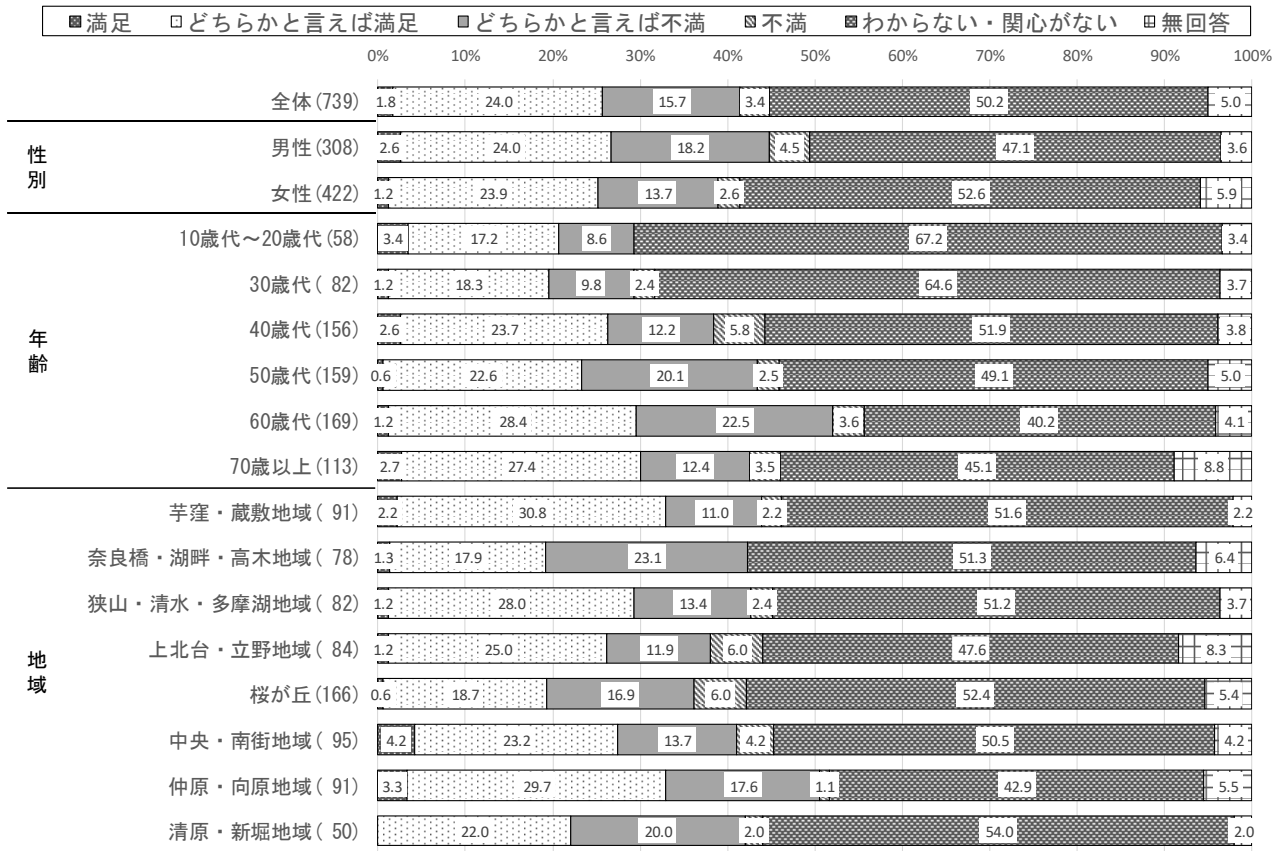
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 70 歳以上の市民で 30.1%、次いで 60 歳代 (29.6%)、40 歳代 (26.3%) となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」と「仲原・向原地域」においてともに 33.0%と最も高く、次いで「狭山・清水・多摩湖地域」(29.2%) となっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」や「桜が丘」では満足している市民 (それぞれ、19.2%、19.3%) より不満に感じている市民の割合の方が高く、それぞれ 23.1%、22.9% となっている。

図表 8 4 「環境の保全」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「環境の保全」について今後優先的に取り組むべき事項では、「大気や水質などの環境監視体制の整備」が34.8%で最も高く、次いで「太陽光発電など自然エネルギーの普及促進」(26.7%)、「近隣市との連携による良好な環境保全」(20.2%)となっている。

### <年齢別>

70歳以上の市民では、「市民・事業者が取り組める地球温暖化対策に関する啓発活動」が37.2%と最も高くなっている。その他の年代の市民では、「大気や水質などの環境監視体制の整備」が最も高くなっている。

### <地域別>

「中央・南街地域」や「仲原・向原地域」では「太陽光発電など自然エネルギーの普及促進」が最も高くなっている(それぞれ、32.6%、36.3%)。その他の地域では、「大気や水質などの環境監視体制の整備」が最も高くなっている

### <満足度別>

「環境の保全」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「大気や水質などの環境監視体制の整備」(39.0%)、「太陽光発電など自然エネルギーの普及促進」(31.2%)、「事業者の監視・指導体制の整備」(27.0%)となっている。

図表 8 5 「環境の保全」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	大気や水 質などの環 境監視体 制の整備	太陽光発 電など自然 エネルギー の普及促 進	近隣市との 連携による 良好な環境 保全	事業者の 監視・指導 体制の整 備	市民・事業 者が取り組 める地球温 暖化対策に 関する啓発 活動	特にな い	環境につ いて学べ る場や機 会の確保	公害の苦 情処理体 制の整備	環境保全 団体の育 成・支援	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<b>34.8</b>	26.7	20.2	19.6	19.4	12.2	11.6	7.4	4.7	1.6	5.4
性別	男性	(308)	<b>34.7</b>	27.6	21.1	23.4	14.9	9.4	12.7	9.7	5.2	3.2	4.9
	女性	(422)	<b>35.3</b>	26.1	19.7	17.1	22.5	14.0	10.9	5.5	4.5	0.5	5.7
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>27.6</b>	25.9	22.4	13.8	13.8	19.0	10.3	5.2	6.9	1.7	6.9
	30歳代	(82)	<b>31.7</b>	22.0	15.9	23.2	15.9	19.5	9.8	4.9	8.5	2.4	6.1
	40歳代	(156)	<b>34.0</b>	28.2	14.7	17.9	15.4	17.9	9.0	5.1	3.8	3.8	7.1
	50歳代	(159)	<b>40.3</b>	30.2	23.9	22.6	15.1	9.4	10.7	8.2	3.1	0.6	3.1
	60歳代	(169)	<b>33.7</b>	26.0	21.9	21.3	18.9	8.9	16.0	8.9	5.3	0.6	6.5
	70歳以上	(113)	<b>36.3</b>	24.8	22.1	15.9	<b>37.2</b>	3.5	12.4	10.6	3.5	0.9	2.7
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>33.0</b>	20.9	29.7	17.6	16.5	17.6	8.8	3.3	4.4	1.1	6.6
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>30.8</b>	25.6	16.7	20.5	25.6	10.3	16.7	12.8	5.1	-	1.3
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>40.2</b>	31.7	22.0	11.0	29.3	7.3	11.0	7.3	4.9	-	1.2
	上北台・立野地域	(84)	<b>40.5</b>	15.5	16.7	32.1	15.5	10.7	9.5	13.1	1.2	1.2	8.3
	桜が丘	(166)	<b>36.7</b>	24.7	18.1	16.3	14.5	14.5	9.6	6.0	7.2	3.0	7.2
	中央・南街地域	(95)	27.4	<b>32.6</b>	17.9	21.1	17.9	15.8	15.8	4.2	3.2	3.2	4.2
	仲原・向原地域	(91)	35.2	<b>36.3</b>	25.3	22.0	16.5	7.7	8.8	7.7	6.6	1.1	5.5
清原・新堀地域	(50)	<b>34.0</b>	28.0	14.0	20.0	30.0	8.0	18.0	8.0	2.0	2.0	6.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(190)	<b>39.5</b>	26.3	29.5	15.8	24.2	5.3	12.1	8.4	5.3	0.5	3.2
	不満・どちらかといえば不満	(141)	<b>39.0</b>	31.2	18.4	27.0	23.4	-	13.5	10.6	6.4	6.4	3.5
	わからない・関心がない	(371)	<b>30.7</b>	25.6	17.5	18.9	14.8	21.3	11.3	5.9	3.8	0.5	5.1

## (2) 市の施策に関する質問

### 第5章 相互の理解と協力に支えられるまちを築くために

問36. 「人権尊重・男女共同参画社会の確立」についてうかがいます。

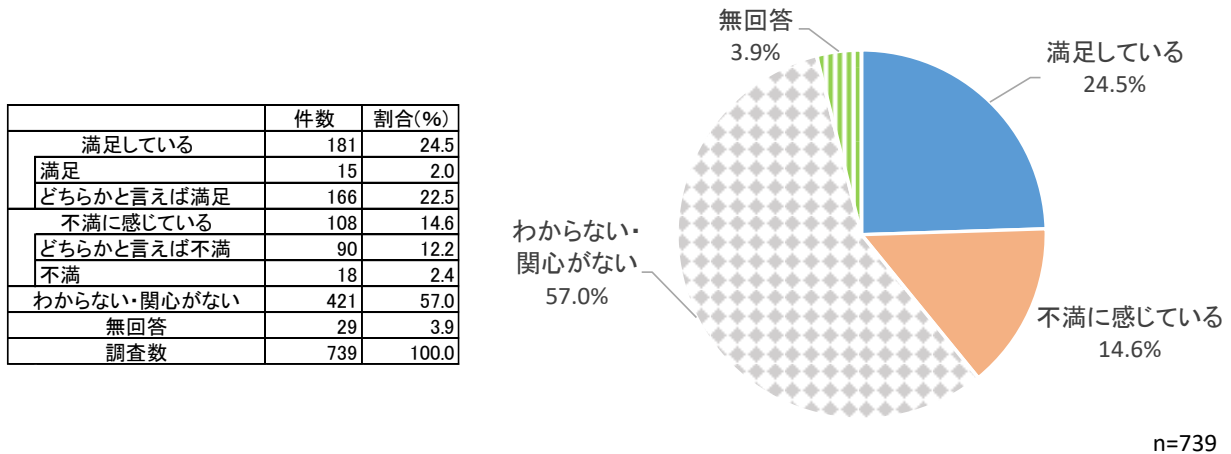
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

#### ① 満足度

##### <全体>

東大和市の「人権尊重・男女共同参画社会の確立」に対して満足している市民の割合は24.5%、不満に感じている市民の割合は14.6%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は57.0%となっている。

図表86 「人権尊重・男女共同参画社会の確立」に対する満足度（単純集計）



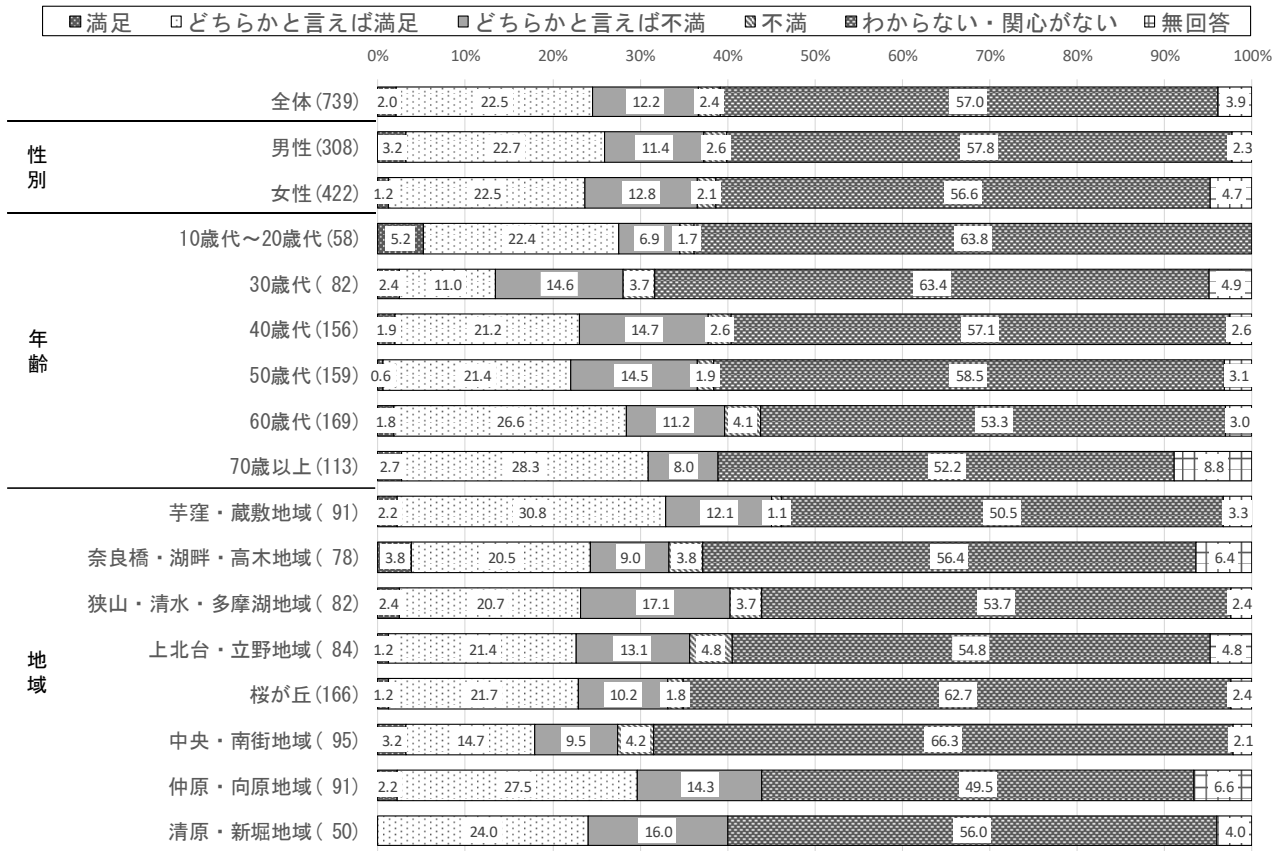
##### <年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳以上の31.0%、次いで60歳代（28.4%）となっている。

##### <地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において33.0%と最も高く、次いで「仲原・向原地域」（29.7%）、「奈良橋・湖畔・高木地域」（24.3%）となっている。

図表 8 7 「人権尊重・男女共同参画社会の確立」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「人権尊重・男女共同参画社会の確立」について今後優先的に取り組むべき事項では、「小・中学校での人権教育」が34.9%で最も高く、次いで「市内事業所におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現への支援」（21.5%）となっている。

なお、ほぼ全ての属性において、今後優先的に取り組むべき事項は「小・中学校での人権教育」が最も高くなっている。

### <地域別>

今後優先的に取り組むべき事項で「小・中学校での人権教育」の割合が最も高い地域は、「仲原・向原地域」で42.9%、次いで「上北台・立野地域」（40.5%）、「桜が丘」（37.3%）となっている。「清原・新堀地域」では、「市内事業所におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現への支援」（36.0%）が最も高くなっている。

### <満足度別>

「人権尊重・男女共同参画社会の確立」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「小・中学校での人権教育」が43.5%で最も高く、満足している市民の33.1%を10.4ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「小・中学校での人権教育」（33.1%）、「市内事業所におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現への支援」（36.1%）、「子どもや女性などの人権を守る活動に取り組んでいる団体への支援」（21.3%）となっている。



図表 8 8 「人権尊重・男女共同参画社会の確立」について  
今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	小・中学校 での人権教育	市内事業 所における ワーク・ライ フ・バランス (仕事と生活の調和) 実現への 支援	特になし	子どもや女 性などの人 権を守る活 動に取り組 んでいる団 体への支 援	女性相談 や人権相 談などの個 別相談体 制の整備	人権課題を テーマとし た講演会 の開催な どの市民 への啓発 活動	市政への 男女共同 参画の推 進	男女共同 参画に関 する情報 の提供	性的マイ ノリティへ の理解促 進と支援	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<b>34.9</b>	21.5	17.6	15.8	15.7	12.0	11.4	10.8	8.7	0.4	5.5
性別	男性	(308)	<b>32.8</b>	21.4	16.9	18.8	12.7	14.9	14.6	11.7	7.8	1.0	4.5
	女性	(422)	<b>36.0</b>	21.6	18.0	13.7	18.2	10.2	8.8	10.4	9.5	-	6.2
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>41.4</b>	31.0	12.1	20.7	12.1	6.9	8.6	6.9	20.7	-	3.4
	30歳代	(82)	<b>46.3</b>	30.5	15.9	14.6	11.0	3.7	9.8	2.4	12.2	-	8.5
	40歳代	(156)	<b>34.6</b>	26.3	21.2	11.5	12.8	8.3	7.1	10.9	10.9	1.3	3.8
	50歳代	(159)	<b>35.8</b>	17.6	19.5	15.1	22.0	13.8	6.9	10.7	6.9	-	4.4
	60歳代	(169)	<b>31.4</b>	17.2	18.9	14.2	16.0	17.8	18.3	15.4	5.9	-	5.9
	70歳以上	(113)	<b>28.3</b>	15.9	11.5	23.9	15.9	15.0	15.9	12.4	3.5	0.9	7.1
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>26.4</b>	20.9	25.3	18.7	12.1	11.0	11.0	8.8	7.7	-	6.6
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>32.1</b>	16.7	15.4	21.8	15.4	7.7	9.0	17.9	9.0	1.3	6.4
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>32.9</b>	23.2	17.1	3.7	15.9	11.0	18.3	14.6	13.4	-	1.2
	上北台・立野地域	(84)	<b>40.5</b>	21.4	21.4	19.0	9.5	11.9	8.3	7.1	8.3	1.2	6.0
	桜が丘	(166)	<b>37.3</b>	19.9	16.9	15.7	14.5	13.3	12.7	7.8	8.4	0.6	6.6
	中央・南街地域	(95)	<b>36.8</b>	25.3	16.8	12.6	17.9	13.7	5.3	12.6	7.4	-	5.3
	仲原・向原地域	(91)	<b>42.9</b>	16.5	12.1	18.7	22.0	12.1	14.3	11.0	11.0	-	3.3
清原・新堀地域	(50)	24.0	<b>36.0</b>	14.0	18.0	22.0	16.0	12.0	10.0	2.0	-	8.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(181)	<b>33.1</b>	21.5	11.0	23.8	19.9	16.0	10.5	15.5	8.3	0.6	2.2
	不満・どちらかといえば不満	(108)	<b>43.5</b>	36.1	-	21.3	20.4	12.0	18.5	11.1	15.7	-	0.9
	わからない・関心がない	(421)	<b>34.0</b>	18.5	25.9	12.1	12.8	10.2	9.5	8.6	7.6	0.5	5.2

問37. 「インターネット等のICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」についてうかがいます。

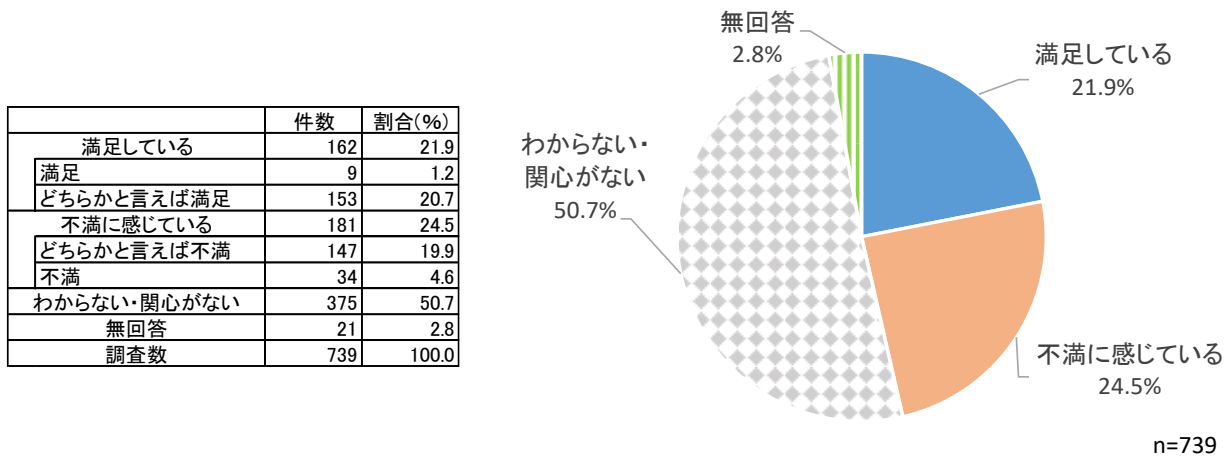
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「インターネット等のICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」に対して満足している市民の割合は21.9%、不満に感じている市民の割合は24.5%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は50.7%となっている。

図表89 「インターネット等のICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」に対する満足度（単純集計）



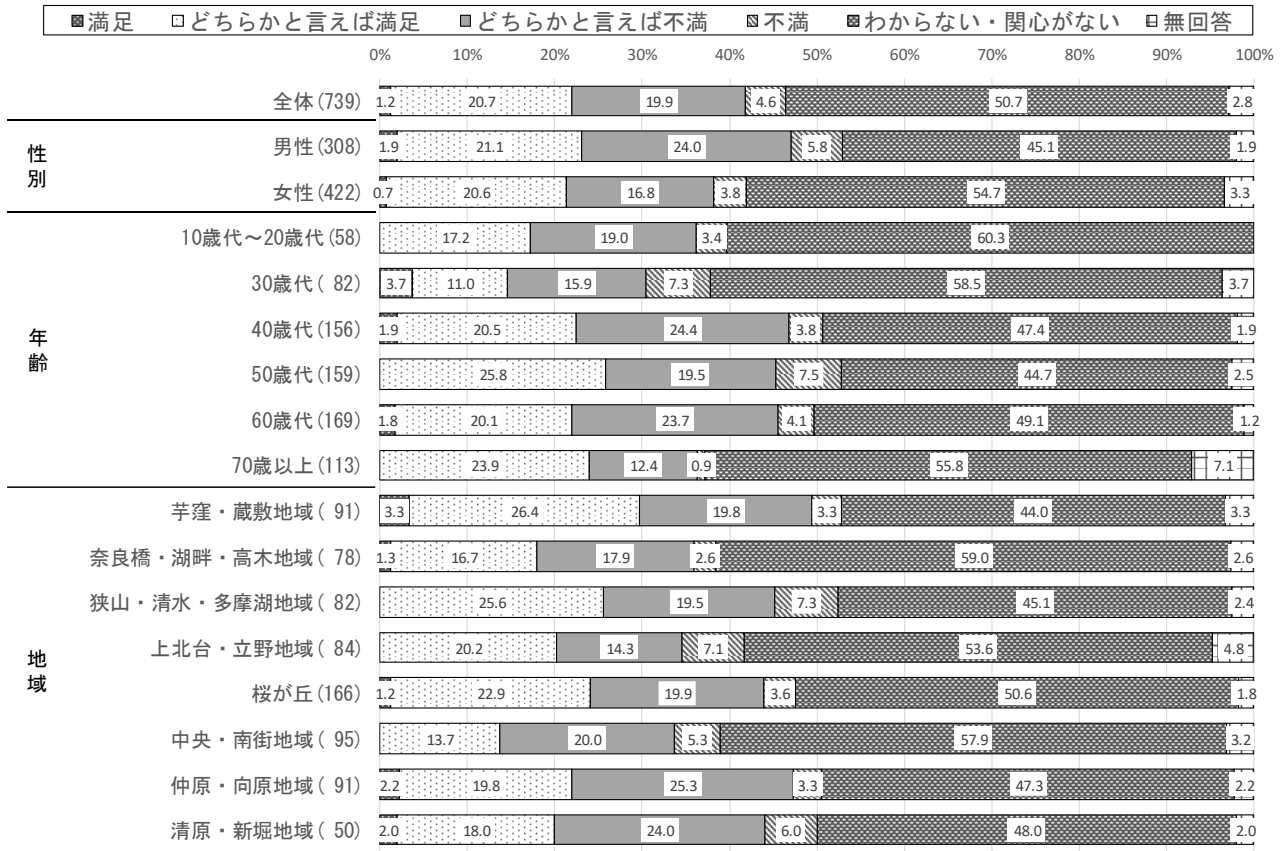
<年齢別>

70歳以上の市民を除いた、全ての年代の市民においては、満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において29.7%と最も高くなっている。一方、「奈良橋・湖畔・高木地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「上北台・立野地域」、「中央・南街地域」、「仲原・向原地域」、「清原・新堀地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。不満に感じている市民の割合が最も高いのは、「清原・新堀地域」で30.0%、次いで「仲原・向原地域」(28.6%)、「狭山・清水・多摩湖地域」(26.8%)となっている。

図表90 「インターネット等のICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「インターネット等の ICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」について今後優先的に取り組むべき事項では、「個人情報の保護等の情報セキュリティの強化」が 52.8%で最も高く、次いで「申請・届出などのオンライン化」（32.7%）、「情報通信技術の発展に対応した情報システムの整備」（31.1%）となっている。

なお、全ての属性において、今後優先的に取り組むべき事項は「個人情報の保護等の情報セキュリティの強化」が最も高くなっている。

### <年齢別>

30 歳代の市民では「個人情報の保護等の情報セキュリティの強化」に加えて「申請・届出などのオンライン化」が 51.2%と最も高くなっている。

### <地域別>

今後優先的に取り組むべき事項で「個人情報の保護等の情報セキュリティの強化」の割合が最も高い地域は、「仲原・向原地域」で 64.8%、次いで「狭山・清水・多摩湖地域」（64.6%）、「清原・新堀地域」（54.0%）となっている。

### <満足度別>

「インターネット等の ICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位 3 位は、「個人情報の保護等の情報セキュリティの強化」（51.9%）、「申請・届出などのオンライン化」（51.4%）、「情報通信技術の発展に対応した情報システムの整備」（43.1%）となっている。

図表9-1 「インターネット等のICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	個人情報の保護等の情報セキュリティの強化	申請・届出などのオンライン化	情報通信技術の発展に対応した情報システムの整備	特になし	新たな情報通信技術の活用	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>52.8</u>	<u>32.7</u>	31.1	14.6	11.9	3.4	4.3
性別	男性	(308)	<u>48.7</u>	<u>39.6</u>	34.4	10.4	15.9	5.2	3.6
	女性	(422)	<u>55.9</u>	28.4	<u>28.9</u>	17.1	9.0	2.1	4.7
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>65.5</u>	<u>39.7</u>	20.7	6.9	15.5	3.4	3.4
	30歳代	(82)	<u>51.2</u>	<u>51.2</u>	29.3	11.0	6.1	3.7	4.9
	40歳代	(156)	<u>47.4</u>	<u>42.3</u>	25.0	17.9	10.9	3.2	2.6
	50歳代	(159)	<u>54.1</u>	<u>38.4</u>	32.7	11.9	11.3	1.9	2.5
	60歳代	(169)	<u>54.4</u>	22.5	<u>39.1</u>	16.6	10.7	3.6	5.3
	70歳以上	(113)	<u>51.3</u>	10.6	<u>32.7</u>	16.8	18.6	5.3	7.1
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>47.3</u>	29.7	<u>35.2</u>	20.9	14.3	4.4	4.4
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>46.2</u>	23.1	<u>26.9</u>	21.8	12.8	5.1	5.1
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>64.6</u>	<u>28.0</u>	23.2	8.5	13.4	3.7	1.2
	上北台・立野地域	(84)	<u>48.8</u>	33.3	<u>35.7</u>	14.3	10.7	6.0	4.8
	桜が丘	(166)	<u>48.8</u>	<u>41.0</u>	32.5	13.3	9.6	1.2	6.0
	中央・南街地域	(95)	<u>52.6</u>	<u>35.8</u>	32.6	11.6	14.7	2.1	4.2
	仲原・向原地域	(91)	<u>64.8</u>	31.9	<u>33.0</u>	12.1	9.9	3.3	-
	清原・新堀地域	(50)	<u>54.0</u>	<u>30.0</u>	26.0	16.0	12.0	4.0	8.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(162)	<u>61.1</u>	<u>35.2</u>	32.1	8.0	16.7	2.5	0.0
	不満・どちらかといえば不満	(181)	<u>51.9</u>	51.4	43.1	1.7	16.0	5.0	1.1
	わからない・関心がない	(375)	<u>50.4</u>	23.7	<u>26.4</u>	24.5	8.0	2.7	4.8

問38. 「共に支え合う地域社会の確立」についてうかがいます。

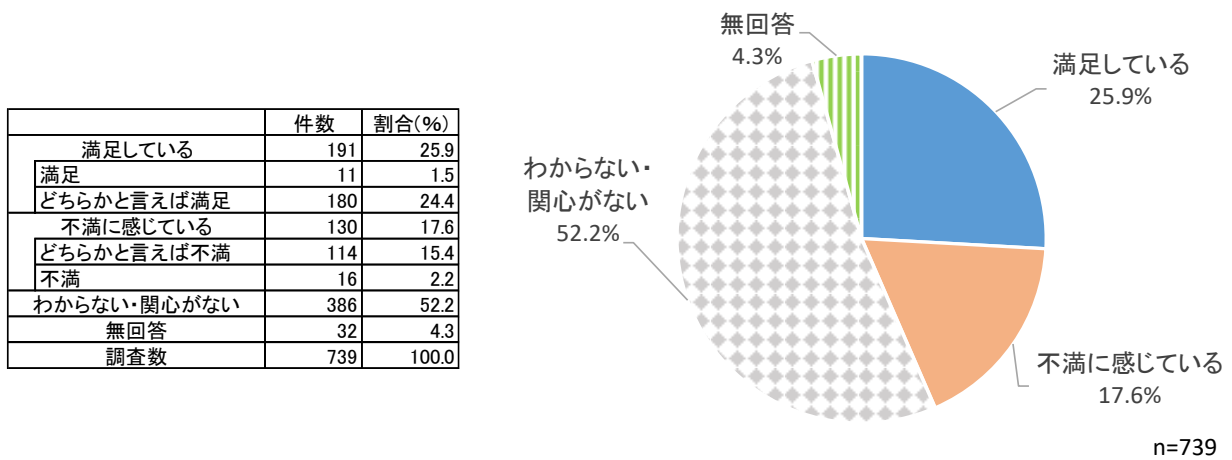
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「共に支え合う地域社会の確立」に対して満足している市民の割合は25.9%、不満に感じている市民の割合は17.6%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は52.2%となっている。

図表92 「共に支え合う地域社会の確立」に対する満足度（単純集計）



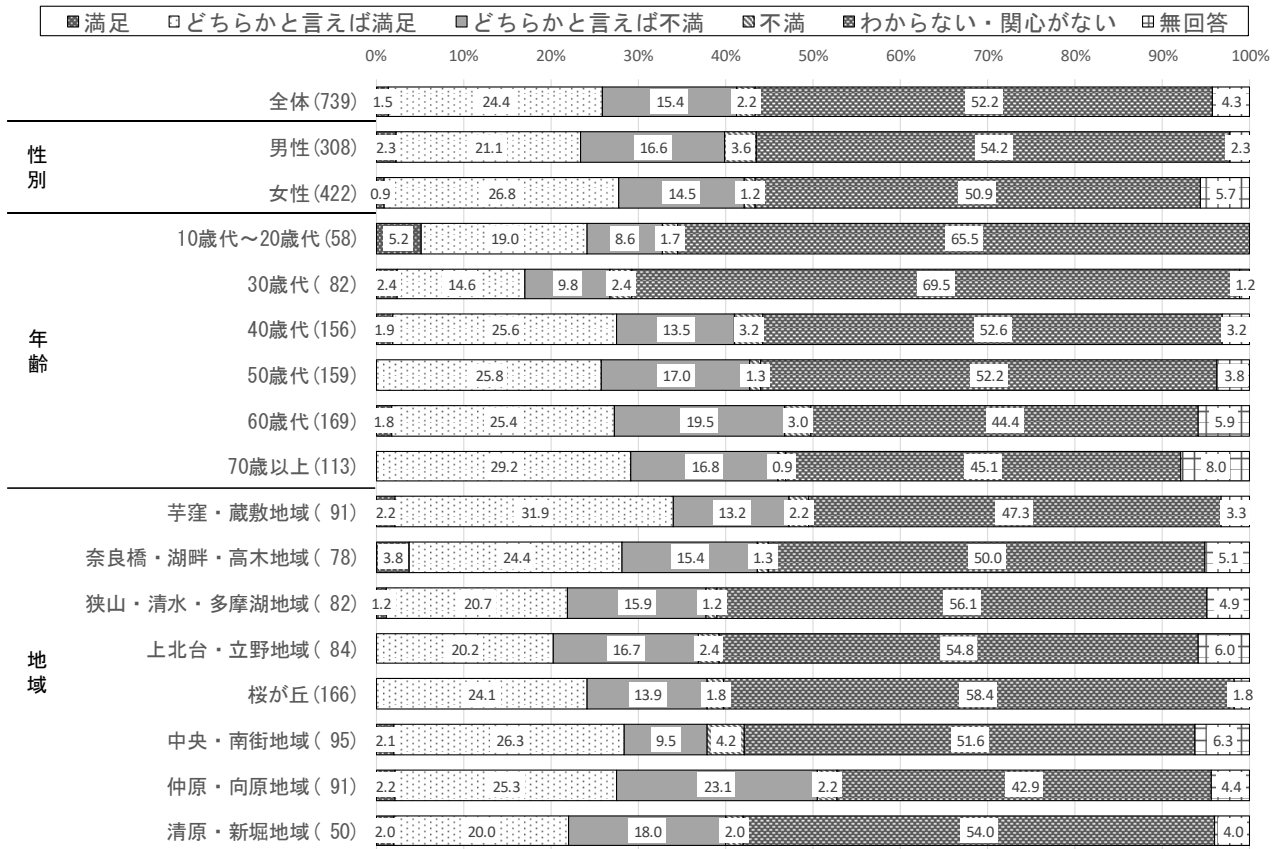
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは70歳以上の市民で29.2%、次いで40歳代(27.5%)、60歳代(27.2%)となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において34.1%と最も高く、次いで「中央・南街地域」(28.4%)、「奈良橋・湖畔・高木地域」(28.2%)となっている。

図表 9 3 「共に支え合う地域社会の確立」に対する満足度（クロス集計）



## ② 今後優先的に取り組むべき事項

### <全体>

「共に支え合う地域社会の確立」について今後優先的に取り組むべき事項では、「ボランティア・NPO（民間非営利活動団体）と行政との連携強化」が27.9%で最も高く、次いで「市民主体のまちづくり活動やボランティア活動などに関する情報提供」（27.1%）となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代や40歳代、50歳代の市民では「ボランティア・NPO（民間非営利活動団体）と行政との連携強化」が最も高くなっている（それぞれ、34.5%、30.1%、29.6%）。30歳代の市民では、「市民のまちづくりへの参加機会の確保」が26.8%と最も高くなっている。60歳代、70歳以上の市民では「市民主体のまちづくり活動やボランティア活動などに関する情報提供」が最も高くなっている（それぞれ、31.4%、30.1%）。

### <地域別>

「奈良橋・湖畔・高木地域」や「狭山・清水・多摩湖地域」、「桜が丘」、「中央・南街地域」では「ボランティア・NPO（民間非営利活動団体）と行政との連携強化」が最も高くなっている（それぞれ、30.8%、29.3%、28.9%、31.6%）。「上北台・立野地域」や「仲原・向原地域」、「清原・新堀地域」では、「市民主体のまちづくり活動やボランティア活動などに関する情報提供」が最も高くなっている（それぞれ、26.2%、31.9%、32.0%）。

### <満足度別>

「共に支え合う地域社会の確立」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「市民主体のまちづくり活動やボランティア活動などに関する情報提供」が42.3%で最も高く、満足している市民の27.2%を15.1ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「市民主体のまちづくり活動やボランティア活動などに関する情報提供」（42.3%）、「ボランティア・NPO（民間非営利活動団体）と行政との連携強化」（30.8%）、「市民のまちづくりへの参加機会の確保」（24.6%）となっている。



図表9 4 「共に支え合う地域社会の確立」について今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	ボランティア・NPO(民間非営利活動団体)と行政との連携強化	市民主体のまちづくり活動やボランティア活動などに関する情報提供	特になし	市民のまちづくりへの参加機会の確保	より多くの方がボランティア活動などに参加するための意識啓発	市民活動団体や自治会などの団体間の連携強化	自治会が主体的に取り組む各種活動への支援	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>27.9</u>	27.1	20.2	18.3	18.3	17.3	17.2	1.6	4.5
性別	男性	(308)	<u>26.0</u>	25.0	20.8	16.6	17.2	17.5	22.1	2.9	4.2
	女性	(422)	<u>28.9</u>	28.7	19.7	19.2	19.4	17.3	14.0	0.7	4.5
年齢	10歳代~20歳代	(58)	<u>34.5</u>	22.4	19.0	17.2	19.0	17.2	<u>25.9</u>	-	-
	30歳代	(82)	20.7	24.4	23.2	<u>26.8</u>	17.1	13.4	19.5	2.4	3.7
	40歳代	(156)	<u>30.1</u>	26.3	25.0	16.7	15.4	17.9	12.8	1.9	4.5
	50歳代	(159)	<u>29.6</u>	24.5	23.3	16.4	19.5	15.7	15.7	0.6	3.1
	60歳代	(169)	27.8	<u>31.4</u>	17.8	21.9	18.9	17.2	14.8	1.8	4.7
	70歳以上	(113)	23.9	<u>30.1</u>	11.5	11.5	20.4	22.1	23.0	2.7	8.0
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	19.8	23.1	<u>28.6</u>	14.3	17.6	17.6	20.9	2.2	2.2
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>30.8</u>	29.5	17.9	20.5	19.2	12.8	14.1	1.3	5.1
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>29.3</u>	25.6	19.5	17.1	14.6	15.9	18.3	-	3.7
	上北台・立野地域	(84)	25.0	<u>26.2</u>	21.4	15.5	15.5	13.1	21.4	4.8	6.0
	桜が丘	(166)	<u>28.9</u>	28.3	21.7	22.3	19.9	14.5	14.5	-	4.2
	中央・南街地域	(95)	<u>31.6</u>	22.1	18.9	18.9	13.7	21.1	18.9	3.2	6.3
	仲原・向原地域	(91)	30.8	<u>31.9</u>	15.4	13.2	25.3	27.5	12.1	1.1	1.1
清原・新堀地域	(50)	24.0	<u>32.0</u>	14.0	22.0	20.0	18.0	22.0	2.0	8.0	
満足度	満足・どちらかといえば満足	(191)	<u>32.5</u>	27.2	8.4	18.8	25.7	<u>27.7</u>	22.5	0.5	1.6
	不満・どちらかといえば不満	(130)	30.8	<u>42.3</u>	5.4	24.6	23.1	19.2	18.5	3.8	-
	わからない・関心がない	(386)	25.1	22.0	<u>31.9</u>	16.8	14.0	12.4	14.2	1.3	4.4

問39. 「地域を超えたパートナーシップの確立」についてうかがいます。

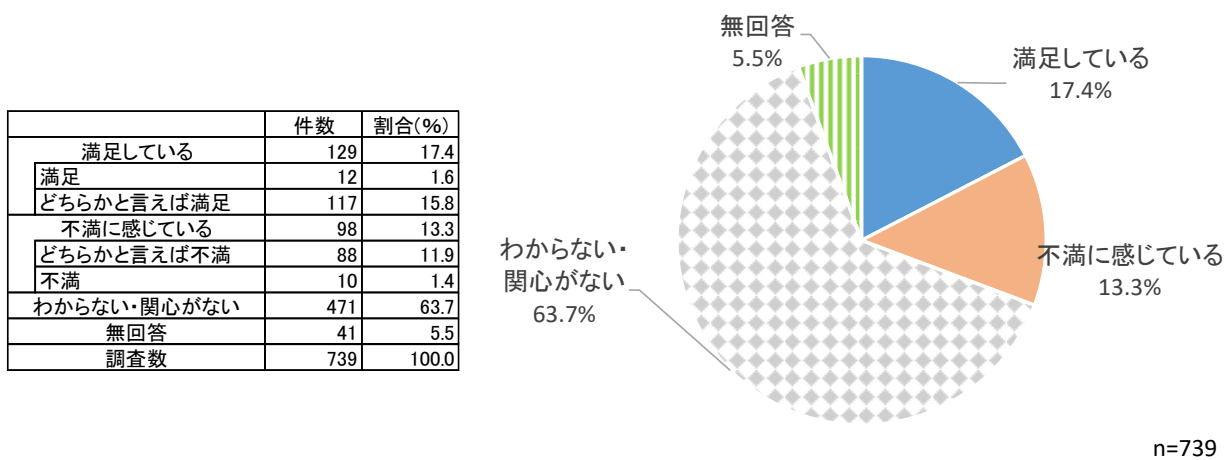
- ①あなたの満足度は？（○は1つだけ）
- ②今後優先的に取り組むべき事項は？（○は2つまで）

① 満足度

<全体>

東大和市の「地域を超えたパートナーシップの確立」に対して満足している市民の割合は 17.4%、不満に感じている市民の割合は 13.3%となっている。また、「わからない・関心がない」と回答した市民の割合は 63.7%となっている。

図表 9 5 「地域を超えたパートナーシップの確立」に対する満足度（単純集計）



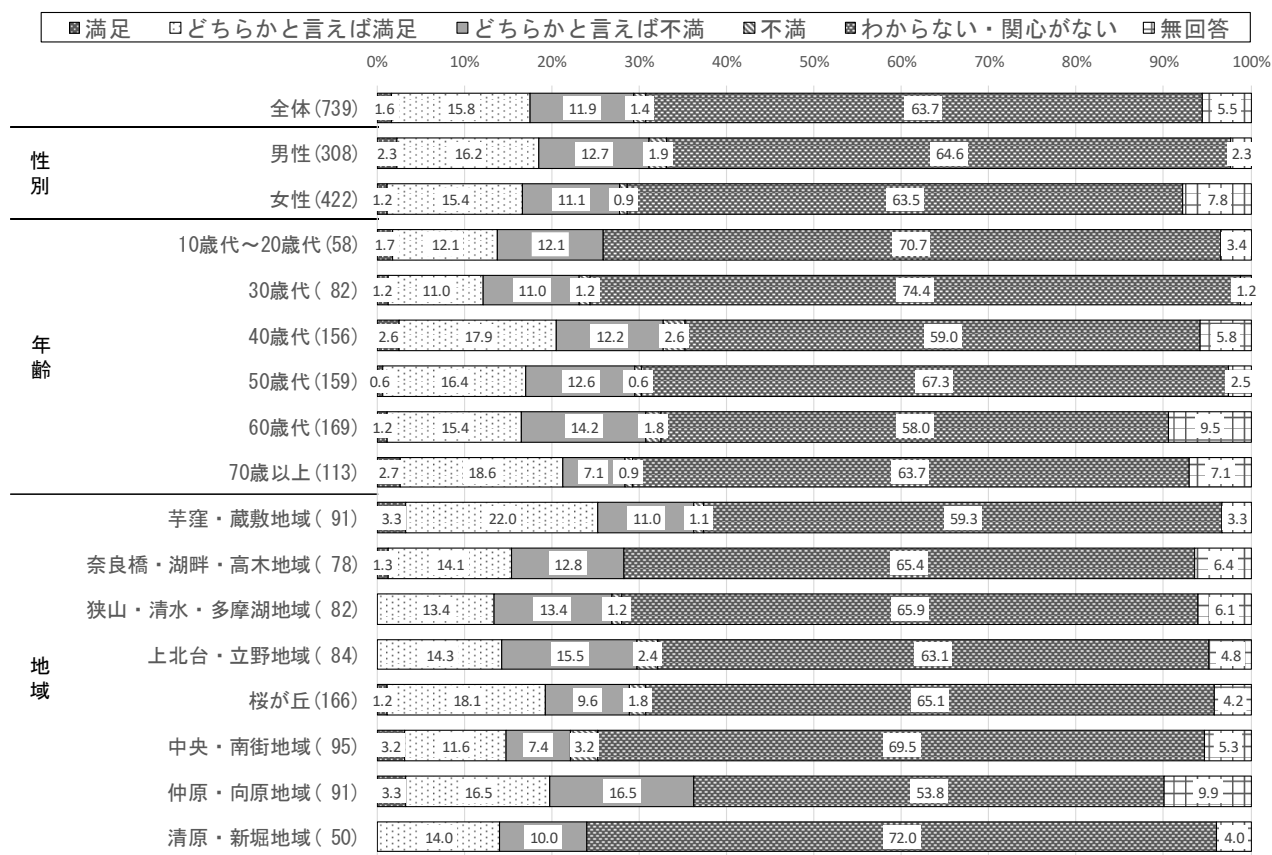
<年齢別>

満足している市民の割合が最も高いのは 70 歳以上の市民で 21.3%、次いで 40 歳代 (20.5%)、50 歳代 (17.0%) となっている。

<地域別>

満足している市民の割合は「芋窪・蔵敷地域」において 25.3%と最も高く、次いで「仲原・向原地域」(19.8%)、「桜が丘」(19.3%) となっている。一方、「狭山・清水・多摩湖地域」と「上北台・立野地域」では満足している市民より不満に感じている市民の割合の方が高くなっている。

図表96 「地域を超えたパートナーシップの確立」に対する満足度  
(クロス集計)



## ② 今後優先的取り組むべき事項

### <全体>

「地域を超えたパートナーシップの確立」について今後優先的に取り組むべき事項では、「市単独では解決が困難な行政課題に対応するための他市との連携強化」が29.6%で最も高く、次いで「生活情報の多言語化など外国人が暮らしやすい環境整備」(22.5%)、「在住外国人と日本人住民との交流機会の確保」(22.3%)となっている。

### <年齢別>

10歳代～20歳代と40歳代の市民では「生活情報の多言語化など外国人が暮らしやすい環境整備」が、それぞれ29.3%、28.8%と最も高くなっている。30歳代の市民では「在住外国人に対する相談体制の整備」が25.6%で最も高くなっている。50歳代、60歳代、70歳代以上の市民では、「市単独では解決が困難な行政課題に対応するための他市との連携強化」が最も高くなっている(それぞれ、30.2%、35.5%、27.4%)。

### <地域別>

「芋窪・蔵敷地域」では「特にない」に次いで、「市単独では解決が困難な行政課題に対応するための他市との連携強化」が最も高くなっている。「奈良橋・湖畔・高木地域」では「在住外国人と日本人住民との交流機会の確保」が35.9%と最も高くなっている。「芋窪・蔵敷地域」と「奈良橋・湖畔・高木地域」を除いたその他の地域では、「市単独では解決が困難な行政課題に対応するための他市との連携強化」が最も高くなっている。

### <満足度別>

「地域を超えたパートナーシップの確立」に対して不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項では、「市単独では解決が困難な行政課題に対応するための他市との連携強化」が37.8%で最も高く、満足している市民の30.2%を7.6ポイント上回っている。また、不満に感じている市民が今後優先的に取り組むべき事項の上位3位は、「市単独では解決が困難な行政課題に対応するための他市との連携強化」(37.8%)、「在住外国人と日本人住民との交流機会の確保」(34.7%)、「生活情報の多言語化など外国人が暮らしやすい環境整備」(30.6%)となっている。

図表 9 7 「地域を超えたパートナーシップの確立」について  
今後優先的に取り組むべき事項

属性		回答総数 (n)	市単独では 解決が困 難な行政課 題に対応す るための他 市との連携 強化	生活情報 の多言語 化など外国 人が暮らし やすい環境 整備	在住外国 人と日本人 住民との交 流機会の 確保	市民が平 和の尊さを 学べる機会 の確保	特にな い	在住外国 人に対する 相談体制 の整備	国際交 流・協力 団体への 支援	その他	無回答
単純集計	全体	(739)	<u>29.6</u>	22.5	22.3	20.8	21.0	18.9	9.7	1.6	4.7
性別	男性	(308)	<u>26.9</u>	23.4	23.1	19.2	21.1	<u>23.7</u>	7.8	2.3	3.9
	女性	(422)	<u>31.3</u>	21.8	<u>22.3</u>	21.8	20.9	15.4	11.4	0.9	5.2
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<u>27.6</u>	<u>29.3</u>	20.7	19.0	15.5	20.7	13.8	3.4	3.4
	30歳代	(82)	<u>24.4</u>	23.2	<u>24.4</u>	22.0	20.7	<u>25.6</u>	12.2	-	1.2
	40歳代	(156)	<u>27.6</u>	<u>28.8</u>	<u>27.6</u>	14.7	19.9	19.2	10.3	1.3	4.5
	50歳代	(159)	<u>30.2</u>	19.5	22.0	15.7	<u>25.2</u>	22.6	8.8	1.3	3.8
	60歳代	(169)	<u>35.5</u>	20.1	18.3	<u>29.0</u>	21.3	16.6	7.7	0.6	4.7
	70歳以上	(113)	<u>27.4</u>	17.7	21.2	<u>23.9</u>	19.5	11.5	9.7	4.4	8.8
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<u>26.4</u>	19.8	18.7	20.9	<u>30.8</u>	24.2	5.5	2.2	1.1
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<u>29.5</u>	19.2	<u>35.9</u>	14.1	17.9	15.4	12.8	2.6	5.1
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<u>26.8</u>	20.7	19.5	<u>22.0</u>	20.7	19.5	11.0	-	3.7
	上北台・立野地域	(84)	<u>28.6</u>	22.6	15.5	<u>26.2</u>	<u>26.2</u>	16.7	7.1	3.6	4.8
	桜が丘	(166)	<u>31.3</u>	25.3	<u>26.5</u>	18.1	18.7	16.9	9.6	-	5.4
	中央・南街地域	(95)	<u>30.5</u>	<u>23.2</u>	20.0	22.1	16.8	<u>23.2</u>	10.5	2.1	5.3
	仲原・向原地域	(91)	<u>27.5</u>	<u>24.2</u>	22.0	<u>24.2</u>	19.8	19.8	12.1	1.1	4.4
	清原・新堀地域	(50)	<u>38.0</u>	<u>22.0</u>	16.0	20.0	18.0	16.0	10.0	4.0	8.0
満足度	満足・どちらかといえば満足	(129)	<u>30.2</u>	<u>30.2</u>	25.6	<u>34.1</u>	8.5	20.9	10.1	1.6	0.8
	不満・どちらかといえば不満	(98)	<u>37.8</u>	30.6	<u>34.7</u>	24.5	1.0	29.6	15.3	2.0	1.0
	わからない・関心がない	(471)	<u>28.5</u>	20.0	19.1	16.3	<u>29.7</u>	16.6	8.9	1.3	3.6

### (3) まちのイメージに関する質問

問40. 【現在の東大和市のイメージ】と【今後の望ましい東大和市のイメージ】について伺います。

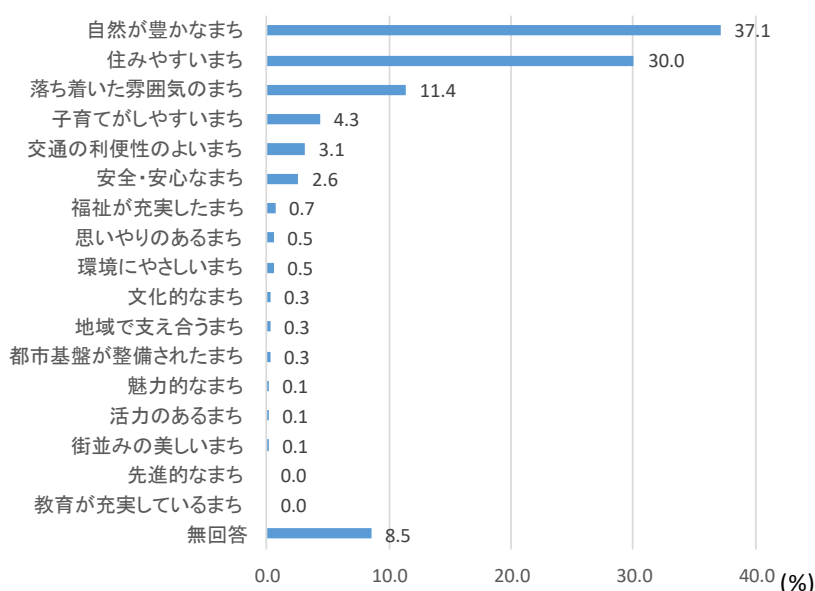
#### ① 【現在の東大和市のイメージ】

##### <全体>

現在の東大和市のイメージで最もイメージが強いものは、「自然が豊かなまち」で37.1%と最も多く、次いで「住みやすいまち」(30.0%)、「落ち着いた雰囲気のみち」(11.4%)となっている。

図表98 現在の東大和市のイメージ（単純集計）

	件数	割合(%)
自然が豊かなまち	274	37.1
住みやすいまち	222	30.0
落ち着いた雰囲気のみち	84	11.4
子育てがしやすいまち	32	4.3
交通の利便性のよいまち	23	3.1
安全・安心なまち	19	2.6
福祉が充実したまち	5	0.7
思いやりのあるまち	4	0.5
環境にやさしいまち	4	0.5
文化的なまち	2	0.3
地域で支え合うまち	2	0.3
都市基盤が整備されたまち	2	0.3
魅力的なまち	1	0.1
活力のあるまち	1	0.1
街並みの美しいまち	1	0.1
先進的なまち	0	-
教育が充実しているまち	0	-
無回答	63	8.5
合計	739	100.0



## <年齢別>

年齢別では、10歳代～20歳代、30歳代の市民では「住みやすいまち」が最も高く、それぞれ34.5%、32.9%となっている。40歳以上の市民では「自然が豊かなまち」が最も高くなっている（それぞれ、37.2%、42.8%、39.6%、41.6%）。

## <地区別>

地区別では、「芋窪・蔵敷地域」や「奈良橋・湖畔・高木地域」、「狭山・清水・多摩湖地域」、「桜が丘」、「清原・新堀地域」では、「自然が豊かなまち」が最も高くなっている。

「上北台・立野地域」や「中央・南街地域」では、「住みやすいまち」が最も高くなっている。「仲原・向原地域」では、「自然が豊かなまち」と「住みやすいまち」がともに最も高くなっている。

図表99 現在の東大和市のイメージ（クロス集計）

属性		回答総数 (n)	自然が豊 かなまち	住みやすい まち	落ち着いた 雰囲気のマ ち	子育てがし やすいまち	交通の利 便性のよい まち	安全・安心 なまち	福祉が充 実したま ち	思いやり のあるま ち	環境にや さしいまち
単純集計	全体	(739)	<b>37.1</b>	<b>30.0</b>	11.4	4.3	3.1	2.6	0.7	0.5	0.5
性別	男性	(308)	<b>33.8</b>	<b>31.5</b>	14.0	2.9	1.9	2.6	0.6	0.6	0.6
	女性	(422)	<b>39.8</b>	<b>29.1</b>	9.7	5.5	3.3	2.6	0.7	0.5	0.5
年齢	10歳代～20歳代	(58)	12.1	<b>34.5</b>	<b>22.4</b>	10.3	5.2	0.0	1.7	1.7	1.7
	30歳代	(82)	<b>31.7</b>	<b>32.9</b>	15.9	9.8	1.2	1.2	1.2	-	-
	40歳代	(156)	<b>37.2</b>	<b>34.0</b>	12.8	3.8	1.9	0.6	0.6	0.6	-
	50歳代	(159)	<b>42.8</b>	<b>24.5</b>	10.1	5.0	6.3	2.5	0.6	-	1.3
	60歳代	(169)	<b>39.6</b>	<b>29.6</b>	7.1	2.4	3.0	4.1	0.6	1.2	0.6
	70歳以上	(113)	<b>41.6</b>	<b>29.2</b>	8.8	-	0.9	5.3	-	-	-
居住年数	2年未満	(50)	<b>38.0</b>	<b>36.0</b>	12.0	2.0	2.0	-	-	2.0	-
	2年以上～5年未満	(47)	<b>34.0</b>	<b>31.9</b>	10.6	8.5	2.1	-	2.1	-	2.1
	5年以上～10年未満	(88)	<b>42.0</b>	<b>28.4</b>	6.8	6.8	4.5	1.1	-	1.1	-
	10年以上～20年未満	(146)	<b>32.9</b>	<b>28.1</b>	12.3	6.8	3.4	3.4	0.7	-	0.7
	20年以上	(406)	<b>37.7</b>	<b>30.3</b>	12.1	2.7	3.0	3.2	0.7	0.5	0.5
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>36.3</b>	<b>30.8</b>	11.0	3.3	4.4	4.4	1.1	-	-
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>47.4</b>	<b>21.8</b>	7.7	9.0	1.3	-	1.3	-	1.3
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>56.1</b>	<b>20.7</b>	13.4	-	-	2.4	1.2	-	2.4
	上北台・立野地域	(84)	<b>27.4</b>	<b>39.3</b>	9.5	2.4	6.0	2.4	-	-	-
	桜が丘	(166)	<b>32.5</b>	<b>30.7</b>	12.7	6.0	6.0	3.6	0.6	0.6	-
	中央・南街地域	(95)	<b>28.4</b>	<b>34.7</b>	11.6	5.3	1.1	2.1	-	3.2	-
	仲原・向原地域	(91)	<b>34.1</b>	<b>34.1</b>	12.1	5.5	2.2	3.3	-	-	1.1
	清原・新堀地域	(50)	<b>44.0</b>	<b>24.0</b>	12.0	-	-	-	2.0	-	-

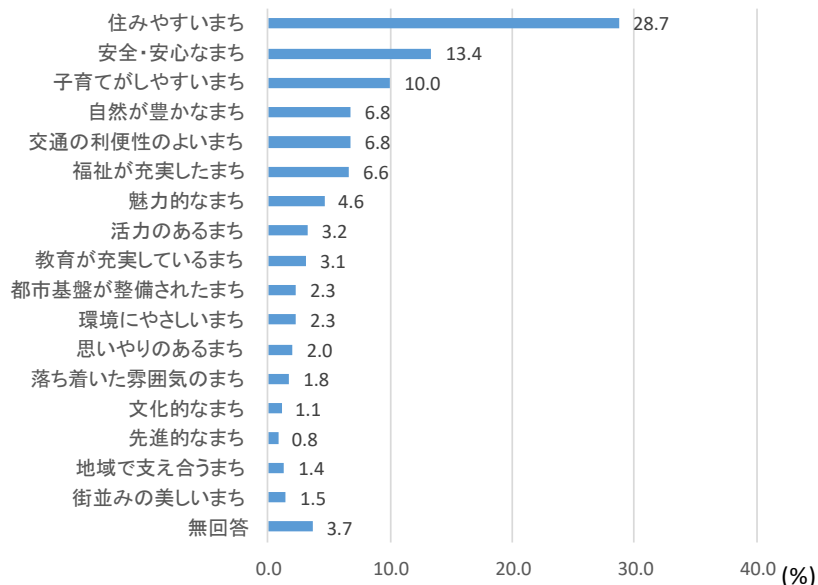
## ②【今後の望ましい東大和市のイメージ】

### <全体>

今後の望ましい東大和市のイメージで最もイメージが強いものは、「住みやすいまち」が 28.7%と最も多く、次いで「安全・安心なまち」(13.4%)、「子育てがしやすいまち」(10.0%) となっている。

図表 100 今後の望ましい東大和市のイメージ (単純集計)

	件数	割合(%)
住みやすいまち	212	28.7
安全・安心なまち	99	13.4
子育てがしやすいまち	74	10.0
自然が豊かなまち	50	6.8
交通の利便性のよいまち	50	6.8
福祉が充実したまち	49	6.6
魅力的なまち	34	4.6
活力のあるまち	24	3.2
教育が充実しているまち	23	3.1
都市基盤が整備されたまち	17	2.3
環境にやさしいまち	17	2.3
思いやりのあるまち	15	2.0
落ち着いた雰囲気のまち	13	1.8
文化的なまち	8	1.1
先進的なまち	6	0.8
地域で支え合うまち	10	1.4
街並みの美しいまち	11	1.5
無回答	27	3.7
合計	739	100.0





## <年齢別>

年齢別では、10歳代～20歳代の市民では、「思いやりのあるまち」が24.1%と最も高くなっている。30歳代の市民では、「子育てがしやすいまち」が26.8%と最も高くなっている。その他40歳以上の市民では、「住みやすいまち」が最も高くなっている。

## <地区別>

地区別では全ての地域において、「住みやすいまち」が最も高くなっている。

図表101 今後の望ましい東大和市のイメージ（クロス集計）

属性		回答総数 (n)	住みやすい まち	安全・安心 なまち	子育てがし やすいまち	自然が豊 かなまち	交通の利 便性のよい まち	福祉が充 実したまち	魅力的な まち	活力のあ るまち	教育が充 実してい るまち	都市基盤 が整備さ れたまち	環境にや さしいま ち	思いやり のあるま ち
単純集計	全体	(739)	<b>28.7</b>	13.4	10.0	6.8	6.8	6.6	4.6	3.2	3.1	2.3	2.3	2.0
性別	男性	(308)	<b>30.5</b>	13.0	7.8	8.1	6.2	5.8	5.8	4.2	2.9	2.9	1.6	2.3
	女性	(422)	<b>27.3</b>	13.5	11.6	5.7	7.3	7.3	3.8	2.6	3.3	1.9	2.6	1.9
年齢	10歳代～20歳代	(58)	<b>17.2</b>	1.7	1.7	-	-	-	13.8	5.2	3.4	<b>17.2</b>	-	<b>24.1</b>
	30歳代	(82)	<b>22.0</b>	12.2	<b>26.8</b>	4.9	2.4	6.1	9.8	2.4	4.9	2.4	2.4	-
	40歳代	(156)	<b>34.0</b>	11.5	11.5	8.3	6.4	5.8	1.9	2.6	7.1	0.6	-	0.6
	50歳代	(159)	<b>27.7</b>	15.1	6.3	7.5	8.8	6.9	7.5	1.9	1.9	1.9	3.8	3.1
	60歳代	(169)	<b>35.5</b>	16.6	4.1	4.1	4.7	7.1	3.6	4.1	0.6	1.8	2.4	2.4
	70歳以上	(113)	<b>23.0</b>	9.7	2.7	11.5	5.3	9.7	4.4	7.1	0.9	2.7	4.4	1.8
居住年数	2年未満	(50)	<b>26.0</b>	16.0	18.0	4.0	8.0	6.0	4.0	-	-	4.0	2.0	2.0
	2年以上～5年未満	(47)	<b>19.1</b>	12.8	<b>25.5</b>	8.5	10.6	2.1	2.1	-	6.4	2.1	2.1	2.1
	5年以上～10年未満	(88)	<b>26.1</b>	15.9	12.5	2.3	6.8	4.5	12.5	2.3	2.3	2.3	1.1	3.4
	10年以上～20年未満	(146)	<b>29.5</b>	11.0	8.9	8.9	6.8	5.5	5.5	3.4	4.1	3.4	2.1	1.4
	20年以上	(406)	<b>30.3</b>	13.5	7.1	7.1	6.2	8.1	3.0	4.2	3.0	1.7	2.7	2.0
地域	芋窪・蔵敷地域	(91)	<b>23.1</b>	9.9	11.0	7.7	<b>13.2</b>	4.4	3.3	2.2	5.5	4.4	2.2	1.1
	奈良橋・湖畔・高木地域	(78)	<b>20.5</b>	7.7	10.3	<b>12.8</b>	9.0	7.7	7.7	3.8	1.3	1.3	6.4	1.3
	狭山・清水・多摩湖地域	(82)	<b>26.0</b>	11.0	7.3	7.3	6.1	<b>9.8</b>	6.1	2.4	4.9	2.4	2.4	3.7
	上北台・立野地域	(84)	<b>33.3</b>	16.7	7.1	6.0	10.7	3.6	2.4	2.4	3.6	3.6	1.2	2.4
	桜が丘	(166)	<b>27.1</b>	15.7	12.7	7.8	2.4	5.4	6.0	3.6	3.6	2.4	1.8	3.0
	中央・南街地域	(95)	<b>33.7</b>	14.7	10.5	3.2	6.3	3.2	2.1	2.1	3.2	3.2	-	1.1
	仲原・向原地域	(91)	<b>37.4</b>	13.2	7.7	5.5	4.4	11.0	4.4	2.2	1.1	-	3.3	1.1
	清原・新堀地域	(50)	<b>24.0</b>	18.0	12.0	2.0	6.0	12.0	4.0	10.0	-	-	2.0	2.0

(4) まちづくりの提案やアイデアなどに関する質問（自由記述）

最後に、今後のまちづくりに関する提案やアイデアなど、東大和市のまちづくり全般に関してご意見などがありましたら、自由にお書きください。

分野	意見数		主な意見 ※（ ）内は意見数
学校教育	33	6.4%	学力向上(7) 学区の見直し等(3) PTA活動の負担軽減(2) インクルーシブ教育への取組(2) 学校施設の開放(2)
文化・スポーツ・生涯学習	26	5.0%	図書館、博物館、公民館の充実・改善(8) 温水プールの設置(4) スポーツ、運動施設の充実・改善(3) 旧日立航空機株式会社変電所の保存等(3)
保健・福祉	40	7.8%	医療体制の充実・改善(7) 高齢者支援の充実・改善(5) 高齢者の活躍できる場所の充実(4) 高齢者が楽しめる場所等の充実(3) 健診の充実・改善(2)
子育て	41	8.0%	保育施設、保育内容の充実・改善(7) 子どもの遊び場所の充実・改善(5) 学童保育の充実・改善(3) 子育ての相談体制の充実・改善(2)
商工農業・観光	43	8.3%	駅周辺や商店街の活性化(18) 企業・工場等の誘致(4) うまかんべえ～祭等の改善(4) うまべえのPR(2) 商業施設の誘致(2)
道路・交通・市街地	87	16.9%	ちよこバスの充実・改善(19) 道路の改修・整備(17) 駐輪場の充実・改善(8) 高齢者の運転免許返納支援(4) 自転車の運転マナーの向上(3) 通学路等の安全確保(3) モノレールの延伸(2) 街灯の整備(2)
自然・公園	42	8.2%	公園の充実・改善(12)、自然の保存と活用(9)
防災・防犯	27	5.2%	冠水・雨水対策(5) 不審者対策(4) 防犯カメラの設置(3) 暴走族対策(2) 交番の設置(2)
ごみ・環境	33	6.4%	ごみ有料化の改善(11)、ごみの分別・収集方法の改善(3)、喫煙者のマナー向上(2)、野鳥対策(2)、リサイクル協力店等の拡大(2)
地域社会等	9	1.7%	地域におけるイベント等の実施(2)
その他	134	26.0%	
合計	515	100.0%	

※一人の回答者が複数の意見を記入している場合は、別意見として分野別に計上している。

## 東大和市の将来のまちづくりに向けた市民意識調査 －みなさんの声を今後のまちづくりに活かします－

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、市では、市の最上位計画である現行の総合計画の計画期間が令和3年度で満了となることから、現在、令和4年度を初年度とする新たな総合計画の策定作業を進めております。

新総合計画では、20年後に市が目指すべきまちの姿（将来都市像）を掲げるとともに、その将来都市像を実現するために、当初の10年間で行うべき施策を明らかにする予定です。

この調査は、新総合計画を策定するにあたり、市民の皆様のご意見を参考とさせていただくため、実施するものです。新総合計画においては、人口減少の抑制に重点を置くとともに、人口減少の中にあっても活力あるまち、持続可能なまちを目指した計画づくりを行います。

「今後、市が優先的に取り組むべき事項」は何かなど、将来のまちづくりについての皆様のお考えを、お聞かせください。お忙しい中、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年6月  
東大和市

### \*\*\* ご記入に際しての注意事項など \*\*\*

#### 1 ご記入に際してのお願い

- 本調査は、令和元年6月1日現在で東大和市に住民登録している満18歳以上の方から、無作為に抽出させていただいた3,000人の方にお送りしています。
- 本調査は無記名で行い、回答結果は統計的に処理します。

#### 2 ご記入上の注意事項

- 封筒の宛名に表示のあるご本人様をご記入ください。ただし、ご本人様の記入が難しい場合には、ご本人様の意思を反映してご家族の方が代わりにお答えになっていただいても構いません。
- お答えは、別添のアンケート調査票に直接ご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください（回答を統計的に処理するため、設問ごとに○の数を指定していますのでご注意ください）。なお、お答えの中で「その他」を選択した場合には、カッコ内に具体的な内容をご記入ください。
- その他、番号を記入する設問と自由記入の設問がありますので、ご注意ください。

#### 3 返送期限

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**7月12日（金）**までに郵便ポストへ投函してください。
- 切手を貼らずにお出してください。また、返信用封筒にお名前やご住所を記入する必要はありません。

#### 4 その他

- この調査票をお送りした皆様を対象に、**令和元年9月～令和2年5月に5回程度開催する「市民ワークショップ」への参加者を募集**します。詳しくは、**別紙**をご覧ください。

#### <本調査に関する問い合わせ先>

東大和市役所 企画財政部 企画課（担当：藤本・大野）

TEL：042-563-2111（内線1425） FAX：042-563-5932



問7) 現在、同居する家族（あなたを含む）の中に、次の方はいますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- |                 |                |             |
|-----------------|----------------|-------------|
| 1 妊娠中の方         | 2 就学前（0～5歳）の児童 | 3 小学生       |
| 4 中学生           | 5 65歳以上の方      | 6 介護を必要とする方 |
| 7 1～6に該当する方はいない |                |             |

問8) 現在、あなたの職業は、次のどれにあたりますか。次の中から1つだけ選んでください。なお、兼業の方は、あてはまる主な職業を1つだけ選んでください。

- |                 |       |               |
|-----------------|-------|---------------|
| 1 農業            | 2 自営業 | 3 勤め人（公務員を除く） |
| 4 パートタイマー・アルバイト | 5 公務員 | 6 学生          |
| 7 専業主婦          | 8 無職  | 9 その他（ ）      |

問9) 現在、あなたの通勤・通学先は、次のどれにあたりますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |             |                |              |
|-------------|----------------|--------------|
| 1 東大和市内     | 2 多摩地域（東大和市以外） | 3 23区内       |
| 4 埼玉県       | 5 神奈川県         | 6 通勤・通学していない |
| 7 その他の地域（ ） |                |              |

問10) 普段、あなたが日常生活（通勤、通学、買い物）で使用する移動手段について、次の中から主なものを2つまで選んでください。

- |            |      |          |       |
|------------|------|----------|-------|
| 1 乗用車      | 2 バス | 3 バイク    | 4 自転車 |
| 5 鉄道・モノレール | 6 徒歩 | 7 その他（ ） |       |

## 2 市の取組について、うかがいます。

### 2-1 「教育・文化」に関して、うかがいます。

問 11-1) 「学校教育の充実」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、教育内容・方法の充実、特色ある教育活動の充実、特別支援教育の充実、学習環境の整備・充実などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 11-2) 「学校教育」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 英語教育や授業における ICT (情報技術) の活用など、時代の変化に即した教育プログラムの実施	9 教職員の指導力の向上
2 小学校と中学校との間で一貫性のある小・中連携教育	10 学校図書館の蔵書の整備
3 児童・生徒に対する進路指導・生活指導	11 特別に支援が必要な児童・生徒に対する取組
4 健康教育や食育	12 学校施設・設備の計画的な改修や整備
5 防災・防犯などの安全教育	13 通学路の安全確保
6 東大和への誇りや愛情を育む教育	14 いじめ・不登校対策
7 教育に関する相談体制の整備	15 児童・生徒の地域活動への参加機会の確保
8 学校での体育・スポーツ活動の実施	16 学校施設・設備の地域開放
	17 その他 ( )
	18 特にない

問 12-1) 「生涯学習の充実」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、生涯学習の支援、学習施設の整備、公民館活動の充実、図書館活動の充実、郷土博物館事業の充実などに取り組んでいます。

- 1 満足      2 どちらかと言えば満足      3 どちらかと言えば不満      4 不満  
5 わからない・関心がない

問 12-2) 「生涯学習」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 社会教育関係団体との連携や活動の支援	7 ICT (情報通信技術) の活用など、時代の変化に即した生涯学習プログラムの実施
2 市民の主体的な生涯学習活動を支える生涯学習リーダーの養成	8 自主的に生涯学習活動に取り組んでいる学習グループや各種団体への支援
3 生涯学習に関する各種情報の提供	9 図書館の資料の整備や利便性の向上
4 公民館・図書館・郷土博物館などの学習関連施設の計画的な改修・整備	10 郷土博物館の展示物の整備やイベントの開催
5 情報化社会に対応するための人材の育成	11 その他 ( )
6 市民のライフステージに応じた学習講座の開催	12 特にない

問 13-1) 「青少年の健全育成」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、育成環境の整備、育成施設の管理、青少年の活動の充実と社会参加の促進などに取り組んでいます。

- 1 満足      2 どちらかと言えば満足      3 どちらかと言えば不満      4 不満  
5 わからない・関心がない

問 13-2) 「青少年の健全育成」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 青少年の健全育成組織・団体の活動の支援	6 青少年が被害者となる犯罪・事故対策
2 こども広場の計画的な改修・整備	7 非行防止対策
3 放課後子ども教室の実施内容の充実	8 貧困対策
4 様々な体験や世代間交流ができる機会の確保	9 その他 ( )
5 思春期の悩みを相談しやすい体制の整備	10 特にない

問 14-1) 「市民文化の振興」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、文化活動の振興、郷土文化財の保存・活用、文化施設の整備などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 14-2) 「市民文化の振興」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 市民会館などの文化・芸術施設の利便性向上	5 文化・芸術に関する情報の提供
2 市民文化祭のプログラム内容の充実	6 文化・芸術イベントの開催
3 郷土文化財の保存・活用	7 文化・芸術活動に取り組む団体への支援
4 (仮称) 東大和郷土美術園の計画的な改修・整備	8 旧日立航空機株式会社変電所の保存
	9 その他 ( )
	10 特にない

問 15-1) 「スポーツ・レクリエーションの推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、生涯スポーツの振興、スポーツ・レクリエーション活動の充実、スポーツ施設の充実などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 15-2) 「スポーツ・レクリエーションの推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 地域のスポーツ組織・団体の育成	6 スポーツに関する相談体制の整備
2 学校・スポーツ団体等と行政との連携	7 スポーツ施設の計画的な改修・整備
3 スポーツに関する各種教室・大会の開催	8 その他 ( )
4 スポーツ指導者の養成・確保	9 特にない
5 スポーツに関する情報の提供	



## 2-2 「保健・福祉」に関して、うかがいます。

問 16-1) 「保健・医療の充実」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、健康づくりの推進、保健・予防対策の充実、保健・医療体制の充実、生活環境衛生の向上などに取り組んでいます。

- 1 満足      2 どちらかと言えば満足      3 どちらかと言えば不満      4 不満  
5 わからない・関心がない

問 16-2) 「保健・医療」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 市民の自主的な健康づくりを促すための啓発活動	8 保健・医療サービスに関する情報の提供
2 食育の推進	9 衛生的な生活環境の確保
3 産前・産後の母子のケア	10 不妊や不育症などの出産の悩みを抱える方への支援
4 子どもの予防接種	11 各種健診などの保健事業
5 がんや脳卒中など生活習慣病の予防対策	12 その他 ( )
6 在宅医療の支援体制の整備	13 特にない
7 救急医療の体制の整備	

問 17-1) 「高齢者保健福祉の推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、地域における安全・安心な生活の確保、地域社会を支えるネットワークの充実、介護保険の円滑な実施などに取り組んでいます。

- 1 満足      2 どちらかと言えば満足      3 どちらかと言えば不満      4 不満  
5 わからない・関心がない

問 17-2) 「高齢者保健福祉の推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制の整備	7 高齢者を地域で支え合う体制の整備
2 ごみ出しなどの生活支援サービス	8 高齢者の生きがいづくり
3 高齢者の虐待防止対策	9 介護保険制度に関する情報の提供
4 高齢者が住みやすい住宅の確保	10 適正な介護保険の給付
5 高齢者の就労支援	11 介護・認知症予防対策
6 高齢者への見守り・声かけ活動の支援	12 その他 ( )
	13 特にない

問 18-1)「障害者福祉の推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、在宅福祉サービスの充実、障害者の権利擁護の向上、生活の安定・自立支援の促進などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 18-2)「障害者福祉の推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 在宅福祉サービス	8 障害者の就労機会の確保
2 障害者やその家族からの相談体制の整備	9 発達障害者や難病患者などへの支援
3 成年後見制度の利用促進	10 障害者(児)の学習機会の確保
4 障害者の虐待防止対策	11 障害者と健常者のふれあい交流
5 障害の早期発見・早期治療、療育体制の整備	12 障害者への理解の促進
6 医療費の助成制度の実施	13 障害者の日中活動の場づくり
7 年金・福祉給付の実施	14 その他( )
	15 特にない

問 19-1)「児童福祉の推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、保育体制の充実、子育て支援制度の充実、児童館活動・学童保育の充実などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 19-2)「児童福祉の推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 子育てに関する相談・情報提供の実施	9 ひとり親家庭の自立支援
2 子育てに関する地域活動の拠点整備	10 地域における「子どもの居場所」づくり
3 各種手当・給付制度の実施	11 児童館活動の充実
4 在宅で子育てしている方への支援	12 学童保育の保育内容の充実
5 民間保育園の運営支援	13 児童館・学童保育所の計画的な改修・整備
6 保育園の計画的な整備	14 その他( )
7 幼稚園利用者の支援	15 特にない
8 一時預かりや病児保育などの保育サービス	

問 20-1) 「社会保障の充実」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、国民年金制度の充実、国民健康保険制度の充実、後期高齢者医療制度の充実、公的扶助制度の充実などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 20-2) 「社会保障」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 国民年金に関する啓発活動	6 生活保護による各種給付
2 国民年金に関する相談・情報提供	7 生活保護世帯の自立支援
3 国民健康保険の医療給付費の適正化	8 その他( )
4 国民健康保険財政の健全化	9 特にな
5 後期高齢者医療制度の各種事業の実施	

問 21-1) 「地域福祉の推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、総合福祉センターの運営に対する支援、社会福祉協議会の活動に対する支援、福祉の環境づくりの推進などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 21-2) 「地域福祉の推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 地域団体が活動する場や機会の確保	7 既存の公共施設(市役所本庁舎・公民館・図書館・体育館等)のバリアフリー化
2 地域活動に取り組む方への支援	8 民生委員制度など、地域での困りごとの相談体制の整備
3 ボランティアの育成と活動への支援	9 その他( )
4 社会福祉協議会の活動への支援	10 特にな
5 福祉教育の推進	
6 見守り・声かけ活動の支援	

## 2-3 「暮らしと産業」に関して、うかがいます。

問 22-1) 「勤労者福祉の向上」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

〔 市では、勤労者の就労の安定、勤労者福祉の充実などに取り組んでいます。 〕

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 22-2) 「勤労者福祉の向上」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 市内での雇用の場の確保	5 労働環境改善のための事業者への支援
2 市内事業所と求職者とのマッチング	6 その他( )
3 市内事業所の求人情報の提供	7 特にない
4 非正規労働者の正規労働者への転換支援	

問 23-1) 「消費生活の充実」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

〔 市では、消費者への啓発活動の充実、消費者保護の充実、環境に配慮した消費生活の普及などに取り組んでいます。 〕

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 23-2) 「消費生活」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 消費者被害の防止のための啓発活動	5 安全な商品を選ぶための情報提供
2 消費者が安心して相談できる体制の整備	6 その他( )
3 環境に配慮した消費生活の啓発活動	7 特にない
4 市民のライフステージに応じた消費者教育	

問 24-1)「都市農業の振興」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、農地の保全と活用、ふれあい農業の推進、観光事業を活用した商業・工業との連携などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 24-2)「都市農業の振興」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 農地の保全・維持	8 市民が農業とふれあえる場づくり
2 高い経営意欲を持つ農業者への農地の利用集積	9 地場農産物の収穫体験などのイベントの開催
3 農業経営の改善や規模拡大への支援	10 地産の野菜などを使用した加工食品の開発と販路の拡大
4 農業の担い手・後継者、組織・団体の育成	11 その他 ( )
5 東大和らしい個性豊かな農業の推進	12 特にな
6 地場農産物の販路の拡大	
7 地産地消の推進	

問 25-1)「工業の振興」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、経営安定・高度技術化の支援、住環境との調和、観光事業を活用した商業・農業との連携などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 25-2)「工業の振興」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 商工会の活動に対する支援	6 工場見学や製造体験などのイベントの開催
2 商工会などと連携した経営指導	7 地元産の生産加工品の開発と販路の拡大
3 事業資金の融資あっせん制度の実施	8 その他 ( )
4 住環境と工場の操業環境との調和	9 特にな
5 市外からの工場の誘致	

問 26-1) 「商業の振興」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、商業環境の整備、商店街活性化の促進、観光事業を活用した農業・工業との連携などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 26-2) 「商業の振興」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 にぎわいのある商店街の環境整備	5 地産商品のブランド化
2 商業者への支援	6 地産商品の販路拡大
3 商工会の活動に対する支援	7 その他 ( )
4 観光イベントなどを活用した、商店街のにぎわいの創出	8 特にない

問 27-1) 「観光事業の推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、観光振興のための基盤整備、農業・工業・商業との連携、観光資源の発掘・創出、観光資源情報の発信などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 27-2) 「観光事業の推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 市内を案内する観光ボランティアガイドの育成・確保	5 市内観光に関する情報発信
2 市内観光に関する案内板や看板の設置	6 地域行事や祭事を活かした観光イベントの開催
3 農業・工業・商業と連携した観光商品の開発	7 その他 ( )
4 新たな観光資源の発掘・創出	8 特にない

## 2-4 「都市基盤の整備、防災・防犯、環境」に関して、うかがいます。

問 28-1) 「市街地の整備」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、市街地の計画的な整備、面的整備の推進、協働のまちづくりなどに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 28-2) 「市街地の整備」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 周辺の住環境と調和のとれた開発の誘導	4 公共下水道の雨水施設整備及び汚水施設の適正管理
2 都市計画道路の整備	5 その他 ( )
3 市民・開発事業者・行政が連携した協働のまちづくり	6 特にない

問 29-1) 「良好な住宅環境の形成」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、特性に応じた住宅市街地の整備、人や環境にやさしい住宅の整備などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 29-2) 「良好な住宅環境の形成」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 高齢者や障害者に配慮した住まいづくりに関する啓発活動	4 良好な住宅環境の維持に向けた学習機会や情報の提供
2 環境にやさしい住まいづくりへの誘導	5 空き家の適正管理や利活用
3 住宅の耐震化促進に向けた啓発	6 その他 ( )
	7 特にない

問 30-1)「都市景観の形成」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、自然や歴史を活かした景観づくり、景観軸（道路や河川等の軸上に連続した景観整備）の形成などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 30-2)「都市景観の形成」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 東大和ならではの自然や歴史を活かした景観形成	4 市民・事業者が主体となった景観形成
2 道路や河川などの景観整備への市民意見の反映	5 電線類の地中化
3 建物の色彩やデザインなどの規制・誘導	6 その他 ( )
	7 特にない

問 31-1)「道路・交通の整備」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、道路の整備、駐輪場・駐車場の整備、交通安全対策の推進などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 31-2)「道路・交通の整備」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 他市へ連絡する道路の整備	7 道路反射鏡（カーブミラー）や路面標示などの交通安全施設の整備
2 市内各所を結ぶ道路の整備	8 駅周辺部における駐輪場の整備
3 地区の特性にあわせた道路の整備	9 ちょこバスを含む公共交通網の充実
4 舗装や照明など既存道路施設の適正管理	10 その他 ( )
5 道路のバリアフリー化	11 特にない
6 自転車通行空間の整備	



問 32-1)「緑の保全・創出」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、ふるさとの緑と水をまもる、緑の拠点とネットワークをつくる、緑あふれるまちづくりなどに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 32-2)「緑の保全・創出」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 狭山丘陵の保全と活用	8 公共公益施設の緑化の推進
2 気軽に水辺と親しめる環境づくり	9 民有地の緑化の推進
3 生きものの保全	10 市民との協働による緑化活動
4 樹林の保全	11 緑の保全・創出の重要性に関する市民への啓発活動
5 公園緑地の計画的・体系的な配置	12 その他 ( )
6 市民に親しまれる公園の整備	13 特にない
7 緑道などの整備による緑の連続性の確保	

問 33-1)「防災・防犯体制の推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、防災体制の強化、震災に強いまちづくり、水害に強いまちづくり、消防力の強化、防犯対策の充実などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 33-2)「防災・防犯体制の推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は3つまで)

1 災害時の通信・連絡体制の整備	9 局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策
2 災害時の応急救護・復旧体制の整備	10 消防車両や消防資機材の計画的な整備
3 住民による自主防災組織の育成・支援	11 消防団の体制の整備
4 市民に対する防災意識の普及・啓発	12 防犯意識を高めるための市民への啓発活動
5 防災拠点・避難場所などの整備	13 防犯に関する設備等の整備
6 市街地の安全性の向上	14 その他 ( )
7 道路や下水道などの耐震化	15 特にない
8 河川改修などによる水害防止対策	

問 34-1)「ごみの減量とリサイクルの推進」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、ごみ減量化の推進、リサイクルの推進、ごみの発生・排出抑制などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 34-2)「ごみの減量とリサイクルの推進」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1 ごみの減量のための市民への啓発活動           | 4 分別方法の見直し                |
| 2 ごみの減量化・リサイクルに取り組む市民活動団体への支援 | 5 資源物を排出できる市内のリサイクル協力店の拡大 |
| 3 分別排出の徹底に関する市民への啓発活動         | 6 その他 ( )                 |
|                               | 7 特にない                    |

問 35-1)「環境の保全」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、総合的環境行政の推進、環境保全対策の推進、近隣公害対策の推進、放射性物質拡散への対応などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 35-2)「環境の保全」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 大気や水質などの環境監視体制の整備 | 7 市民・事業者が取り組める地球温暖化対策に関する啓発活動 |
| 2 近隣市との連携による良好な環境保全 | 8 太陽光発電など自然エネルギーの普及促進         |
| 3 環境について学べる場や機会の確保  | 9 その他 ( )                     |
| 4 環境保全団体の育成・支援      | 10 特にない                       |
| 5 公害の苦情処理体制の整備      |                               |
| 6 事業者の監視・指導体制の整備    |                               |

## 2-5 「人権尊重・地域社会」などに関して、うかがいます。

問 36-1) 「人権尊重・男女共同参画社会の確立」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、人権を尊重する社会の実現、男女共同参画社会の実現に向けた推進体制の整備・充実などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 36-2) 「人権尊重・男女共同参画社会の確立」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 人権課題をテーマとした講演会の開催などの市民への啓発活動	5 男女共同参画に関する情報の提供
2 子どもや女性などの人権を守る活動に取り組んでいる団体への支援	6 市政への男女共同参画の推進
3 女性相談や人権相談などの個別相談体制の整備	7 市内事業所におけるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現への支援
4 性的マイノリティへの理解促進と支援	8 小・中学校での人権教育
	9 その他（ ）
	10 特にない

問 37-1) 「インターネット等の ICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、情報化推進計画の推進、行政サービスの電子化などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 37-2) 「インターネット等の ICT（情報通信技術）を活用した豊かな社会の実現」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 新たな情報通信技術の活用	4 情報通信技術の発展に対応した情報システムの整備
2 申請・届出などのオンライン化	5 その他（ ）
3 個人情報の保護等の情報セキュリティの強化	6 特にない

問 38-1)「共に支え合う地域社会の確立」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。

(○は1つだけ)

市では、地域活動の活性化、自主活動の促進、市民の力を活かした地域づくりの推進などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 38-2)「共に支え合う地域社会の確立」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 自治会が主体的に取り組む各種活動への支援	5 より多くの方がボランティア活動などに参加するための意識啓発
2 ボランティア・NPO（民間非営利活動団体）と行政との連携強化	6 市民主体のまちづくり活動やボランティア活動などに関する情報提供
3 市民活動団体や自治会などの団体間の連携強化	7 その他（ ）
4 市民のまちづくりへの参加機会の確保	8 特にない

問 39-1)「地域を越えたパートナーシップの確立」に対するあなたの満足度は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

市では、恒久平和の実現、国際理解の推進、広域行政の推進などに取り組んでいます。

- |               |              |              |      |
|---------------|--------------|--------------|------|
| 1 満足          | 2 どちらかと言えば満足 | 3 どちらかと言えば不満 | 4 不満 |
| 5 わからない・関心がない |              |              |      |

問 39-2)「地域を越えたパートナーシップの確立」について、今後、市が優先的に取り組むべき事項は、次のどれにあたりますか。(○は2つまで)

1 市民が平和の尊さを学べる機会の確保	5 在住外国人と日本人住民との交流機会の確保
2 在住外国人に対する相談体制の整備	6 市単独では解決が困難な行政課題に対応するための他市との連携強化
3 生活情報の多言語化など外国人が暮らしやすい環境整備	7 その他（ ）
4 国際交流・協力団体への支援	8 特にない

### 3 まちのイメージについて、うかがいます。

問 40) あなたが考える東大和市のイメージについて、【現在の東大和市のイメージ】と、【今後の望ましい東大和市のイメージ】を、それぞれ3つ選んで、下の回答欄に、イメージの強い順に、左から番号を記入してください。

- 1 住みやすいまち
- 2 自然が豊かなまち
- 3 落ち着いた雰囲気のまち
- 4 文化的なまち
- 5 魅力的なまち
- 6 活力のあるまち
- 7 安全・安心なまち
- 8 思いやりのあるまち
- 9 先進的なまち
- 10 環境にやさしいまち
- 11 福祉が充実したまち
- 12 子育てがしやすいまち
- 13 教育が充実しているまち
- 14 地域で支え合うまち
- 15 都市基盤が整備されたまち
- 16 交通の利便性のよいまち
- 17 街並みの美しいまち

【現在の東大和市のイメージ】 イメージの強い順に左から番号を記入			【今後の望ましい東大和市のイメージ】 イメージの強い順に左から番号を記入		
第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位

#### 4 まちづくりの提案やアイデアなどについて、うかがいます。

最後に、今後のまちづくりに関する提案やアイデアなど、東大和市のまちづくり全般に関してご意見などがありましたら、自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入後の調査票は、三つ折りにして返信用封筒（切手不要）に入れ、

**7月12日（金）**までに郵便ポストに投函してください。

調査票や返信用封筒に、お名前やご住所を記入する必要はありません。